

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO FEBRUARY 2016 VOL.64 NO.2

ロータリーの友2月号 第64巻 第2号
平成28年2月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻758号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

2

2016

子どもたち、
若い人たちが
夢を持てる
未来のために①

世界へのプレゼントになろう
ロータリー研究会レポート

Rotary 



2012 - 13 年度

日本から三人目の国際ロータリー会長が就任

1982 - 83 年度に、向笠廣次（むかさひろじ）氏が国際ロータリー（R I）会長に就任して以来、日本人が R I 会長に就任することはありませんでした。30 年ぶりに誕生した日本のロータリアン待望の R I 会長が、田中作次（たなかさくじ）氏です。田中氏が掲げた R I テーマは「奉仕を通じて平和を」。田中氏は「自らの国の軍国主義の結末を経験した私たちの世代は、日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、目覚ましい経済発展を遂げていくのも目にしました」と述べています。田中氏は「ロータリー世界平和フォーラム」を、ベルリン、ホノルル、広島 of 3 か所で開催し、ロータリアンが平和について考える機会をつくりました。また、アフリカをはじめ世界の各地を積極的に訪問し、ロータリーの奉仕の成果について自分の目で確かめ、世界中のロータリアンに情報発信しました。

ロータリーで旅をする

親愛なるロータリアンの皆さん、人生において、かけがえのない経験というのは、瞬く間に駆け抜けて行ってしまうものです。それらは、数日、数時間、数分、あるいは、まばたきをした瞬間に過ぎてしまうのです。それらは、私たちの記憶の中で明るく照らし出される経験であり、何年たっても輝き続けます。それらは、見えなかったことが突然見えてくる瞬間であり、わからなかったことが理解できるようになった瞬間であり、思いもしなかった絆を築いた瞬間なのです。

私にとって、今年度がまさにその時です。世界を回り、各国、各大陸を旅してきました。今まで見たことのない土地を訪れ、故郷に戻ると、見慣れた地元をロータリーというメガネを通して新たな角度から見るができます。

ロータリーで旅行する時、私たちはいつもと違う視点や目的を持って出かけます。自分が自分より大きな何かの一部であることに気づきます。電車や飛行機に乗って出かける、あるいは、夜明け前の暗いうちに家を後にし、見知らぬ土地を訪れたとしても、そこにいるのは赤の他人ではありません。ロータリアンが出迎え、歓迎してくれます。そこには活動すべきことがあり、学ぶことがあり、教えることもあるかもしれません。

そして、絆が築かれ、友情が生まれ、生涯残る思い出となるのです。

今年度、私は旅をしてきました。そして、世界中のロータリアンに温かく迎えていただきました。今から数か月後の5月28日～6月1日、皆さんにも私と同じ体験を味わっていただきたいと願っています。ソウルで開かれる第107回国際ロータリー年次大会で、私に皆さんを歓迎させてください。

韓国には、「사람이 나면 서울로 보내라 (生まれたらソウルへ)」ということわざがあります。ソウルは機会あふれる街。伝統と先端技術が織り交ざり、ほかに類を見ない文化を誇ります。しかし私が国際大会への参加を勧めるのは、開催地の素晴らしさだけではなく、そこでロータリアンの仲間たちとともに特別な経験ができるからです。

短い大会期間中に、私が経験したような、ロータリーの多様性、温かさ、大きな可能性を実感できると思います。初対面でもまるで旧知の仲のようにあいさつを交わし、話す言葉が異なっても考えを分かち合えるでしょう。ロータリーの業績を知って驚き、さらなる活動意欲に駆られて会場を後にすることでしょう。

今年度が終わるまでに、私がしてきた経験をぜひ皆さんにも経験していただきたいと思います。家を離れ、飛行機に乗り、広い心を持って新しい土地を訪ねると、そこではロータリーが歓迎してくれます。私と一緒に、ロータリアンの仲間たちと一緒に、「韓国で世界とつながろう」。



原文（英語）は
こちらから

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

K. R. Ravindran

K. R. RAVINDRAN
2015-16年度 国際ロータリー会長



世界へのプレゼントになろう



KOREA 2016 SEOUL
28 MAY - 1 JUNE
ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です
2月23日はロータリー創立記念日です

- 3** RI 会長メッセージ
ロータリーで旅をする 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 14** 平和の願いはきっとかなう
ロータリー平和センター ホスト・エリアコーディネーター
辰野 克彦
-
- 16** 全国の学友福岡に集合！
第5回日本ロータリー学友会全国大会開催
日本ロータリー学友会代表幹事 高木 直之
福岡ロータリー学友会
創立50周年記念式典を開催
福岡 RC 石村 僔倍
-
- 19** 第2770地区で初！
「ロータリーフェスタ2015」開催
春日部 RC 小笠原泰三
-
- 20** World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 2月号から
-
- 22** 高陽を100倍楽しむ方法
2016年ソウル国際大会ホスト組織委員会
-
- 23** Rotary いま……
ロータリーの公式ロゴを実践

- 6** ■ロータリーとは
36 ■パズルdeロータリー
37 ■エバンストン便り
37 ■管理委員長の思い 
38 ■「パズルdeロータリー」(11月号)の答えと解説
39 ■ロータリー掲示板
RC事務所住所変更・RC例会変更・IAC名称変更・
広報誌のご案内・『友』で投稿時のお願い・『ロータリーの友』英語版
No.74刊行！・2016-17年度版ロータリー手帳のご案内・
地区別クラブ数／会員数／出席率一覧表・『友』3月号主要記事予定
41 ■ご投稿をお待ちしています(投稿規定)
42 ■日本ロータリー分布図
42 ■奥付

7 特集

子どもたち、若い人たちが 夢を持てる未来のために①

大分キャピタルRC 社会奉仕委員長 汐月 泰夫／
旭川北ロータリークラブ／松戸西RC 山本 衛／
大阪南RC 山本 和良／広島西ロータリークラブ／
名古屋北ロータリークラブ／浜松南RC 内村 正幸／
和光RC 青少年奉仕委員長 加藤 洋子／
名古屋東RC 国際奉仕委員長 岡本 光生／
神戸南RC 米谷 収・宝塚武庫川RC 水谷 重康

24 世界へのプレゼントになろう 第44回 ロータリー研究会リポート

28 心は共に 東日本大震災
山形西ロータリークラブ／
福島南RC クラブ広報・雑誌委員会 渡辺 雅浩／
横浜旭RC 社会奉仕委員長 田川 富男

30 視点 ガバナーのページ

第2500地区 東堂 明／第2510地区 嵯峨 義輝
第2520地区 菅原 裕典／第2530地区 酒井 善盛
第2540地区 宮下 正弘／第2550地区 中谷 研一
第2560地区 山本 和則／第2570地区 高柳 育行

34 よねやまだより “よねやま”から広がる新しい世界 ⑫ モンゴルからやって来た弟

脇町RC 北川 一郎
米山学友 ムンゲンホーヤグ・マジグスレン

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

**ROTARY
JAPAN**
Home Page 
www.rotary.or.jp



P7～13 未来を担う子どもたちや若い人たちのため、ロータリアンはさまざまな活動をしています

ロータリーの友 委員会		特別顧問		地区 代表委員		顧問	
委員長	橋本 長平 (京都東)	中山 義之 (横浜南)	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	2500 森山 昌彦 (旭川北)	2830 平川 賢悦 (清森モーニング)	2650 小川 秀明 (京都南)	
副委員長	清水 良夫 (横浜)	上野 孝 (横浜)	安平 和彦 (姫路)	2510 荒木 敏博 (岩見沢)	2840 松島 宏明 (桐生)	2660 庄野 晋吉 (大阪)	
R 理事	杉谷 卓紀 (玉名)	片岡 信彦 (土浦南)	藤居 彰一 (日立)	2520 三浦 一 (仙台東)	2580 林 茂男 (東京ベイ)	2670 斎藤 賢治 (徳島)	
R 理事エレクト	斎藤 直美 (豊田)	大野 清一 (横浜東)	田中 俊實 (鹿屋)	2530 星 遼一 (南相馬)	2590 荒木 彦次 (横浜)	2680 折戸 善信 (神戸西神)	
		上山 昭治 (東京武蔵野中央)	大槻 哲也 (東京中央)	2540 佐野 公彦 (秋田北)	2600 西堀 恒司 (松本)	2690 江尻 博子 (岡山南)	
				2550 真尾 和夫 (足利東)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 石村 信悟 (福岡)	
				2560 高橋 登 (新潟南)	2620 佐藤 正幸 (甲府)	2710 藤里 隆 (宇都東)	
				2570 細井 保雄 (行田さくら)	2630 前田 和也 (鈴鹿シティ)	2720 高宮 宏 (熊本南)	
				2770 隅内 道三 (川口東)	2750 井上 直行 (東京町田サルビア)	2730 中島 司人 (延岡東)	
				2790 中村 正見 (千葉)	2760 水野 吉紹 (名古屋北)	2740 新岡 正久 (唐津東)	
				2800 中村 隆志 (米沢上杉)	2780 桐本美智子 (平塚)		
				2820 山崎 恭弘 (竜ヶ崎)	2640 寺下 卓 (海南東)	編集長 二神 典子 (東京築地)	

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,221、会員総数1,228,076人（2015年10月31日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,269、会員数89,388人（2015年11月末現在）となっています。

2015 - 16 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



子どもたち、若い人たちが
夢を持てる未来のために 1

小学生の職業体験「体験しよう！ 未来の君のお仕事」.....

大分キャピタルRC 社会奉仕委員長 汐月 泰夫



子どもたちにさまざまな職業を体験してもらい、将来の職業選択のヒントになればと、11月8日、大分市のコンパルホールで小学生の職業体験イベント「体験しよう！ 未来の君のお仕事」を開催しました。

イベントでは、会場内に18の仕事体験ができるブースを設けました。美容師、パティシエ（お菓子作り）、建築士、銀行員、花屋さん、印刷のデザイナー、介護士、看護師、保育士、葬祭業に携わる人、弁護士、テレビ局員、料理人、メンテナンスをする人、自動車の整備士、太陽光発電に携わる人、土地家屋調査士、獣医です。

美容師はネイルアート体験。建築士は家の模型制作。花屋はフラワーアレンジメント体験。テレビ局員はニュース原稿作りとカメラの前でアナウンス。自動車整備士はエンジンの分解と組み立て。太陽光発電でソーラーカーを作り、獣医は犬の健康診断をしました。

それぞれのブースで、40分間の仕事体験をします。終わったら、給料として「キャピドル」という模擬通貨をもらいます。その模擬通貨で、会場内のショップで文

具などを購入することができます。これは働いて給料をもらい、好きなものを手に入れるという、基本的な経済活動を理解してもらうことにつながりました。職業の重要性を理解してもらえたと思います。

参加者は大分市内の小学生です。当初は200人の予定でしたが、予想を上回る応募があり、急ぎょ枠を広げて当日は414人の参加を得ました。子どもたちはとても喜んでくれたようで、アンケートにも「楽しかった。また参加したい！」「将来の目標ができた」「建築の仕事に必要だとわかったので、算数の勉強を頑張りたい」「介護のお仕事を体験して、祖父、祖母を大切にしようと思った」といった、さまざまな感想をもらいました。

地元のメディア4社の取材を受け、とても大きな反響がありました。クラブ創立時の理念に「子どもたちの成長を育むお手伝いをする」とあります。今後もこのことを忘れず、さまざまな活動を通じて地域の活性化、あるいは地域貢献ができるよう、会員一同一丸となって取り組んでいきたいと思いました。（第2720地区 大分県）

育児院の子とのふれあい事業

旭川北ロータリークラブ

当クラブでは毎年、社会奉仕活動として「子どもたちとのふれあい事業」を、身寄りのない子どもたちの暮らす「旭川育児院」を対象に行っています。例年、魚釣り体験、キノコ狩りなどで親睦を深めてきましたが、今回は廃線が噂されるJR北海道の留萌本線の汽車の旅を企画しました。

10月12日朝、旅の始まりは旭川育児院の院長と、当クラブの大木康生会長の話から。会員10人と育児院の子どもたち三十数人、引率の職員数人が一路、出発駅の深川駅を目指し、2台のバスに分乗したところから、会員とのふれあいは始まりました。

深川駅から留萌駅に向かう汽車の中では、お弁当のそばおにぎりと深川名物のウロコダンゴをほお張りながら車窓の景色を眺めての楽しい旅です。

増毛駅に到着後、旧商家丸一本間家では増毛町の歴史の説明を受けた後、建物内を見学しました。見慣れない古い建物や調度品に子どもたちも興味をそそられていました。次いで銘酒で有名な國稀酒造

今回は汽車と歴史の旅

(株)を見学しました。子どもたちも一緒ですから、もちろんアルコールではなく、同社の増毛名産の洋ナシの炭酸水で乾杯し、気分を味わいました。

途中から雨が降りだし、帰路はバスの中でのふれあいでした。なかには疲れて眠る子もいましたが、育児院到着時には楽しかった旅の思い出話で、またにぎやかになりました。子どもたちは思い出深い一日が過ごせたようで、次回の交流も楽しみです。(第2500地区 北海道)



必要なときに、必要なものを！

松戸西RC 山本 衛

9月25日、松戸市の福祉施設「健康福祉会館（ふれあい22）」に音響機器を贈呈した。

福祉施設では予算内でさまざまな設備、備品などを購入している。しかし、本当に必要としているものをなかなか購入できない現実を知った。音響設備がその代表格で、現場で必要としているものの予算がつかず、あるいは後回しにされがちで、苦労しているとのこと。そこで、「障害者自立支援プロジェクト」を立ち上げ、地区補助金を活用し、音響機器を寄贈することにした。

同施設に通う子どもたちの誕生会が行われる日を選んで、会員一同で訪問。通園の歌、誕生日の歌、ケーキのろうそく消しなど、一緒に祝い、子どもたちと記念の植樹を行った。最後に、クラブから音響設備を贈呈した。

今回は福祉施設への支援を行ったが、ニーズの見極めや補助金交付の手続きなど、タイミングよく支援することの難しさを痛感した。地区補助金の活用など、「必要なときに、必要なものを！」と、クラブでは考えている。

(第2790地区 千葉県)



児童福祉施設へのプレゼント

大阪南RC 山本 和良

8月24日、地区補助金事業として、プロ野球オリックスの本拠地である京セラドーム大阪にて「児童福祉施設へのプレゼント in 京セラドーム大阪」を実施しました。施設の子どもたちに、夢を持って生きてほしいという思いと、夏休みの最後に楽しい思い出をプレゼントしようと企画した事業です。

当日は大阪府下の10施設から小中高生および関係者約140人を、京セラドーム大阪に招待し、当クラブ提唱の清風学園インターアクトクラブ（IAC）や大阪南

ローターアクトクラブ（RAC）をはじめ、地区内RACからも多くの若者の協力を得て、ロータリアンを含め総勢200人を超える大きな行事となりました。

開会式の後、子どもたちはプロ野球・オリックスの元選手だった北川博敏氏や大久保勝信氏、北京五輪ソフトボール金メダリストの乾絵美選手から、バッティングやキャッチング、フィールディングなどの指導を受けました。その後、元選手たちと語らいながらのドーム内ツアーでは、普段は入れないベンチや選手のロッカールーム、



ブルペンをはしゃぎで見学していました。特に、前日の阪神タイガース対横浜DeNAベイスターズ戦で、阪神のメッセンジャー投手が熱投したのと同じマウンドからの投球体験では、真剣にロータリアンのキャッチャー目がけて投げ込んでいました。

閉会式では、ボールとバットを寄贈しました。これらの様子は翌朝の新聞でも紹介され、子どもたちや施設の関係者からも、たくさんの感謝の言葉をもらいました。ロータリーの公共イメージ向上に寄与できた事業となりました。

（第2660地区 大阪府）

こども療育センターへ電動車いす寄贈

広島西ロータリークラブ

クラブでは10月7日、広島市西部こども療育センターなぎさ園に、電動車いす1台を寄贈しました。

「なぎさ園」のことは、2013年に行った例会卓話を通じて知りました。広島市条例により設置された施設で、未就学の知的障がい児や発達障がい児が健全な社会生活が送れるよう、運動機能の促進訓練などを行っています。

園児71人のほぼ全員に重複障がいがあり、そのうち約20人は自立歩行が困難です。ところが、療育訓練に欠かせない電動車いすが1台もなく、配置を希望しても高額なため、予算上の制約から実現していないことを知りました。そこで、当クラブが奉仕活動の一環として寄贈を決め、クラブの資金に加え地区補助金を使った初のプロジェクトとして取り組みました。

贈呈式には園児、保護者、市職員など約150人が参加。当クラブ提唱の広島修道大学附属鈴峯女子中・高等学校インターアクトクラブの生徒が電動車いすを運び入れ、園児代表が試乗した時は、拍手喝采で大変な盛り上がり

でした。園長が「子どもたちに目を向けてくださったことに感謝します」と述べられた時、寄贈して良かったと感じると同時に、ロータリーの一員であることを誇りに思う瞬間を味わうことができました。

電動車いすの導入により、園児の療育活動の質の向上と活性化が図られ、園内生活がより一層生き生きと、充実したものになる、と大いに期待しています。

（第2710地区 広島県）



慈友学園の子どもたちとウミガメ保護活動へ参加

名古屋北ロータリークラブ

クラブでは10年来、奉仕活動として毎年、名古屋市東区の児童養護施設・慈友学園の子どもたちとの交流を続けており、今年度は8月29日、子どもたち32人を静岡県浜松市の中田島砂丘に招き、会員とともにウミガメの放流を体験。海での自然保護の大切さを学びながら楽しく過ごしました。

中田島砂丘では、ウミガメの保護活動を長年続けているNPOサンクチュアリジャパンの方から「ウミガメは1回で100個ほどの卵を産みますが、最近では自然環境が悪化し、生存率が低下しています」と、保護の難しさをうかがいました。

その後、子どもたちはアカウミガメの子ガメを受け取

り、これをしっかり眺めたり触ったりした後、一斉に浜辺へ放しました。子ガメが小さな足を懸命に動かして海へ向かう姿に大いに感動。「頑張れ……」と海に消える子ガメに声援を送りました。

続いては昼食のバーベキュー。子どもたちと会員たちが力を合わせ、肉や野菜、ソーセージなどを次々と焼き上げ、皆、おなかいっぱいになりました。バーベキューを楽しんだ後はスイカ割りや海釣り体験、また、工作教室で貝殻を使った置物作りなどを楽しみました。

このような活動を通して、子どもたちと自然保護の大切さを学ぶとともに、温かい交流を実感した貴重な一日でした。
(第2760地区 愛知県)



中学生の救急蘇生講座 継続 20 年の協賛

浜松南 R C 内村 正幸

病院外の自宅や学校などで突然発生する心筋梗塞などの緊急疾患、スポーツ中の突発事故、地震災害などで突然倒れ心肺停止した傷病者に遭遇した時、現場に居合わせた家族や友人が勇気を出して 119 番通報し、救急車到着まで正しい「心肺蘇生」、「A E D（自動体外式除細動器）操作」を現場で開始することで、救命率は大きく改善します。

このことを踏まえ、浜松市医師会では、1995 年に発生した阪神・淡路大震災の教訓と、その年から始まった中学生の週休 2 日制導入に着目し、全国に先駆けて土曜日の学外研修日を利用した「中学生のための救急蘇生講座」を実施してきました。専門医師、救急隊、教育委員会が一体となって、中学生に正しい心肺蘇生を指導し、「人の命の大切さ」を習得させようという取り組みです。

当クラブでは当初からこの取り組みの意義に賛同し、中学生の訓練に使用するテキストおよび器具代を支援し、会員自ら蘇生

訓練を習得して講座開催日に参加しています。

開講して 20 年が経過し、昨年 3 月までに開いた講座は 704 回となりました。一年間に参加する中学校は、浜松市全域の公立中学校 48 校と、他 2 校の 50 校。この間、受講した中学生は 2 万 1,465 人となりました。この取り組みへの支援が評価され、クラブには 9 月 9 日、浜松市長から感謝状が授与されました。

（第 2620 地区 静岡県）



高校にタブレット贈呈 世界へのプレゼントになろうパート 2

和光 R C 青少年奉仕委員長 加藤 洋子

クラブは長年にわたり、青少年の健全育成に寄与してきました。8 月 28 日には青少年奉仕の一環として、阿久津警会員から当クラブを通して、和光高等学校にタブレット端末 35 台を寄贈しました。

当日は高木茂会長が「これからの世界はますます I T 化していきます。このタブレットはクラス全員に一台ずついき渡りますので、ぜひ授業に役立ててください」と手渡し、生徒代表からは「未知の仕事や夢に向かって、このタブレットを大切にに使わせていただきます」とお礼

の言葉がありました。

高校生たちは次の世代を一層良い時代にするための主役です。ロータリーは青少年たちが次の社会のリーダーや国際人に成長していけるよう、将来に向けた支援をしていくことに大きな力を注いでいます。このたび、温かい手を差し伸べてくれた阿久津会員は教育に深い関心と理解、情熱を持っており、自身の著書で「人間というものはもともと熱い血が流れているし、良さを持っている。だから教育という手段で、その良さを伸ばし、相手の立場にも立てる、いい人間を作ることには可能だ。そういう人間が社会を構成すれば理想社会に近づくはずだ。学校はもちろん、企業も人間教育の責任を負っている」と述べています。だからこそ、これまで高額な機器を近隣の高校などに 100 台余りも寄贈しているのだと思います。

青少年がタブレットを使って多くを知り、学び、自己開発に努め、いつか国際人として成長していくことを、心から願っています。私たちは青少年の成長を支えることが喜びです。これからもクラブが一丸となり、青少年育成に全力で奉仕していきます。（第 2570 地区 埼玉県）



インドの小学校を教育支援

名古屋東RC 国際奉仕委員長 岡本 光生

当クラブでは今年度、グローバル補助金を活用して、インド・ブネー市郊外の小学校六校に対して、タブレット端末による教育支援事業を行った。

現地では第3131地区のカラヤニ・ナガールロータリークラブ（RC）とNPO明日の会の協力を得て、6校約800人の児童に対し、タブレット端末200台と教育ソフト、ソーラー発電設備などを昨年6月から順次配布。予算は教員訓練費などを含め約650万円を拠出した。

さらに9月24～27日の4日間、本多満元会長を団長に会員7人のインド訪問団が現地入りして、カラヤニ・ナガールRC会長はじめ有志の会員と明日の会代表とともに、事業対象の小学校のうち計4校の運用開始記念式典に参加し、その状況をつぶさに確認した。

現地の子どもたちには各人に一個ずつ、ささやかな日本

製文房具のプレゼントを携えていき、実りある有意義な交流ができた。カラヤニ・ナガールRCの会員たちとも連日和やかに交歓して友情を深め、最終日はブネー市最大のお祭り「ガネーシャ祭」にも参加して大いに盛り上がり、今後の事業の成功を確信して帰国の途に就いた。

なお、この事業と当クラブのインド訪問団については、翌朝の地元紙1面に写真付きで報道され、関心の高さが実感できた。

（第2760地区 愛知県）



バヌアツ支援のため民話集を発行

神戸南RC 米谷 収 宝塚武庫川RC 水谷 重康

3月13日にバヌアツ共和国を襲った大型サイクロンにより甚大な被害があり、緊急援助として国際機関などからの公的支援がなされています。

この自然災害で、就学児童約3万人を含む子どもたち約8万人の教育支援活動をしたいと思い立ちました。

私たちは2013年12月25～29日、ミクロネシア共和国でJICA（国際協力機構）シニアボランティアとして参加していた中園直樹氏（元・神戸北ロータリークラブ、元神戸大医学部教授）夫妻を訪ねましたが、その時に観光局のアドバイザーとして同じJICAシニアボランティアとして活躍していた仲誠一氏を紹介されました。仲氏は以前バヌアツ共和国に同ボランティアとして2年間滞在し、その際、バヌアツ文化セ

ンターから依頼されて、子どものためのバヌアツ民話集『ナバンガ・ピキニニ』を翻訳、その原稿を日本の子どもたちに読んでもらいたいと2014年6月に送ってこられ、それを預かっていました。

この素晴らしい民話集を日本の子どもに読んでもらうと同時に、バヌアツの子どものための教育資金として寄付すべく、神戸新聞総合印刷に出版協力を依頼しました。購入代金から製本販売費用、送料を差し引いた金額をバヌアツ児童支援金に充当させていただき、その資金をバヌアツのポートヴィラロータリークラブに送金して、必要な教材などの購入に充てるよう依頼したいと思います。できるだけ多くのロータリアンにご購読いただくよう期待しています。友人、知人にもお勧めください。

A4判72ページ、2,000円（税・送料込み）

問い合わせ・販売元 ライスヴァレーAC（代表・米谷収）
〒650-0037 神戸市中央区明石町30 常盤ビル402号
電話・ファクス 078-333-5558

振込口座 三井住友銀行神戸営業部 普通 8010662

（第2680地区 兵庫県）





平和の願いはきつとかなう

ロータリー平和センター ホスト・エリアコーディネーター 辰野 克彦

ロータリーの創設者、ポール・ハリスは、2度の世界大戦の中を生き、世界平和の難しさを痛感し、強く平和を希求したロータリアンでありました。ポール・ハリスが亡くなって50年を記念してこの構想が立ち上がり、彼のメモリアルプログラムとして2002年に創立されたのが「ロータリー平和センタープログラム」です。

世界平和にリーダーシップをもって尽くそうとするロータリー平和フェローたちが、6つのロータリー平和センターで2年間学び修士号を取得するプログラムです。毎年、約100人が新しくロータリー平和フェローとして選ばれ、今日までに世界で960人の卒業者を輩出しました。在学中のフェローを入れますと1,150人になります。そのうちの1つが国際基督教大学(ICU)にあります。ICUでの卒業生はちょうど100人で、今、2学年18人の学生が勉学に励んでおります。

2年制の修士コースのセンターは、ICUのほかに、イギリスのブラッドフォード大学、アメリカのデューク大学とノースカロライナ大学チャペルヒル校、オーストラリアのクイーンズランド大学、スウェーデンのウプサラ大学です。これらに加えて、3か月の能力開発コースのセンターが、タイのチュラロンコン大学にあります。

ICUが第2750地区内にあることもあり、第2750地区でICUと緊密に連絡を取りながらロータリー平和センター・プログラム推進の手伝いをさせていただいております。また、ICUで勉学するロータリー平和フェローのカウンセラーを務めるなど第2580、2590、

2770、2780、2790地区、そして第2750地区で世話をしています。

希望者は、地区の推薦があれば、ロータリー平和フェローに申請することができます。世界平和に尽くしたい、そのために勉強をしたいという人たちは日本全国にいらっしゃると思いますので、ぜひ地区でそういう人たちを発掘し、推薦ください。

私は2010年モントリオール国際大会において、キプロス島出身で、2008～2010年のロータリー平和フェロー、マリアス・アントニウさんのお話を聞き大変感動しました。

彼の出身地、キプロスは地中海東寄りにあり、十字軍やフランスの支配下にあったかと思うとオスマントルコに300年間、1800年代後半からは大英帝国の支配下にあり、1960年に独立したという歴史を持つ国です。独立後も英国風憲法は機能せず、1974年、北側はトルコ系、南側はギリシャ系と分けられ、その間には、1974年から2003年まで越えることのできなかった分断ラインがあり、国連平和部隊が守備していたという島国です。マリアス・アントニウさんは1982年にギリシャ系住民として生まれ、以来トルコ系住民は「敵」と教育されて育ったのです。

1998年、フルブライト奨学生としてアメリカに留学した彼は、そこでトルコ系、ギリシャ系キプロス人学生20人ずつで初めて話し合う機会を得た時の驚きを話してくれました。まず、「敵」と教えられていたトルコ系

学生から温かな歓迎を受けたことにカルチャーショックを受けましたが、彼はその後のディスカッションの中でお互いの認識の違いに驚かされます。1974 年を「トルコ侵略」と教育された彼は、トルコ系学生たちは「Happy Peace Day Operation（幸福と平和の日作戦）」と教えられていること、またトルコ系学生が「1963 年には EOKA（キプロス解放民族組織）」というテロ集団に大勢のトルコ系住民が一夜で殺された」と言えば、ギリシャ系学生は「EOKA は祖国統一のために戦ったのだ」と反論する始末。結局その話し合いの中で共通点として認識し合えたのは、「お互いに対する敵意」だけだったと彼は話しました。

そして、1974 年には生まれていなかった 40 人の学生たち皆が持っていた「敵意」は、「目撃しなかった記憶」が教育の中で刷り込まれてきたものであることに彼は気づくのです。と同時に自分の知識や知覚の多くが教育の産物であることを再認識した彼は、「何が真実か？」と自らに問い、教育のシステムを変えなければと思い立ちます。

その後、2003 年には分断ラインが 29 年ぶりに開かれ、今では自由に行き来はできる状況で、キプロス内でギリシャ系、トルコ系のロータリークラブがいろいろなプログラムを共有しているなど進展もあるとのことですが、愛国心とアイデンティティーはトルコ人としてのものと、ギリシャ人としてのものに分かれており、互い



平和と紛争予防／紛争解決

に相手が自分の権利を侵害していると思っている限り人々の心にある相手へのわだかまりはなかなか解けない状況でした。

その中で彼は過去を学び、受け入れ、相手の苦悩を思いやることができるような教育のシステムをつくるべく奔走しているということでした。「互いへの敵意」だけを共通項とする厳しい現実の中で未来を開こうとする彼の平和実現への情熱には大変感銘を受けました。

2004 年、南部のキプロス共和国が EU に加盟し、トルコも EU 加盟への交渉を開始したことから解決への道が開かれました。南部のギリシャ系であるキプロス共和国と北キプロストルコ共和国と二つの共和国に分断されていて、情勢はなおも予断を許していませんが、対話は続いています。北キプロストルコ共和国は南北統一派の大統領が就任したこともあり、一層対話は進む様相です。アントニウさんが今どういう活動をされているかわかりませんが、地域の平和のため、献身的な活動を続けているものと確信しています。約 1,000 人のロータリー平和フェロー卒業生の皆さんも、目立たなくてもそれぞれ国際平和のために働いているものと思います。

(第 2750 地区 2010 - 11 年度ガバナー)

ロータリー平和フェローシップを支援しましょう

寄付

ロータリー平和センター・プログラムへの寄付も重要な支援活動の一つです。2002 年から、世界中の地区からの DDF（地区財団活動資金）の寄贈などを中心に運用されてきましたが、現在は、個人の大口寄付と合わせ、ロータリー平和センター・プログラムを恒久的に支える基金を築くために、2017 年 6 月までに 1 億 5,000 万ドルを集めることが目標となっています。

基金の名称に寄付者の名前を付けることができる冠名基金の寄付方法もあります。

候補者を探す

ロータリー平和フェローにふさわしい候補者を集めるには、ロータリアンの協力が欠かせません。優秀な候補者は、意外に身近なところから見つかるものです。まずはフェローシップの推進から始めましょう。

- ・ロータリー平和フェローシップについて、クラブ会員に説明する。
- ・フェローシップについてのプレスリリースを地元のメディアに送る。
- ・ソーシャルメディアを活用する。Facebook、LinkedIn、Twitterなどで、ロータリー平和フェローシップの機会を知らせます。また、ロータリー平和センターの Facebook ページには、写真や体験記などが掲載されており、これも参考になります。

ロータリー平和フェローシップの申請方法

2017 - 18 年度の申請書は、昨年 12 月 1 日から受け付けが開始されました。申請書は、「My Rotary」からダウンロードすることができます。国際ロータリーの締め切りは 2016 年 7 月 1 日です。締め切りに間に合うよう、地区でのスケジュールを進めてください。



全国の学友福岡に集合！

第5回日本ロータリー学友会全国大会開催

日本ロータリー学友会代表幹事 高木 直之（かながわ湘南RC）

11月8日、第1回大会から連続4回開催の東京から福岡に会場を移して「第5回日本ロータリー学友会全国大会」が開催されました。日本で最初の学友会である福岡ロータリー学友会が、前日の7日に創立50周年記念式典を開催するため、この式典に全国の学友がお祝いに参集し、合わせて翌8日に福岡で「第5回日本ロータリー学友会全国大会」を開催するという企画です。

せっかくの機会ですから、プログラムの構成を3日にわたって用意しました。

11月6日 音楽家の学友による「子どもの村」コンサート

11月7日 「福岡ロータリー学友会創立50周年記念式典」と、全国からの学友、ロータリアンたちとの交流懇親のための二次会

11月8日 「日本ロータリー学友会全国大会」。
太宰府天満宮、九州国立博物館への参拝・見学ツアー

なお、プログラム初日の6日には、日本ロータリー学友会の中核メンバーである「ロータリーフェローズ東京」が、国際ロータリー（RI）から「最優秀学友会賞」を受賞したとのニュースが届き、大会に花を添えました。

第5回 日本ロータリー学友会全国大会

11月8日9時半～13時、福岡市の健康づくりサポー

トセンター「あいれふ」で開催されました。参加者は、全国24地区、北は北海道から、南は九州まで学友44人、財団地域コーディネーター（RRFC）村上有司氏をはじめ18人のロータリアン、来賓はRI日本事務局財団室長の清水優季氏、ドイツからの学友・栗田ゆかり氏、パネリストのグローバルおよび地区奨学生の学友2人で、合計66人の参加を得て予想を超える盛会となりました。

全国大会は、第1部「学友会総会」、第2部「パネルディスカッション」、第3部「各地区学友会活動報告」、第4部「太宰府天満宮・九州国立博物館への参拝・見学ツアー」で構成され、1部から3部にわたり熱心な討議が行われました。

第1部 学友会総会

総会は、来賓紹介、中牟田久敬福岡学友会長からの、前日の「ロータリー福岡学友会50周年記念式典」に日本ロータリー学友会メンバーが多数（約50人）参加したことに対する謝辞に始まり、第2830地区（青森県）の学友会結成報告があり、続いてRIからの日本学友会全国大会の開催を祝うビデオメッセージが上映されました。その後、総会議事では、田中栄次郎会長の司会で、同氏から2014年の活動状況の報告があり、主として2014年11月、東京海洋大学で開催の第4回日本ロー

タリー学友会全国大会についての報告がありました。

2014 - 15 年度決算および 2015 - 16 年度予算：本城信会計幹事より報告、松下衛会計監査幹事の監査報告があり、昨年度はロータリー財団からの補助金により黒字となったが、今年度は福岡ロータリー学友会創立 50 周年記念式典の参加料を支払った学友は、全国大会参加料を全額免除したため収支が厳しいとの報告がありました。現状を認識の上、一同異議なく本決算、予算は承認されました。

役員任期の件：現執行部は、2015 年 6 月末でその任期が終わっており、本年 7 月にさかのぼって 1 年間任期を延長し、2016 年 6 月末までの任期としたいとの会長提案があり、一同異議なく承認されました。

第 2 部 パネルディスカッション

「ロータリーの現状と学友への期待」

R R F C 村上有司氏

「ロータリーの奨学金の現状」

R I 日本事務局財団室長 清水優季氏

「ドイツロータリーの奨学金プログラム」

在独学友 栗田ゆかり氏

「グローバル奨学生としての経験と課題」

第 2700 地区学友 福岡慎一氏

「地区奨学生の帰国報告」

第 2680 地区学友 小島伸彦氏

「日本の奨学生制度の今後について」

司会 柚木裕子氏

なお、福岡氏からの派遣地区の推薦取得、留学先のロータリーの受け入れ承認についての苦勞話に一同共感し、今後は慣れもあろうが対策が必要との声が大きかったことを、つけ加えたいと思います。

第 3 部 学友会活動報告

音楽家学友による「子どもの村」コンサート報告

全国学友会幹事 森田澄夫氏

第 2530 地区（福島県）福島学友会プロジェクト報告
「福島県盲学校のハワイホームステイ」

第 2530 地区学友会会長 鈴木美恵子氏

第 2510 地区（北海道西部）「最北地区活動報告」

第 2510 地区学友会幹事 上野千恵美氏

第 2620 地区（山梨県・静岡県）「学友会誌発行の歴史」

第 2620 地区学友会代表幹事 植松茂氏

第 2720 地区（熊本県・大分県）

「ロータリーファミリーとして」

第 2720 地区学友会幹事 児玉由美子氏

学友会全国大会講評

R R F C 村上有司氏

第 4 部 太宰府天満宮、九州国立博物館への参拝・見学ツアー

総会終了後、希望者 45 人がチャーターバスに乗り、北海道から本州、四国地区などの学友が、なかなか参拝、見学のチャンスがない「太宰府天満宮、九州国立博物館への参拝・見学ツアー」に出発しました。

案内役は、いずれも選りすぐりの学友で、その一人、

福岡ロータリー学友会創立 50 周年記念式典を開催

石村 僖悟（福岡 R C）

2015 年 11 月 7 日、午後 4 時から国際ロータリー福岡学友会の 50 周年を祝い、福岡ロータリークラブ（R C）会員で、同学友会の中牟田久敬会長の肝いりで、記念講演会と祝賀夕食会が開催されました。

今回の 50 周年記念式典のテーマに据えた「Fellowship Through Service」は、スタンフォード大学の所在地であるパロ・アルト R C（アメリカ・カリフォルニア州）で中牟田久敬氏が受けたオリエンテーションのテーマです。個人的には、奉仕論よりも友情論が重要であると考えています。

講演者として（株）ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長（ユニクロ代表者）の柳井正氏、財団学友で J A X A（宇宙航空研究開発機構）の島田潤氏、そして中国・上海米山学友会会長の賀剣良氏を招いた



ところ、多くの出席者から好評の声をいただきました。

予想以上に多くの、全国からの学友会メンバーに参加していただきました。第 2700 地区のロータリアンならびに家族も含め、約 300 人の盛会でした。

（第 2700 地区 福岡県）



R. ダイクさんは、アメリカからロータリー財団国際親善奨学生として、福岡の九州大学大学院に留学、日本経済史を専攻し、当時から太宰府天満宮の宮司さんと親交があった学友です。

そのご縁で、当日は、太宰府天満宮の常任顧問森五郎氏とその夫人（文学博士）にご案内いただき、神殿前でお祓いを受けて、社務所でお茶と普通のダブルサイズの「梅が枝餅」をいただきました。

また、ゆかりの菅原道真を慕って京都から飛んできたという飛梅の前で記念写真を撮り、そこから福岡の学友で九州国立博物館、特任研究員の^{だいのぶゆうじ} 埴信祐爾氏に引き継ぎ、長い特設エスカレーターで国立博物館に。限られた時間でしたが、埴信さんの案内で、古代からの九州と中国大陸、朝鮮半島との往来、交流の歴史について学びました。内容豊富なツアーで一同大満足でした。

夕方、空港と博多駅から次年度全国大会での再会を約して皆それぞれに福岡を後にしました。この全国大会を成功させるために福岡の学友にさまざまな面でサポートしていただきました。この欄を借りて厚く感謝申し上げます。

11月6日、音楽学友による 「子どもの村」コンサート

親の病気や貧困、虐待や育児放棄など、さまざまな事情で家族と暮らせなくなった子どもたちは、全国で4万7,000人以上と言われています。福岡には、このような子どもたちが里親と一緒に小さな家族として暮らす日本で最初にできた「子どもの村福岡」という里親コミュニティがあります。

学友で、日本ロータリー学友会幹事の森田澄夫氏（ロータリーフェローズ東京会長）が2年前にここでクリスマスコンサートを行い

大変喜ばれたことから、ロータリークラブとも縁の深い「子どもの村福岡」で学友音楽家によるコンサートを、全国大会プレイベントとして、11月6日午後4時から「子どもの村 たまごホール」で開催しました。

出演は、秋永佳世（ソプラノ）森田澄夫（テノール）黒田映李（ピアノ）の3人で、歌とぬいぐるみも使った芝居仕立てで、「ドレミの歌」、「ハイホー」や「赤とんぼ」ほか親しみやすいプログラムで子どもたちと地域の方々に楽しんでいただきました。また、学友会全国大会でこの「子どもの村」でのコンサートを森田氏が

報告し、カンパを募ったところ5万4,000円が集まり、「子どもの村」に届けられました。

11月7日、学友交流、懇親会

—福岡ロータリー学友会創立50周年記念式典後の 学友イベント

今回の福岡での全国大会を開催するに当たり、開催地が九州であることから参加者の地域が偏って、全国大会にならないのではないかと心配されました。しかし、大会参加者66人中、九州在住者は17人で、残り49人、全体の約4分の3が北海道をはじめとする日本全国からの参加者でした。

これら全国からの学友、ロータリアンに、おいしい博多の魚と焼酎を楽しんでもらいたいと、福岡ロータリー学友会創立50周年の大会終了後、全国の学友の交流、懇親のための二次会を企画しました。会場は45人の学友、ロータリアンで埋められ、夜の更けるまで友好、懇親を深めました。



第2770地区で初！「ロータリーフェスタ2015」開催

春日部RC 小笠原泰三

10月25日、JR浦和駅東口駅前の市民広場で「ロータリーフェスタ2015」を開催しました。地区ロータリーフェスタ実行委員会が主催したもので、地区として初めての、全国的にも画期的なイベントとなりました。

オープニングで井原實ガバナーは「ロータリークラブをもっと広く知ってほしい、理解してほしい」との趣旨のあいさつを行いました。フードコートではおいしいご当地グルメ、物産コートでは東北物産店などの店が並び、お祭り気分を盛り上げました。ステージでは彩の宮太鼓や龍舞会の踊り、カクテルコンテスト、青少年交換学生や米山奨学生の踊り、フラダンス、踊り、ギター演奏、ジャズ、コーラス、財団学友によるバイオリン演奏など多彩な演出に、訪れた人たちは体を揺らし、楽しく有意義な

時間を過ごしていました。

前日の24日午後3～5時には、世界最高峰の自転車競技のロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した大会で、今回で3回目を迎えた「2015 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」がさいたま新都心駅周辺で開催され、そのパブリックビューイング（映像観戦）がJR浦和駅前で行われました。フランスの本戦を競うスーパースターが集結して熱戦を繰り広げ、そんな興奮冷めやらぬ浦和駅前での開催となりました。

延べ2万人が参加し、終始盛況のうちに終了しました。ロータリーの公共イメージ向上にも一役買うことができ、とても有益なものであったといえるでしょう。次の新たな企画を期待します。 （第2770地区 埼玉県）

写真提供：浦和中RC 大久保政明



World Roundup

世界のロータリーニュース



ハンガリー

昨年6月、世界の21地区から選ばれた21人の若者がセクスアルド・ロータリークラブ（RC）の企画によってハンガリー南部で開催された馬術プログラムのために集まりました。1週間にわたって開催されるキャンプはセクスアルドRCが年に1回催しているもので、今回は3回目となります。

スペイン、台湾、アイスランド、トルコなど各国から集まった15～22歳の若者が、英語を共通語として、ジャンプ、散策、馬車操縦などの馬術を学びました。

「参加者は乗馬を学びながら、お互いに仲間との絆を築きました。また、ハンガリーの伝統的なもてなしや、文化、名所についても学びました」と、当時クラブ会長エレクトだったパール・シンカ氏は話します。



ケニア

ライオン、キリン、ゾウ、ヒョウ、サイとの遭遇は、サファリツアー観光客にとって貴重な体験。国立動物保護区への入場は高額なので、現地の人であっても動物を見る機会はほとんどないかもしれません。「かつて、動物はどこにでもいましたが、人口と食肉需要の増加により、動物が激減しています」と、首都から東に45マイル（約70 km）に位置するカンガンダーのサファリガイドをしているプレストン・マティンダ氏は言います。

マティンダ氏は、自らの着想とアメリカ・オハイオ州のトロイ・ロータリークラブ（RC）からの支援によって、2004年に2エーカーの野生動物センターを開設しました。このセンターは、マティンダ氏が、2001年にトロイRCからの奨学金で3か月間研修留学した、トロイ近郊にあるブラクナー自然センターになったものです。加えて同センターは、建設費、備品、教育・研修費として、トロイRCが

野生動物を目玉とした観光業は
ケニア国内総生産（GDP）の
25%を占めます。

ら4万ドル（約480万円）以上の支援も受けました。

野生動物センターでは、動物のビデオの映写や剥製の展示をしており、年間2万人が来訪します。「地元の人はマサイ・セレンゲティ国立公園まで足を運んで動物を目にする余裕がありませんが、ビデオを通じて動物について学ぶことができます」とマティンダ氏。「（剥製でも）ライオンを初めて目にした子どもたちの驚く反応にはこちらもうれしくなりますね」
—ブラッド・ウェバー



スウェーデン

タヌム・ロータリークラブは早くから、インドの活動家、カイラシュ・サティヤティ氏を支援してきました。サティヤティ氏は2014年にマララ・ユスフザイ氏とともにノーベル平和賞を受賞した人です。

10年前に、ロータリアンのキリスト・ヤンソン氏とニーナ夫人が、サティヤティ氏と彼の施設「Bal Ashram」（児童労働被害者を支援するセンター）を紹介したのが支援のきっかけでした。クラブは、深さ53mの井戸を掘って学校と周辺地域に水を提供。2012年4月の現地視察では、会員が子どもたちとのサッカーを楽しみました。2014年2月にサティヤティ氏がスウェーデンを訪れた折には、クラブで荒れ果てたフィールドを整備するために6,000ドル（約72万円）を贈りました。

その8か月後、サティヤティ氏のノーベル賞受賞の朗報に、全会員が歓喜しました。

ノルウェー・ノーベル委員会による審議記録と候補者リストは、50年間非公開となっています。



カンボジア

髄液と脳組織のヘルニアが原因で、頭部に球状突起ができる髄膜脳瘤（ずいまくのうりゅう）は、先進国ではほとんど見られませんが、カンボジアや東南アジア諸国にはまだこの疾患をわずらっている人が多いです。プノンペン・ロータリークラブは、地元の小児外科センターと協力し、2013年8月から60人以上の患者を診療してきました。

クラブ会員から成る少人数のチームが遠隔地の村を訪れ、神経管欠損を調べる検診を行っています。神経管欠損は母親が妊娠早期にカビのついた米を食べたか、特定の環境にいたことに起因すると言われていました。一人当たり800ドルかかる手術費は、イギリス、オーストラリア、日本、アメリカの14のロータリークラブと、7人のロータリアンが援助しています。



セントクリストファー・ネビス

リアムイガ・ロータリークラブは、これまで10年以上にわたり、毎年9月の「国家的英雄の日」を祝い、地元の高齢者介護施設に住む人々に手料理を振る舞ってきました。食事とともに施設住民と会員が歓談し、スティールドラムのリズムにのって昔ながらのダンスを楽しむ人もいと話すのは、会長のタフィダ・スチュワート氏。

高齢者に敬意を表して、調理台、洗濯機、変圧器、テレビ、タオル、衣類などを長年にわたって寄贈してきましたが、これはカリブ海にある国で先人の功績をたたえる祝日にふさわしいことだとスチュワート氏は話します。この活動にはローターアクターも参加しています。

高陽を 100 倍楽しむ方法

2016 年ソウル国際大会ホスト組織委員会



2016 年ソウル国際大会が開催される KINTEX のある高陽^{コヤン}は、大会に参加するだけではもったいないほど見どころがたくさん。今月号では高陽の観光地を紹介します。



ヘンジュサンソン
幸洲山城 (写真上)

この山城は古代の三国時代に築城された土城で、頂上から眺める漢江は絶景。多くの写真家が訪れます。豊臣秀吉が行った朝鮮出兵による、日本軍と朝鮮軍の激戦地だったところでもあります。

イルサン
一山

高陽で最大級規模を誇るショッピングモール。湖水公園の歌う噴水近くにあり、ショッピングだけでなく、365 日楽しめるウォーターパークやスノーパークが、一か所に集まった新しいスタイルの空間です。また映画、テレビ番組のロケ地としても知られています。



ラ・フェスタ&ウェスティンドーム (写真中)

ショッピングモールが立ち並ぶラ・フェスタを中心とした大型ファッションストリート。週末にはライブコンサートや公開放送、ファッションショーなどさまざまなイベントが開かれ、ソウル西北部のプレイスポットです。

イルサンホスコンウォン
一山湖水公園 (写真下)

アジア最大の人工湖公園。自然生態系を再現したさまざまな水辺景観、広場、人工島などがあり、憩いの場として首都圏からも大勢の人が訪れます。八角屋根の東屋や爽やかな水しぶきをあげる人工瀑布、5～6月にピークを迎えるバラ公園、韓国伝統庭園などユニークな見所いっぱい。また、音楽とともに噴水が動きを演出するノレハヌン(歌う噴水)ショーが有名で、この噴水ショーは、4～10月の間運営されます。花博の会場としても有名。

高陽アラムヌリ

オペラ、バレエ、ミュージカル、オーケストラなどさまざまなジャンルの公演に適した3つのステージが整っています。最適な芸術空間で展示と公演で文化と芸術を身近に感じられます。

< 高陽市観光 > ウェブサイト：www.visitgoyang.net



ロータリーの公式ロゴを実践

ガバナーエレクトが国際協議会から帰国し、各地区ではPETS（会長エレクト研修セミナー）が開催され始めることでしょう。各クラブでも、新年度を迎える準備が本格的になってきたころかと思います。

11月号の本欄に「何度も恐縮ですが、ロータリーの公式ロゴ」というタイトルで、ロータリーのロゴについてご紹介したところ、予想より多くの反響があり、驚きました。そのほとんどが「初めて知った」というものでした。

新しいロゴについては、これまでも『友』誌で何度も掲載してきました。地区のセミナーでも何度も紹介されていると思います。国際ロータリー（RI）のウェブサイトにも詳細が掲載されています。その時はわかっていても、「では新しい年度から」と思っただけで次の担当者に引き継がれないままなので、今年度の担当者が知らなかった、といったケースが多いのではないのでしょうか。

そこで、今回は次年度の担当者の皆さまに、あらためてロゴについてご紹介します。前回も書きましたように、使用方法の詳細につきましては、2015年1月号横組みP13～15をご参照ください。具体例を含めて、より詳細に知りたい方は、RIのウェブサイトの「My Rotary」の「役立つツール」にある「ブランドリソースセンター」をクリックし、「ガイドライン」から『ロータリーを生き生きと表現しよう』という冊子をダウンロードしてください。

この「ブランドリソースセンター」には、クラブや地区でロゴを使用する時に役立つツールがいろいろと用意されています。

まず、クラブ名を入れた公式ロゴを作成することができるツール。「ブランドリソースセンター」トップの「ガイドライン」の隣にある「ロゴ」をクリックして中に入ります。ここからは、公式ロゴ、誇りのシンボル、ロータリー財団のロゴ、インターアクトやローターアクトなどのロゴをダウンロードすることができます

が、テンプレートもあり、クラブ名入りのロゴを作成できるようになっています。

トップページ「ロゴ」の隣にあるのが「資料」。ここをクリックして中に入ると、ロータリーのロゴ入りの便箋や名刺などを作成するためのテンプレートがあります。イベントなどに利用できるチラシやパワーポイント、クラブを紹介するためのパンフレットのテンプレートを利用することもできます。

さて、ここに最近加わったのが、ロータリーの旗をつくるためのツールです。地の色が白いものと青いものの、公式ロゴを使ったものと誇りのシンボルを使ったものと、数種類のデータが入っています。

ただし、ここで一つお気をつけください。以前にもご紹介しましたように、誇りのシンボルは単独で使うことはできません。従って、ここのテンプレートにある誇りのシンボルを使って旗をつくる時は、必ず「公式ロゴ」のタグをつけてください。詳細は、最初にご紹介した『ロータリーを生き生きと表現しよう』に紹介されています。

それぞれのクラブの活動が、ロータリーの活動として結びつき、ロータリーのイメージ向上に資するよう、ロゴ、そしてパンフレットやホームページに使用する色など、この機会に見直しましょう。

『友』編集長 二神 典子





世界へのプレゼントになろう

第44回 ロータリー研究会レポート

ロータリー研究会は、国際ロータリー（R I）の現・元・次期役員のための研修ならびに情報交換のための会合です。ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナーノミニーデジグネートに加えて、数年前からガバナー補佐も出席できるようになりました。これらの人たちに加えて、より多くの人たちにロータリーの最新情報を知ってもらおうと、R I 理事の杉谷卓紀氏は、地区の将来を担う人たちにも参加を呼びかけ、『ロータリーの友』10月号にも案内を掲載しました。

ロータリーではすべてが平等に扱われます

R I 会長のK. R. ラビンドラン氏は「私がR I 会長ノミニーに指名された時、スリランカがどこにあるのか、わざわざ地図を出して示さなければならないこともありましたが、しかし、ロータリーという組織では、出身国がどこであれ構いません。どのような言語を話しているのかも関係ありません。何を信仰しているかも問われません。笑顔が共通の言葉です。みんなが平等に扱われるのがロータリーです。ロータリーは、私たち人間全てに共通す

るものがあることを教えてください。どのように考えていようと、どのような宗教であろうと、ロータリーでは全てが平等に扱われます」と、ロータリーの根底に何があるのかについて述べました。

「自分が理解されるためには、自分と違う人を理解することから始めなければならないと思います。自分が助けてもらいたいなら、自分から手を差し伸べることが大切になります。このことは、私たち人間に課せられた基本的なことではないかと思います。そこから共通の人類愛が生まれてくるのだと思います。そこで私たちは世界へのプレゼントにならなければならないということが起こってきます」と続けました。

ラビンドラン氏は、インドを訪問した折に見た、国を挙げて学校にトイレをつくったプロジェクトや、マザー・テレサと会った時のことを紹介しました。

そして「マザー・テレサは常に、自分がしてもらいたいことをまず他人に行うことを原則にしていました。しかし、彼女はその原則を守るだけではなく、それを超えているいろいろな奉仕活動をしています。皆さんの行動を見て、ほかの人たちがついてくるのです。ある時、マザー・テレサがトイレの掃除を終えて出てくると、背広を着た紳士が待っていました。彼女は彼に掃除用具を渡し、今度はあなたの番ですと言いました。紳士は、20分かけて掃除をしてマザー・テレサを待ち、彼女と話をする機

と き 2015年11月27～28日
参加者 国際ロータリー現・元・次期役員ならびに配偶者、ガバナー補佐、その他、718人（韓国、台湾からの参加者を含む）

会を得ました。彼は、航空会社の社長で、この時の経験をたくさんの人に語っています。彼は、マザー・テレサの指示に従ってトイレの清掃をしたことによって、マザー・テレサの一部になることができ、それまでの自分とは違う目で、世界を見ることができるようになったと述べています。ロータリーも同じようなものだと思います。ロータリーを通して、私もほかの人に奉仕し、そこでマハトマ・ガンディー、マーチン・ルーサー・キング牧師、マザー・テレサになる可能性があるのです。ですから、自分の人生の20分、または2週間、ほかの人のために何かをするということ、これはロータリーが私たちに提供してくれた一つの機会だと思います。そこで自分の能力をほかの人のために使うこと、汗をかくこと、私たちの献身をほかの人たちのためにささげることができるようになります。ほかの人にとって何が大切なのかを考える機会を与えられているのです。それこそが、ロータリーが100年以上続いたことの根底にあるものだと考えます。日本のロータリーも間もなく100周年を迎えられますが、次の100年において、日本のロータリーがもっと力強くなるよう、そして次世代の人たちにも私たちはその道を切り開いていかなければいけません。今の時期は、私たちの手の中にあります。これからも世界のプレゼントになれるよう、がんばっていただきたいと思います」と結びました。

偏見とは相手のことを理解しようとし 自分の姿勢が生むもの

ロータリーでは次代を担う若い人たちを育成する多くのプログラムを持っています。しかし、それらによって



K. R. ラビンドラン R I 会長

どのように若い人たちが育ったのか、その成果を実感できる機会に恵まれた会員はそれほど多くないかもしれません。彼らに接する機会が少ないからです。しかし、これらのプログラムを経験した人たちは、そこから確実に何かを学び、その後の人生に生かしてくれています。

「未来への懸け橋」というテーマのセッションでは、これらのプログラムに参加した人たちの声を実際に聞くことができました。青少年交換学生としてアメリカに留学した経験を持つ眞鍋要一氏は、その後パイロットになりました。彼は「成長する過程でさまざまな経験を積んでいくと、初対面の

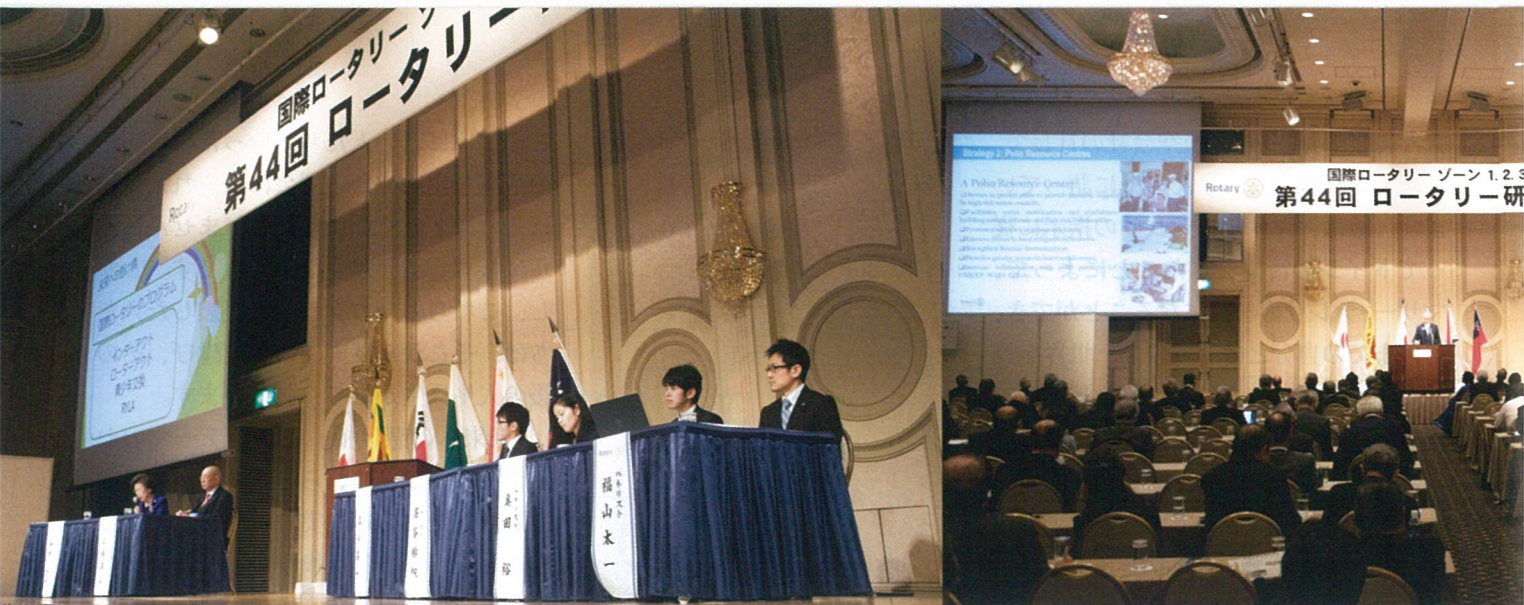
人の本質を事前に仕入れた情報や第一印象で判断してしまいます。いわゆるバイアス、偏見が形成されてしまうのです。しかし、社会的経験の浅い子どもたちはオープンで、自分が他者の輪に入ることも、他者を自分の輪に入れることも、比較的容易に行っているように見受けられます。私が青少年交換学生として派遣されたのは、マサチューセッツ州マルボロという小さな田舎町でした。日本人はおろかアジア系の人もおらず、自分は浮いた存在だと自己分析していました。しかし、実際は全く逆で、マルボロの人たちは私をあつという間に受け入れてくださり、私は偏見や差別を感じることはありませんでした」と話しました。

マルボロで印象に残った経験として、「渡米してそれほど日がたっていないある日、私は日本の仏教と神道の違いについて質問を受けました。私の英語はつたなく、時間をかけてもなかなか伝えきれません。しかし、彼は私をせかすことなく、私が表現しきれないことに関しては、自分の知識も持ち出して『君の言いたいことはこう

いうことかな』とうまく誘導してくださいました。『ごめん。難しい質問しちゃった。気にしないで』と質問を打ち切るのではなく、きちんと私に説明をさせて、内容については誤解せず、しっかりと理解してくれたのです。相手に伝わったという達成感や安堵感と同時に、強い衝撃を受けました。偏見とは相手のことを理解しようとし、自分の姿勢が生むものだと気づいたからです。相手のことを誤解しないよう時間をかけて慎重に対話し、相互理解を深めれば偏見は極小化できるはずだと気づいたからです」と紹介しました。

そして「青少年交換学生としての経験は、私





セッション「未来への懸け橋」では若い人たちの成長ぶりを実感

ポリオの最新情報を学びました

の現在の仕事やプライベートにおける姿勢に大きな影響を与えました。その経験は子育てにも生かされています。これは私だけではありません。あまたの青少年交換学生が、さまざまな地域で何かに気づき、そのことを大事にしながら新たな世代を育てています。一人の学生のたった一つの経験が自転しながら次の世代へつながっていきます。この素晴らしいプログラムをこれからも推進いただき、より多くの若い世代に気づきの場を与えていただければ幸甚と存じます」と述べました。

ロータリアンが若い人たちを支援する時、その支援はその本人だけではなく、彼らを通して次の世代へ、さらに次の世代へと受け継がれていくということを、眞鍋氏の話が教えてくれました。交換学生だけでなく、ローターアクト、インターアクト、財団学友、そして米山学友など、若い人たちへの支援はいずれも、同様のことが言えるのだと思います。そして、このことはロータリアンの励みになるでしょう。さらに、自分たちが支援した若い人たちが、逆に、自分たちにさまざまな教えや、気づきを与えてくれることを実感した参加者も多かった

ポリオ撲滅に地区活動資金を寄付した功績で
第2650地区に感謝状



ことでしょう。

「34地区の実践報告」というテーマのセッションでは、国内の地区やクラブの数え切れないほどのプロジェクトの中から、第2660地区（大阪府北部）が5月に開催した「ロータリーフェスティバル 考えよう子どもたちの未来を!! 危険ドラッグの撲滅を目指して」、第2760地区が10月に開催した「ワールド+ふれ愛フェスタ」、第2580地区・東京本郷RC「第3回東京ドーム少年野球大会」についての報告がありました。3つとも『友』誌に掲載した活動で皆さまご存じのことと思いますが、活動をした人たちからじかに話を聞くことができ、あらためてそれらの活動の意義に思いが至りました。いずれも地域のニーズに合った、そしてロータリアン自らが汗をかき、ロータリーの公共イメージ向上に一役買うことのできた素晴らしい活動ばかりでした。

ポリオ撲滅が一日も早く実現できるよう

2018年までに全世界からポリオが撲滅することを目指して活動を続けてきましたが、昨年9月、ナイジェリアがポリオの常在国から外れ、パキスタンとアフガニスタンの2か国を残すだけになりました。そのパキスタンから国際ポリオ委員のアジス・メモシ氏が、ポリオに関する最新情報を紹介するために来日しました。

メモシ氏は「パキスタンには全国ポリオプラス委員会がありますが、これは焦点の定まったポリオ撲滅活動を行っていこう、また、国としての緊急アクションプランを支援し、ポリオ撲滅活動に携わっていこうというものです。ファタという地域はタリバンが支配している地域です。オサマ・ビンラディンが殺された後、ワクチン投与が不可能になってきた地域です。149人の子供たちが射殺されました。しかし、今後は状況が改善されるのではないかと思います。2014年には306件の症例



国際ポリオ委員のアジス・メモシ氏

セッション「34 地区の実践報告」で3つの活動が紹介されました

が報告されました。その年には18人の保健員が殺害されました。しかし、その後、良い方向に進み、かなり症例数が減ってきました。2015年、ファタでは、これまで14件にとどまっています。政府ももっと力を入れなければならないと考えるようになってきています。経口ワクチンだけでなく、注射による予防接種も導入されてきました。しかし、一番の課題はセキュリティに関するものです。弾丸を避けながら、命の危険を侵しながら、ポリオワクチンの投与を行って

いかなければいけないということが、ワクチン投与を困難なものにしています。ですから戦略的な方で、これからどうすればもっと多くの子どもたちにワクチンを投与することができるのかを考えていかなければいけません。日本政府からも、タスクフォースの方たちがパキスタンにいらして、パキスタン政府の首脳と話をする機会がありました。ほかの国々からもたくさんの方々が来てくださっています。パキスタン政府もポリオ撲滅のために全力を注ぐという約束をしてくれ、現在活動をしています」と、厳しい現状ながらも少しずつ改善していることを紹介しました。

「ポリオの撲滅を早く実現しなければならないと考えています。パキスタンのロータリアン一人ひとりが必ず最善を尽くしていきます。ロータリーが世界の子どもたちに対して約束をしたこと、全ての子どもたちがポリオのために苦しまないようにという約束、それが実現できる日が一日も早く来るように願っています」と結びました。



杉谷卓紀 R I 理事

今回の研究会招集者、杉谷 R I 理事は閉会のあいさつで、「昨年度、今年度、ロータリー研究会を開催するに当たって、ロータリーの温かさがこれほど身にしみたことはありません。ロータリーというだけで、私たちは強い絆で結ばれています。ロータリーに感謝を述べて閉会の言葉といたします」と結びました。

ロータリー研究会に参加した人それぞれが、それぞれの受け止め方で、ロータリーの最新情報やプロジェクトについて考えたことと思います。青少年交換学生としての貴重な経験を披露してくれた、

眞鍋氏が「一人の学生のたった一つの経験が自転しながら次の世代へつながっています」と話していましたが、それと同様に、ここで聞いたこと、考えたことをそれぞれが自ら考え、また地区やクラブに持ち帰って多くのロータリアンに伝えること、それが今回の参加者の大きな役割だと思いました。

取材『友』編集長 二神 典子



石巻復興支援 山形名物いも煮会 山形西ロータリークラブ

毎年、さわやかな秋空が見られるようになると山形では、牛肉、コンニャク、しょうゆ、サトイモの消費量が驚くほど右肩上がりになります。全国ニュースでも毎年取り上げられる「日本一いも煮会フェスティバル」を皮切りに、山形市内を流れる馬見ヶ崎川^{まみがさき}の河川敷などを会場にした「山形名物 いも煮会」が毎週末、あちこちで開かれるからです。

10月3日、山形西ロータリークラブは「石巻復興支援いも煮会」と題したロータリーデーを開催。当クラブが被災地訪問として宮城県石巻市を訪れたのが2014年の4月、その際「国境なき奉仕団チーム山形」による炊き出し支援との連携により生まれた「縁」が、石巻市向陽町仮設住宅にお住まいの方々とつながります。それ以来、有志会員が「国境なき奉仕団チーム山形」のメンバーとともに支援に訪れ、交流を深めてきました。

その際に「訪問支援のはずが逆におもてなしをいただいた。もっとほかにできることはないのか」という会員たちからの声で始まった「山形でのいも煮会交流」。今回は約100人の方々をお迎えしましたが、有志会員による前日からの泊まり込みの「場所取り」のおかげもあり、総勢150人余りで、10か所の石積みかまどでマキ

をたき、弦つき鍋で調理をしながら、山形の地酒の日本酒やワインを酌み交わしました。また、ほっこりとおいしく出来上がったいも煮を食べながら、笑顔の花があちこちで咲いていました。

さまざまな会話を楽しむ中、一つ心に響くことができました。現在仮設住宅では、被災した方々しかわからない「新たな別れ」があるということです。仮設住宅から復興支援住宅への引っ越しによる「別れ」、仮設住宅での一人暮らしによる孤独死などの「別れ」など、思わず胸が苦しくなりました。震災で別れ、仮設住宅で出会い助け合ってきたコミュニティからまた別れることが、新たなストレスを生み出していることを知らされました。

そのような中で、実際に次の日に引っ越しを予定していて、仮設住宅の仲間から離れたくないと話されていた方の一言が印象に残りました。「今日は本当に来て良かった。仮設で話せなかったことも山形の青空の下で吐き出せ、心のつかえが取れて軽くなりました」。このように言ってくれたことが何よりうれしく、秋空のような晴れやかな気持ちになりました。山形西ロータリークラブ方針「楽しみを知り 支えあう喜びを」の行動を継続していきます。

(第2800地区 山形県)



飯舘村の子どもたちに本を寄贈

東京麹町R C・福島南R C姉妹クラブ協同奉仕

福島南R C クラブ広報・雑誌委員会 渡辺 雅浩



東日本大震災後の2011年10月に姉妹クラブを締結し、満4年を迎えた東京麹町ロータリークラブ(RC)と福島南RCは、今年度の協同奉仕事業として、10月21日、東京電力福島第一原発事故で全村避難している福島県飯舘村の子どもたちが学ぶ、福島市飯野町にある飯舘中学校仮校舎を訪ね、小中学生にロータリー文庫の

本の寄贈を行った。

飯舘村の6,700人余の村民は、全村避難ということで、家族がバラバラになって生活しており、子どもたちも約半数が村外の学校に転校している現状だ。もともと、菅野典雄村長のユニークな発想のもとに村民一体となって、まていな(ていねいな)暮らしを提唱してきた村だけに、子どもたちへの教育に関しては特別な思いが感じられる。

海外出張中の村長に代わって応対してくださった八巻義徳教育長は、「村民の帰村は、2017年春までを目標としているが、村の将来にわたる復興は、若い力がなければ成り立たない」という。

贈呈式後、国が直轄で除染作業を進めている飯舘村を視察し、除染廃棄物を入れた袋が整然と山積みになっている光景を目の当たりにして、二つの姉妹クラブは、復興の道のりは厳しく長いことを実感し、継続した支援を誓った。(第2580地区 東京都/第2530地区 福島県)

秋の味覚を届け震災復興支援

横浜旭RC 社会奉仕委員長 田川 富男

10月18日、秋晴れのもと、横浜市旭区の「旭ふれあい区民まつり」が開催されました。クラブではブースを設け、「ロータリーデー」として区民にロータリーの存在をアピール。「ロータリークラブだからできる復興支援」をテーマに、被災地から離れた場所でも意義ある支援を展開したいという気持ちで実施しました。

場内ブースでは、被災後から交流している友好クラブ、第2520地区の岩沼ロータリークラブ(宮城県)とコラボレーションし、岩沼産の新米を「宮城産ひとめぼれ 復活新米」として販売、510kg分を完売。区民の方々に秋の味覚として、復興を印象付ける新米を届けることができました。

お米には、当クラブで編集した防災リーフレット『防災簡易心得帳てんでんこ』を添付。名前は「津波てんでんこ」という三陸地方に伝わる津波防災を意味する言葉から付けました。これを機に、各家庭で防災について会話をしてくれたかな、と想像します。

また、横浜市はフィリピンのマニラ市と友好都市を締結していることから、屋外ステージでは当クラブ主催の「ロータリーデー」公演として、東京外国語大学フィリ



ピン民族舞踊団の皆さんに出演をお願いし、満場の拍手が起るほどのパフォーマンスを、披露していただきました。

被災前と後の写真や現在の岩沼市、大津波の様子などをパネルで展示し、現在も復興に向けてがんばっていることを伝え、災害の記憶の風化防止に努めることで、今回のテーマに沿った活動にすることができました。

(第2590地区 神奈川県)

東日本大震災

北海道・第 2500 地区 最新事情

第 2500 地区

東堂 明 ガバナー
(旭川北 R C)



2 月の旭川は毎日寒さと雪との闘いです。除雪車が轟音を立てながら除雪する距離はひと晩で約 2,200 km、旭川市から広島市までの距離に相当します。この他歩道の除雪が約 560 km、排雪する車道が約 750 km。旭川市内には道道、国道、私道、さらには公共、民間地の除排雪がありますが除雪の体制は北海道で一番です。

当地区は九州とほぼ同じ広さ。北は利尻、礼文島、南端は広尾、東端は根室と北海道の東半分の地区です。67 クラブと約 2,300 人のロータリアンが在籍。今年度の公式訪問は、基本的に合同例会や例会変更をしないで 10 月の地区大会までに終わるとしたため、相当過酷なものでした。根室方面のクラブへは往復で約 1,200 km もあり、これは大変だと思いましたが、会員の皆さんも同じように遠い所から地区行事に参加しているということに、ガバナーになって気が付きました。

この広大な北海道特有の雪害交通事情のため、4 月に P E T S と地区研修・協議会が同時に行われます。地区大会とライラセミナーは 3 日間の開催でしたが、今年度は地区大会を 2 日間に短縮し、ライラセミナーは次年度から 2 日間で開催されます。北海道の交通事情は格段に良くなっています。各クラブの新年度の活動方針を早く立てやすくするため、国際協議会が終了次第、早めの P E T S 開催を検討すべきだと思います。

私はガバナーノミニーの時に、北海道 2500 ローター E クラブを立ち上げました。公式訪問で、隣のクラブまで 70 km、船でメークアップに行くと聞いた時、E クラブができて良かったと思いました。このクラブは毎月 1 回オリエンテーションを実施しています。会費が安いことから、青年会議所、ローターアクト、業界の青年部などからの入会と、将来のロータリークラブ結成につなげるため、主要な街に E クラブの地区会を作ることをお願いしております。

(電気工事)

楽しいガバナーライフの 経過報告

第 2510 地区

嵯峨 義輝 ガバナー
(岩見沢 R C)



7 月 7 日に始まった公式訪問も、ホームクラブである岩見沢ロータリークラブを 11 月 26 日に訪問し、全 70 クラブの訪問を終えました。この間、宿泊すること 11 泊、グループ担当ガバナー補佐、2 人の随行幹事とともに、広い北海道西部を楽しく駆け回りました。

温かい歓迎を受けた各クラブは、まさに多種多様。約 130 人の大クラブから 4 人の小クラブ、複数回目の職を務める会長から入会 2 年目での会長とさまざまでしたが、クラブの大小にかかわらず、またロータリー歴の長短にかかわらず、奉仕に、そしてクラブの課題に真摯に取り組んでいる姿勢に感銘を受けました。一方、「右へならえ」「例年通り」のクラブには、「金太郎飴になることはない。戦略計画を立て、何にフォーカスするかをクラブの意思で決めてほしい」と訴えてきました。

地区の第 1 目標は、会員増強と維持率の向上です。今年度を会員漸減から増強へのターニングポイントにします。1992 年 11 月末に 4,319 人いた当地区の会員数は、2015 年 7 月 1 日で 2,526 人でした。各クラブに 5 % の増強をお願いしました。「仲間を増やそう」を合言葉に 126 人の増強を目標にしています。

各クラブとも本気になって、積極的に会員増強に取り組んでいますが、札幌市を除き、ほとんどの地域が人口、そして企業の減少に苦しんでいます。それでも「無理だよ～」と言いながら知恵を絞り、必死に増強に努めてくれて、10 月末で 100 人ほど増加、2,600 人台を回復しました。

ロータリーへの思い、不易と流行、国際ロータリーや地区への疑問、クラブの現状や課題などを率直に意見交換できたことは、実に有意義でした。これからの I M (インターシティミーティング) でまた会い、話し合えるのが楽しみです。

(測量士)

クラブ物語を大切に

第 2520 地区

菅原 裕典 ガバナー
(仙台泉 R C)



おかげさまで 79 クラブの公式訪問が終了しました。それぞれの「クラブ物語」を実感できた、大変有意義な時間でした。当地区には東日本大震災で被災したクラブが数多くあり、各クラブの現状確認を行うことも重要な視点に含めました。被害が甚大であった沿岸地域にあるクラブは、震災前と同様の運営ができていません。とはいえ、どのクラブも元気な会員が多く、クラブの再生に前向きで、会員増強を行い、活気を取り戻し、地域に役立つ活動への熱意は変わることなく持っている、と感じました。震災時に世話になった国内外のロータリアンに恩返しをしたいという一心からではないでしょうか。さすがロータリアンだと心から敬服します。気骨あふれる人々が属し、そのようなことを学べるのがロータリーであるのは紛れもない事実です。

ロータリーには数多くの財産がありますが、私はその中でも人材によるものが最も大きいと思っています。誰もが少なくない会費を払い、多忙な中、貴重な時間を使って積極的に取り組んでいます。しかし、それらの意義を地域に十分に浸透できていないのも事実です。この状況を好転させるべく会員のパワーを結集し、組織的にロータリーのブランディングを行うことによって、会員増強へとつながれるのではないかと考えています。これには、ロータリーの事業をいかに地域に向けて効果的に PR できるかということが、大きなキーワードになります。また、新会員への教育は今まで以上に重要となります。私のガバナー年度の後半は研修に注力し、万全な教育体制をもって新会員を迎え入れたいと思います。

これまでに多くの地区大会を訪問し、各地区の素晴らしさを体感しました。これらを余すところなく参考にし、国際ロータリー会長のメッセージにもあるように「私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、地区としての「物語」を作り上げていく所存です。

(式場)

碧落

第 2530 地区

酒井 善盛 ガバナー
(南相馬 R C)



66 クラブの公式訪問を終えホッとする間もなく地区大会、やがて年度の半分が過ぎました。公式訪問では各クラブに会員増強をお願いしましたが、会長はじめ会員の理解のもと、現在約 80 人の純増。クラブはそれぞれの事情や特徴があり、決して金太郎^{あめ}ではないことを目の当たりにしました。多くの会員と語り合う機会を得、ガバナー^{みょうり}冥利に尽きる時間を過ごすことができました。

私のロータリー人生に大きな影響を与えた 3 人にあらためてお礼を申し上げます。今は誠に残念ながら故人となりましたが、一人は原町中央ロータリークラブの廣瀬實淨雄先生、もう一人は紺野嘉昭^{あめ}パストガバナー、そして盟友、伊藤浩パストガバナーです。廣瀬先生は、私がガバナーノミニーに指名されると、ご自分のことのように喜ばれ、お言葉をいただきました。そして紺野パストガバナーは、私が地区幹事^{あめ}在任中、無我夢中で何もわからない時、手を差し伸べてもらいました。伊藤浩さんとは 10 年以上も地区のセミナーやロータリー研究会などで同部屋になるとロータリー談議に時を忘れ、気が付けば朝になっていたことが幾度もありました。私がサンディエゴの国際協議会から帰国して間もなくの 2 月 8 日に永眠されました。前日ご子息を枕元に呼び「年を取ってからも、なんでも話し合える友ができたのはロータリーのおかげだ」が最後の言葉だったそうです。後日、ご子息から話を聞きました折、熱いものが込み上げてくることを止めることができませんでした。3 人とも、私に取りまして先輩であり、恩人であり友人です。きっと今ごろ遠い青空^{へきらく}「碧落」の向こうでロータリーを語り合っていることだと思います。

さて、現在の地区活動では、年度中インターアクトクラブが 3 クラブ創立し、500 人を超える規模になります。2,400 人（2015 年 10 月末現在）のロータリアンの皆さまのご支援をお願いいたします。

(観光)

わが地区の ネパール医療支援事業

第 2540 地区

宮下 正弘 ガバナー
(秋田 R C)



当地区ネパール医療支援事業は、秋田県と青森県が 1 地区だった時代に使用済み切手収集運動から始まり、50 年の歴史を刻もうとしています。私は 33 年関わってきました。当初、ネパールの結核医療支援から始まり、1974 年にアジア 100 円献金を開始して、その資金から食糧増産の支援へと進み、農業研修生の受け入れや、現地のモデル農場建設などを企画、実施してきました。道路事情の悪い当時は山間部を 8 時間歩いて目的地に到達し、レンガを一つひとつ積み上げて 3 階建ての農業研修所を造り、^{かんがい}灌漑用水路を引いたという血と汗のにじむ先輩たちの記録が残っています。

1983 年からは医療従事者を受け入れ、現在までに 33 人の医師、看護師などに対して、小児医療や各科看護管理、I C U (集中治療室) の運営などの指導を実施しています。

1994 年に地区が分割されてからは、当地区単独でこの看護師研修事業を実施。2015 年 4 月 25 日に起きたネパール大地震では、この研修を受けた看護師たちが目覚ましい活躍をしたとの報告が届きました。さらに 2002 年からは、失明回避プロジェクトの一環として、ネパール国立眼科病院などの医師と協同で、アイキャンプ (総合的眼科検診) と併せて白内障の手術を現地で実施し、2015 年 2 月で 14 次を数えています。このアイキャンプにより恩恵を受けた患者の累計は、診察や点眼薬の処方を受けた 1 次検査の受検者数が 3,227 人、2 次検査 (精密検査) を受けた患者数が 1,180 人、白内障手術実施患者数が 104 人と、地区を特徴付ける誇り得る業績となりました。

当初は現地ロータリークラブとの協同事業として行っていたのですが、現在は秋田で研修を受けた保健師がコーディネーターとなり実施しています。グローバル補助金を使ったプロジェクトとして発展させたいと考えています。
(介護保健施設)

地区活動について

第 2550 地区

中谷 研一 ガバナー
(足利東 R C)



当地区は、1992 年、第 2550 地区から 2 地区に分割され、第 2550 地区として誕生しました。2015 年 11 月末現在、51 クラブ 1,739 人の会員が所属しています。当地区の活動状況について報告します。

まずは、青少年奉仕部門の青少年交換委員会です。現在学生の派遣先は、欧州、アジア、北米が中心で、毎年 4 ～ 5 人をロータリー親善大使として各地区に派遣しています。インターアクトクラブ (I A C) は、今年度新たに 1 クラブが創立され、地区内 16 クラブ、540 人を擁します。さらに新たな I A C 創立が計画されており、活動性の高い地区になることが期待されます。R Y L A (ロータリー青少年指導者養成プログラム) でも、参加者が急増し、充実したセミナーが実施されています。現在危惧されるのがローターアクトクラブ (R A C)。2 クラブに減り、今後 R A C の活性化が大きな課題です。

次に国際奉仕活動です。当地区では、世界社会奉仕 (W C S) 活動としてピナトゥボ火山噴火被災者を対象に、1992 年 11 月、無料医療奉仕活動がスタート。現在は、私の所属する足利東ロータリークラブが単独で引き継ぎ、会員家族やインターアクターたちと一緒にフィリピンで活動しています。その他にも地区では、タイ、台湾で W C S 活動が行われています。

K . R . ラビンドラン国際ロータリー会長は、① 青少年の人材育成、② 人道的プログラムの増加、を強調しております。ロータリー活動を活性化するため、近隣地区ガバナーと情報交換会を計画中です。特に、上記①②については、R O T E X (青少年交換の学友グループ) を再評価し、発展性のある活動へ導く必要があり、またグローバル補助金の推進などが急務。これらを行うためには、近隣地区との連携強化が必要です。各地区との情報交換や地域のガバナー会開催などを通して、今後の活動を推進したいと思います。

(内科)

5%の会員増強を 目指して

第 2560 地区

山本 和則 ガバナー
(新潟南RC)



第 2560 地区（新潟県）では、会員増強の目標として 2003 - 04 年度に「2560 人達成」を目標にして取り組んだことがありました。2015 年 11 月末現在は 2,123 人です。会員の維持がどの地区においても大きな課題となっています。当地区も日本の他地区同様に会員減少が続いていましたが、2014 - 15 年度からようやく増加に転じました。今年度に入ってから約 40 人の増加となっています。長い間、減少傾向が続いた原因を考えた時に、さまざまな要因がありますが、一番の要因は経済の低迷ではないかと思っています。

私たちロータリーの基本は、金看板とも言われている職業奉仕です。その職業奉仕において、思ったほどの利潤が得られていないのです。借り入れしてまで奉仕や寄付行為をするということはないと考えます。そのために入会をためらったり、寄付行為の減少が続いていました。2014 - 15 年度の米山記念奨学会に対する寄付額が 14 億円まで回復したことは喜ばしいことです。ロータリーは、世間一般から見ると、高齢者と言われる人の比率が高い団体です。従って、健康上の理由による退会はやむを得ない面があります。それを補填する意味においても、壮・青と言われる年代の入会が望まれます。

地方経済は飛行機の後輪などと揶揄されることがあります。上昇（離陸）する時は一番後ですが、下降（着陸）する時は最初であると。しかし地方も元気になってきたと感じています。私の所属するクラブも久しぶりに 3 桁の会員数に手の届くところまでできました。ロータリーは地域社会においても、また世界的規模においても、価値あるさまざまな活動をしています。宗教や人種や国境を超えて、これほどの規模で奉仕活動をしている団体は他にないでしょう。今年度はまだ折り返し地点を過ぎたばかりです。ロータリーの魅力について大いに語り合い、それを引き出して会員の増強につなげましょう。

(ソフトウエアサービス業)

ロータリアンとの出会い

第 2570 地区

高柳 育行 ガバナー
(本庄RC)



ガバナーとして、7 月から 11 月にかけて地区内の各クラブを公式訪問しました。初めての出会いとなるロータリアンも多いなか、各クラブで歓迎してもらい、感激する場の連続でありました。ガバナー補佐の各クラブへの対応が十分できていて、例会とクラブ協議会を通じ、充実した訪問ができたと思っています。卓話では例会への出席と新会員を紹介することで「クラブへのプレゼントになろう」と伝えました。ロータリアンとの友情を深めること、新しい友人ができることは、ロータリーの魅力を増すものであり、クラブにとってはより活力あるものになります。

セミナーの他に、秩父音頭まつり、各地での商業祭、東松山での日本スリーデーマーチ（『友』誌 2016 年 1 月号横組み P18 ~ 19 に掲載）などに参加し、多くのロータリアンやロータリー家族との出会いがありました。秩父音頭まつりでは米山奨学生の盆踊りを見届けたり、日本スリーデーマーチでは青少年交換学生や米山奨学生と一緒に歩くなど、サポートする多くのロータリアンと爽やかなひとときを過ごしました。

第 2570 地区では、2 年前に台風被害のあったフィリピンのレイテ島に支援を行いました。その現況を 11 月に視察してまいりました。タクロバンのガバナーや多くのロータリアンに接し、感謝の言葉をもらうなかで、ロータリーの奉仕の素晴らしさを感じ、そして他国のロータリアンとの出会いを幸せに感じました。

ガバナーという立場で、多くのロータリアンとの出会いの機会をいただきましたが、皆さまにも出会いの場で友情を深める経験をしてもらいたいと思います。そのことがロータリーの魅力であり、その輪を広げることで、ロータリーあるいはクラブの発展につながると確信しております。

(口腔外科医)



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑫ モンゴルからやって来た弟



脇町 R C
(第 2670 地区 徳島県)

カウンセラー

北川 一郎 さん

重い腰を上げて引き受けた世話クラブ

ムンゲンホーヤグ・マジグスレン（通称・ホイガ）君が、クラブにやってきたのは 2014 年 4 月のこと。脇町ロータリークラブは徳島市内から離れており、それまで米山奨学生に接する機会もほとんどなく、私を含む多くの会員が米山記念奨学事業に関心を持っていませんでした。この年はクラブ創立 50 周年を迎えることもあり、やや重い腰を上げて世話クラブを引き受けることにしたのです。米山に否定的というより、なんとなく面倒そう、カウンセラーに負担が掛かる、というイメージでした。

頼み事の多いホイガ君

ホイガ君は人なつこい性格で、すぐに会員たちと打ち解け、まるでクラブの一員のように。一方、カウンセラーの私には「家賃の安い家を探すのを手伝ってほしい」とか、いろいろな相談事を持ちかけてきました。こちらも面食い、米山記念奨学会の『カウンセラーハンドブック』を参考にしつつ、あまり深入りしないようにしていました。でも、同じ立場だったら？ 自分の対応は間違っていないか？ と次第に葛藤を感じるようになりました。

ホイガ君の研究室を訪ねてみると、モンゴルのために日本の医療技術を持ち帰りたいという彼の必死な姿が見えてきました。頼み事は多いが偽りのない人間だと、確信を持つようになり、互いの子どもの年齢が近いこともあって、いつしか本当の弟のように感じ始めました。

留学生は、何もかもが日本とは違う国から来ています。こちらのやり方をぶつけても食い違うだけ。自分の常識

とは異なる考え方を理解し、受け入れる前提でやっていけないといけないのだと思うようになりました。この認識は今、普段の仕事でも役立っています。

秋になり、ホイガ君から「アメリカの学会に行きたいがお金がない」と……。そうはいつでも、こっちもお金がない。クラブの了解を得て、飛行機代を支援しましたが、そこまですることが本当にいいことだったのかどうか。でも、行かせてやりたかった。彼がモンゴル医学界のために頑張っていることを、皆が知っていたからです。

高まってきた米山記念奨学事業への思い

念願の博士号取得後、ホイガ君が一人で高速バスに乗って東北の被災地へ行き、ボランティア活動をしてきたことを後日知りました。「今まで勉強ばかりで何もできなかったから……」と。恩返しなど求めていないのに、彼の真心が気持ちを温かくしてくれます。

カウンセラーを経験し、米山への思いも変わってきました。日本のロータリーの父・米山梅吉さんのことを知るきっかけにもなり、仕事優先で不良会員だった私の出席率もアップしました。クラブも、ホイガ君を受け入れたことで楽しい雰囲気となり、米山への熱意が高まってきました。今後、ホイガ君がモンゴルに帰国したら、みんなでモンゴルへ会いに行こうと計画を立てています。ホイガ君はこれからもずっと、自慢の弟です。



創立五〇周年式典に出席したホイガ君一家

脇町ロータリークラブの「なんとなく面倒」から始まった米山奨学生の受け入れが、やがてクラブの雰囲気を変え、奨学事業への熱意を高めることになりました。「深入りしないように」していたカウンセラーの北川一郎さんも、自問自答を経て心の変化に気づき、そのことが自身の仕事やロータリー活動に生かされていきます。異国から訪れ一生懸命に学ぼうと努力する留学生たちとの出会いが、何をもたらすのか。その一つの例を、ご紹介します。



米山学友
ムングンホーヤグ・マジグスレン さん

出身：モンゴル
奨学期間：2014 - 15
学校名：徳島大学大学院

「二度とない」を胸に刻んで

私は、国立モンゴル医科大学（旧モンゴル健康科学大学）付属病院の放射線科医です。モンゴルは医学、特に放射線医学の分野が遅れており、私は、MRI画像診断分野で最先端の機器と技術を持つ日本への留学を夢見ていました。徳島大学で学ぶチャンスを得て、私は脳腫瘍の診断における独自のMRI撮像法を開発し、医学博士号を授与されました。最終口頭試問はすべて日本語で行い、留学生としては異例のチャレンジだと評価をいただきました。日本では常に、「二度とない」という言葉を胸に刻みながら、現在は同大学の特別研究員として、さらなる研究にまい進しています。

ロータリーと日本での学びを生かして

2014年に米山奨学生として採用が決まった後、どんな人がカウンセラーで、どんな話をすればいいか、

とても緊張したことを思い出します。初めて会った日から奨学期間が終わった今も、北川さんに助けられたことがあまりにも多く、とても書き切れません。北川さんだけでなく、脇町ロータリークラブ（RC）の皆さんが私の良き友人となってくださいました。私の子どもたちにも、たくさんの日本の友達ができました。将来、この子たちが一緒になって、世界平和に力を注いでほしいと願っています。

脇町RC創立50周年という大きな節目に奨学生となり、長い歴史の一部になったことが何より光栄です。ロータリークラブという大きな家族の一員となったことで、志を同じくする多くの人間が一心同体となれば、大きなこともやり遂げられると学びました。

帰国後は、日本で学んだことを多くの同僚に伝え、放射線医学の発展に力を尽くします。近い将来、モンゴルの画像診断技術や研究が世界水準に追いつき、世界中の患者の診断・治療に役立つような成果を出せるよう、一生懸命頑張ります。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



2年半ぶりの中国米山学友会総会に約140人が出席

中国米山学友会の総会が12月6日、2年半ぶりに上海市で開催されました。中国各地から集まった約120人の学友のほか、その家族や知人、日本からも小沢彦当会理事長をはじめ米山関係者が駆けつけ、総勢約140人が再会を喜び合いました。主催した上海米山学友会の劉京榕会長は「2002年に8人でスタートした上海の学友会が、今日多くの学友を迎え、強い絆で結ばれていることをうれしく思う。今後10年、20年、30年と、この縁が続くことを願っている」とあいさつ。そのほか、上海の学友で会社組織を立ち上げ、利益の一部を奉仕活動に使う計画や、小学校への支援活動などが報告され、参加者は熱心に耳を傾けました。



多くの学友らが再会を祝して乾杯



今月はクロスワード。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題 二重枠に入った文字をAからEの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 今年が2月3日
- 2 「上品な甘さ」という表現がよく使われる
- 3 オケと似ている
- 4 一人 放送
- 5 師匠から免状がもらえたりする
- 6 建物を数える単位
- 8 敵の両側から攻撃
- 11 一千万 一者
- 12 格闘技の選手に付きそう
- 13 数学のグラフなどを描く
- 14 フレンチー アート
- 15 中心部
- 16 論理的に物事を考え、判断する能力

タテのカギ

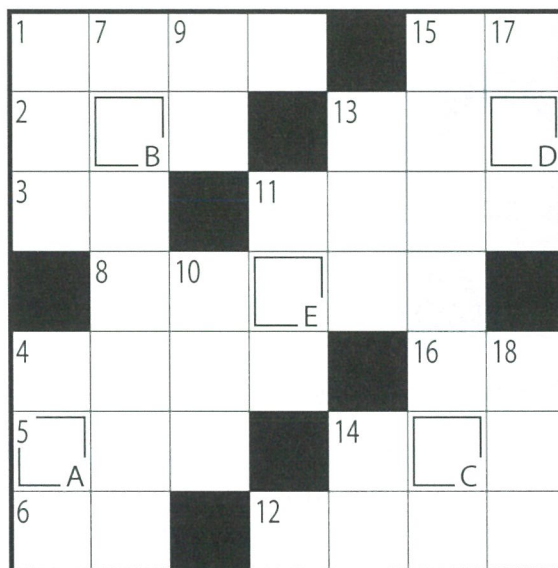
- 1 エビの調理時に取る黒いやつ
- 4 船が出入りするところ
- 7 太宰治の生家や、青函トンネルの本州側出口がある
- 9 食わねど高楊枝
- 10 体力や気力のピーク
- 11 一不体で努力する
- 13 ヨコ2にも使われる
- 14 2月22日はこの日

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナルペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



* 11月号の答えと解説を横組みP 38に掲載しています。



答

A B C D E

- 15 測量や地図の作成を行う役所
- 17 ヨコ2にも使われる
- 18 0℃前後での冷蔵

応募方法

郵便はがきに、①「2月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2016年3月10日（木）必着

正解と当選者発表 本誌5月号

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

国際大会カウントダウン
おみやげショッピング



5月28日～6月1日に開催されるソウル国際大会に参加する方は、現地でお土産を買いだめしてお考えのことでしょう。

まずは、南大門市場に行ってみましょう。ここはソウル市中心部にある、昔からある市場で、屋台の人がテーブルをばんばんたたいて客引きをします。韓国のポップスターPsyのお面、アメリカのオバマ大統領の柄が入った靴下から犬用セーターまで、さまざまな商品が並んでいます。

睡眠時間も惜しんでショッピングという人は、朝5時まで営業している東大門市場がお勧めです。東大門は複数の大型ショッピングモールと衣類を売る露店が立ち並び、値段交渉するのもってこの場所です。

ゆったりとお買い物を楽しみたい方は、新沙洞へどうぞ。この地域では、韓国内外のファッションブランドが店舗を構えています。歩き疲れたら、新沙洞のおしゃれなレストランで一息つくのもよいでしょう。

明洞では、今世界で話題の韓国化粧品を買いだめすることができます。カタツムリエキス、ミツバチ毒など聞き慣れない材料でも怖がらないでください。

韓国は先端技術でも知られています。電気製品をソウルの思い出にしたのなら、龍山電子商街にお立ち寄りく

ださい。ここには、コンピューター、周辺機器、ソフトウェア、カメラ、携帯電話、音響機器、電化製品の店が集まっています。

登録は、www.riconvention.org/jaから。

チュラロンコーン大学の平和センターが10周年

各地で平和の推進に取り組む専門家を養成するロータリー平和センター。世界に6か所ある平和センターの中

でも、チュラロンコーン大学（タイ）の平和センターは、すでに平和関連の実務経験のある人たちが専門課程の修了証を取得できるユニークな存在です。教授陣からだけでなくほかの学生からも学ぶことを重視しているこの平和センターは、今年度で10周年を迎え、これまでに69か国、355人のロータリー平和フェローを輩出しました。

同平和センターのプログラムの特徴について、副ディレクターであるジェン・ワイドマン氏は次のように説明し

管理委員長の思い

ロータリーの誕生日と財団について語ろう

2015-16年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリングスミス



何十年も前、私がロータリーに入会したころ、「炉辺会合」はロータリアンに人気の高い、シンプルで効果的なコミュニケーション手段でした。一人の会員宅に少数のロータリアン仲間が集まり、それぞれの人生におけるロータリーの価値について語り合いました。そこでは親睦を深めると同時に、ロータリー財団を含むロータリーのプログラムに関する知識も深めることができました。一部の国、特にオーストラリアでは「プールサイド談話」とも呼ばれていたようですが、いずれもコンセプトは同じです。

2月23日にロータリーは111周年を迎えます。この機会を生かして、皆さんがロータリーの仲間とともに、ロータリー、特に2016-17年度、ロータリー財団の100周年をどのように迎えるかについて語り合う夕べを催されることを望んでいます。

今年のロータリー創立記念日は、火曜日です。火曜の夜に予定が入っている人は少ないでしょうから、祝

う方法をいろいろと考えてみましょう。

現代では、ロータリアンの自宅、レストラン、居酒屋などで炉辺会合を行うだけでなく、ソーシャルメディアを使ってオンラインで語り合うこともできます。ロータリーの創立記念日、そしてロータリー財団100周年を機に、ロータリーでの親睦や奉仕に仲間を誘い、ロータリーについて語り合うことを世界中のロータリアンに奨励したいと思います。ロータリーが、ポール・ハリスという一個人のアイデアから始まったように、ロータリー談話も個々のロータリアンやクラブのさまざまな方法で発展していくことでしょう。

今年度、クラブでこのアイデアを進めてくれるのはどなたでしょうか？ われこそは、という人は、談話の様子をぜひメールで私にお知らせください（送信先：raykling@sbglobal.net）。名称や方法は何であれ、ロータリーの創立と財団100周年を語るこの機会は、きっとクラブのためになるはずです。

ます。「重点は2つあり、一つが仲裁の段階、理論分析などといった学術的スキルを学ぶこと。もう一つが、専門家として変革を遂げることです。さまざまな実務経験を持つ人たちが3か月間共に学び、質問や討論を通じて、自分がこれまで信じてきたことを一つひとつ徹底的に見直し、考えてもらいます。中には修了までに、まったく見方が変わる人もいます」

常に変化していくカリキュラムを指導する教授陣は、タイ内外から集まっています。フェローは、タイ国内で1

回、さらに国外にある紛争後の地域で1回の実地研修を通じて、それまで学んだことを応用します。

今後のR I 国際大会

2016年5月28日～6月1日

韓国・ソウル

2017年6月10～14日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,228,076人

クラブ数 35,221 クラブ

地区数 535 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 194,028 人

クラブ数 8,436 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 429,203 人

クラブ数 18,661 クラブ

国と地域 150 以上

2015年10月31日現在

* 2015 - 16年度

** 2015年9月30日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(11月号)の答えと解説

11月号の答えは

「マダムガリ」

当選者(敬称略・順不同)

応募総数 145人 正解者 144人
笹谷豊明(室蘭北RC)、手塚一雄(小山東RC)、市川恵美子(小田原北RC)、西橋龍博(宮崎中央RC)、織部資子(白山石川RC)、横山俊夫(川崎大師RC)、谷田義弘(鈴鹿ベイRC)、清水慶造(福井RC)、瀧野瑛木(笠岡東RC)、村野元孝(金沢香林坊RC)

チ	ト	セ	ア	メ	黒	白
ラ	リ	一	黒	カ	カ	ク
シ	黒	タ	ケ	黒	シ	ガ
黒	ホ	一	ム	ラ	ン	黒
タ	イ	黒	リ	ク	黒	イ
コ	ク	ゴ	黒	ガ	マ	ン
ウ	マ	ネ	キ	ネ	コ	黒

ところで「マダムガリ」って?

空欄がすべて埋まったのに、応募をためらった人もいらしたのでは!?

今から111年前の1905年2月23日、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローアの四人が集まって会合を開いたのが、ロータリーの始まりです。

その会合の前に、ポール・ハリスとシルベスター・シールが食事をし

たのが、Madam Galli's Restaurant、マダム・ガリのレストラン。今回のパズルの答えです。ポール・ハリス(弁護士)が、実業人のための新しいクラブの構想を最初に話したのが当時、最も親しい知人だったシルベスター・シール(石炭商人)でした。この店で二人はスパゲティを食べながら新しいクラブについての話をしました。その後、ガスターバス・ローア(鉱業エンジニア)の事務所のあるユニティ・ビル711号室に向かいます。新しいクラブの構想に賛同していたローアが、自分の事務所で発足会を主催することを申し出ていたからです。

ローアは、友人のハイラム・ショーレー(仕立屋)を誘い、ポール・ハリスたちを待っていました。最初の会合は自己紹介から始まり、各自の職業とシカゴに來たいきさつなどを話しました。皆、小さな町の出身で、都市生活

の孤独に辟易し、田舎の連帯感あふれる生活に郷愁を覚えていることを認め合いました。そして、このクラブに入会できる会員は、一業種一人に限り、相互扶助を前提とすることが決まったのです。

ちなみに「ロータリークラブ」に決まったのは、3月23日に行われた3回目の会合でした。

残念ながらマダム・ガリのレストランはすでに取り壊されていて、ポール・ハリスたちが食べた場所でスパゲティを味わうことはできませんが、エバンストンにある、国際ロータリー世界本部のビルには、最初の例会場所である、ユニティ・ビル711号室が再現されており、見学することができます。



ユニティ・ビル跡にある記念プレート

『友』11月号

印象に残った記事ベスト3

1位 (25人)

なぜ貧しい国はなくなるのか

2位 (19人)

ポリオ撲滅へのロータリーの軌跡

3位 (16人)

・わがまち……そしてロータリー三重県志摩市

・何度も恐縮ですが、ロータリーの公式ロゴ

おまけ

ROTARY 掲 示 板

事務所住所変更

富津中央 (2790・千葉県)

〒 293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川内

横浜泉 (2590・神奈川県)

〒 245-0023 横浜市区泉中央南
5-6-32-105 (住居表示変更)

東京原宿 (東京都・2750)

〒 150-0001 渋谷区神宮前 1-9-11

シムコ内

例会場・曜日・時間変更

上士幌 (2500・北海道)

上士幌町商工会館

富津中央 (2790・千葉県) いち川

土浦南 (2820・茨城県)

ホテル マロウド筑波

裾野 (2620・静岡県)

米山梅吉記念館ホール

不破・不破の関 (2630・岐阜県)

大垣西濃信用金庫垂井支店

(建物名称変更)

大東中央 (2660・大阪府)

大東市立市民会館 403 号室 18:30

日向 (2730・宮崎県) 金→月

インターアクトクラブ名称変更

益田南高等学校→益田清風高等学校
(2630・岐阜県)

2015 年 11 月 18 日承認

◆訂正 本誌 12 月号縦組み P63 俳壇・3 句目のルビを取り「子のはやと道草を覚えけり」→「子のはや道草を覚えけり」へ、同 1 月号縦組み P56 柳壇・後ろから 6 句目のクラブ名を大阪ちゃやまち→大阪東淀ちゃやまちへ、同 P57 の 4 句目の県名・福島→宮城へ、おわびと共に訂正します。

広報誌 ROTARY (一般向け／会員勧誘用) 好評発売中!



今年度も公共イメージ向上のため、一般向け、会員勧誘用の広報誌を最新版に改訂して、制作しました。

一般向け「世界と日本」は、ロータリーの国際的な活動の紹介と日本のロータリークラブの活動を写真中心に紹介。1 セット (10 冊) 定価 500 円 + 消費税 (送料別) です。

会員勧誘用「あなたも新しい風に」は、ロータリアンになったら実際にどのような活動をするのか? という視点で、例会・出席や職業奉仕について紹介。1 セット (5 冊) 定価 400 円 + 消費税 (送料別) です。

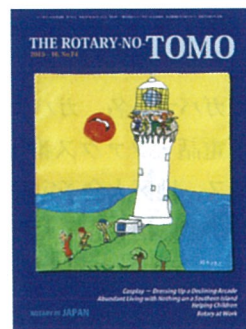
見本誌とご案内状 (申し込み用紙付き) は『友』9 月号と一緒に、クラブへお送りいたしました。

ご注文は、友事務所まで。

敬弔 第 2700 地区・横倉弘吉氏が
11 月 29 日逝去されました。97 歳。
謹んで哀悼の意を表します。

(大牟田 R C 会員・1988-89 年度 G)

『ロータリーの友』 英語版 No. 74 刊行!



英語版は、日本のロータリアンの活動を海外の人たちへ知ってもらうため、『友』誌から記事を転載し、年 1 回発行しています。海外でのクラブ訪問時やメークアップの際に、国際大会でのプレゼントにいかがでしょうか。

交換学生や、その受け入れ先のご家族に差し上げるなど、あらゆるシーンでご活用できます。

ご注文は『友』事務所まで、お待ちしております。

定価 500 円 + 消費税 (送料込)

～『ロータリーの友』へご投稿される時に～

◆ご注意ください

メール投稿の場合、送信件名欄にはクラブ名を記し、メール本文に投稿原稿について、昼間ご相談できる方のお名前・お電話番号などの連絡先を記載した上で、原稿/写真データ (原則 JPEG・容量 1 枚 200 キロバイト以上) を個別に添付し、お送りください。郵送の場合も、必ず差出人住所・氏名・クラブ名・電話番号を記してください。

◆お願いがあります

ご活動後、1 か月以内のご投稿をお願いしております。取捨選択・掲載欄は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部、ご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後 6 か月をめどにご判断ください。

2016 - 17 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中

「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせて、製作しております。次年度用のものは、2016年6月～2017年12月の予定が記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・ファクス番号・Eメールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項も掲載しております。

付録のロータリー関連資料をはじめ、今年度から大きく変更となった特別月間名など、最新版に改訂しております。引き続き、印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用。ロータリアンの皆さまのご意見を受け、使いやすいように開き具合も微調整を施しております。手帳の色はロータリーカラーのロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は2月1日付で、ロータリークラブにお送りしたご案内状を、ご覧ください。

定価 600 円 + 消費税 (送料別)

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し、『友』事務所までお願い申し上げます。在庫がある限りの受け付けとなります。ご不明の点など、お問い合わせはロータリーの友事務所までお願いいたします。

ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれでも結構です。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2015 年 11 月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,297	2,290	80.50
第 2510 地区	70	2,620	2,598	83.36
第 2520 地区	79	2,323	2,312	77.44
第 2530 地区	66	2,407	2,363	74.49
第 2540 地区	42	1,119	1,111	76.22
第 2550 地区	51	1,756	1,723	84.84
第 2560 地区	56	2,123	2,090	82.60
第 2570 地区	51	1,662	1,700	82.41
第 2770 地区	73	2,619	2,641	83.60
第 2790 地区	84	2,808	2,803	81.94
第 2800 地区	50	1,663	1,629	84.88
第 2820 地区	57	2,004	2,004	82.48
第 2830 地区	40	1,155	1,139	79.26
第 2840 地区	46	2,089	2,013	80.13
第 2580 地区	70	3,056	3,037	83.27
第 2590 地区	59	2,143	2,192	87.58
第 2600 地区	55	2,018	2,004	86.41
第 2610 地区	65	2,659	2,646	84.06
第 2620 地区	78	3,007	3,025	88.80
第 2630 地区	78	3,145	3,145	85.75
第 2750 地区	100	4,856	4,743	78.52
第 2760 地区	83	4,864	4,866	93.36
第 2780 地区	65	2,376	2,345	80.24
第 2640 地区	70	1,927	1,997	84.93
第 2650 地区	97	4,700	4,665	89.48
第 2660 地区	81	3,658	3,697	86.90
第 2670 地区	74	3,018	3,004	84.15
第 2680 地区	73	2,882	2,898	90.85
第 2690 地区	67	3,137	3,116	85.69
第 2700 地区	61	3,204	3,216	88.27
第 2710 地区	74	3,363	3,332	91.31
第 2720 地区	74	2,405	2,439	81.76
第 2730 地区	65	2,379	2,356	82.91
第 2740 地区	57	2,239	2,236	85.10
34 地区合計	2,278	89,681	89,379	

日本のロータリー
会員概数 89,388 人
クラブ数 2,269
(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 左の表で
すが、第 2750 地区のクラブ
数・会員数は、P B グループ
9 R C 293 人 (北マリアナ
諸島・グアム・ミクロネシア・
パラオ)を含みます。P6「日
本のロータリー」数は、34 地
区合計から P B グループを引
いた数。前年同月末 P B グ
ループ 9 R C 会員数 323 人。

修正 本誌 2016 年 1 月号
横組み P 37 (10 月末) 表中
地区会員数: 2770・2,610 人、
2740・2,238 人、34 地区合
計会員数を 89,467 人、表外
と P6「日本のロータリー」
最終行会員数を 89,173 人へ
修正。

平均出席率: 本誌 2015 年
10 月号横組み P 50 (7 月
末) 表中、2550・85.85%、
2840・82.58%、同 11 月号
横組み P 41 (8 月末) 表中、
2550・85.28%、2840・82.
44%、同 12 月号横組み P
45 (9 月末) 表中、2550・
83.68%、2840・82.55%、
同 2016 年 1 月号横組み P
37 (10 月末) 表中、2550・
84.56%、2770・81.80%、
2840・80.08%。

*『ロータリージャパン』の
「ロータリー関連資料」には、
データ修正後の表を掲載。
*第 2520 地区の数値は震災
につき概数。第 2640 地区の
数値集計遅れのため 34 地区
合計数も概数。

ロータリーの友

3 月号主要記事予定

横組み きれいな水のために
海外のロータリークラブでの経験

東日本大震災から 5 年

ローターアクターに聞きました

縦組み 人は自然災害とどう向き合うか

愛知教育大学名誉教授 仲井 豊

わがまち……そしてロータリー 川越市



ご投稿をお待ちしています

原稿や写真は活動後1か月以内にお送りください

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1か月に1人はがき1枚に3句(首)。なるべく肉筆(楷書)で。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を明記。

友愛の広場

- ・エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などの掲載欄。1,000字以内。関連写真があれば添付を。

バナー自慢(「友愛の広場」欄の中です)

- ・各クラブのバナーの紹介欄。クラブのバナーの現物を、折り目が見つからないようにご郵送ください。原稿はバナーの由来、図柄についてなどを50～100字以内で。

ロータリー・アット・ワーク写真編

- ・ロータリークラブ、インターアクト、ローターアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真に150字程度の説明文を添えてください。記念写真(集合写真)は、掲載できません。説明文には必ず、活動日を記入。

ロータリー・アット・ワーク文章編

- ・ロータリークラブや地区の活動を紹介。原稿は600字以内。関連写真があれば、添付を。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

内外よろず案内

- ・国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内、情報提供のお願いなどについての欄。原稿は200字以内。

掲示板

- ・新クラブ、新インターアクトクラブ、新ローターアクトクラブ開設、事務所、例会関係変更など、また『友』からのお知らせを掲載する欄です。各種変更は決まり次第、早めにご連絡ください。

◆注意事項

メール投稿の場合、送信件名にはクラブ名を記し、メール本文に原稿についての連絡先を記載した上で、原稿/写真データ(原則JPEG・容量1枚200キロバイト以上)を必ず個別に添付し、お送りください。

◆お願い

取捨選択・掲載欄は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にて、ご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後6か月をめどにご判断ください。

京に生まれ育って187年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで在庫豊富に取り揃えております。



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075)371-3131(代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03)3755-8488(代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1(築地本願寺内) ☎(03)3546-8228(代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011)512-3455(代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022)213-0666(代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077)564-1011(代)・水曜定休
福岡営業所/ ☎(092)761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

女子学生会館

国分寺女子ハイツ

武蔵野の緑あふれる歴史の街



JR中央線・特別快速で新宿へ20分ほど
なごやかな専用食堂も大好評

●全館個室〈本館〉138室・〈2〉85室計223室: エアコン・ユニットバス・キッチンユニット(冷凍冷蔵庫)・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・本棚・食器棚 ※インターネット無料Wi-Fi
●細やかな配慮:夜間にも男女職員が常駐・セコムセキュリティシステムロビー・食堂・家族宿泊室・談話室・洗濯機・乾燥機・アイロン・自動販売機・コピー機・布団乾燥機・ミシン・自転車 ●ピアノ室その他

■費用/・保証金15万円・室料(月額)4万8千円より
・管理費(月額)2万2千円・入館費10万円

■交通/JR中央線・私鉄西武国分寺線・多摩湖線

「国分寺」駅北口徒歩3分

●新宿駅20分 ●四谷駅25分 ●渋谷駅27分 ●立川駅6分 ●八王子駅18分

〒185-0012 東京都国分寺市本町4-12-19

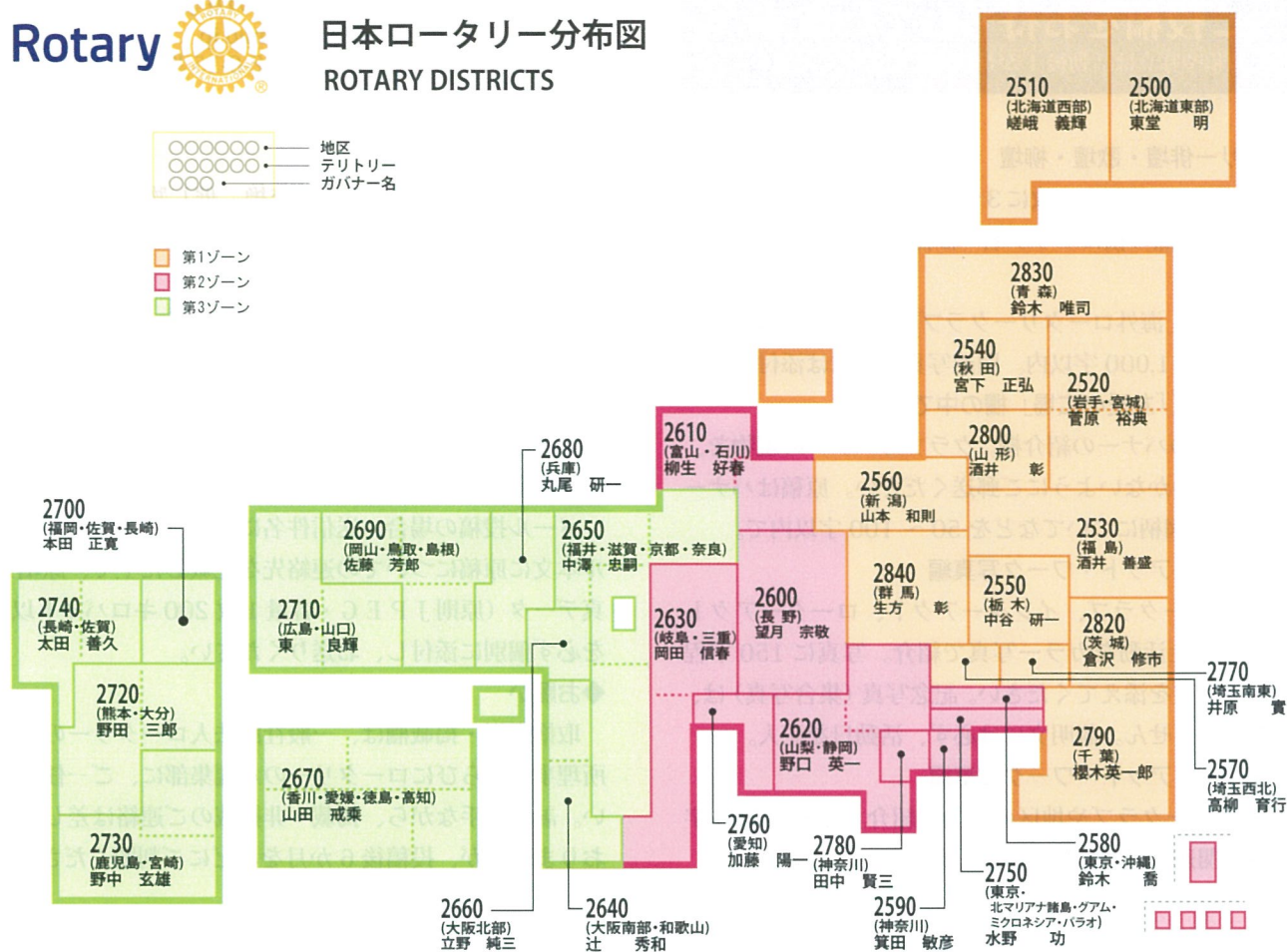
☎042(325)4182

ホムペ・ジ <http://www.k-jh.co.jp>

資料請求
ロータリー



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第64巻 2月号

2016年1月31日印刷 2016年2月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社 員
杉谷 卓紀 (玉名)
斎藤 直美 (豊田)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
箕田 敏彦 (横浜)
立野 純三 (大阪)

■ 理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理 事 清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊貴 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監 事
相談役

■ 職 員

所 長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
副編集長 野崎 恭子
編 集 稲川やよい
黒野 積二
山名 愛
飯田亜由香
経 理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印 刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

※ 本誌・本報は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ROTARY'S 107th ANNUAL CONVENTION

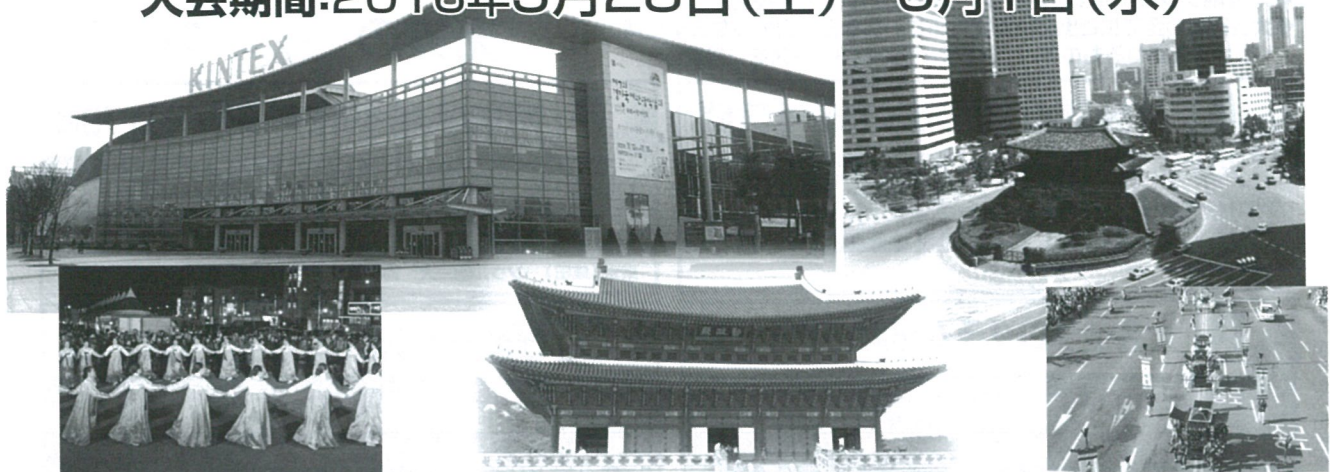
2016年度

開催地:韓国・ソウル

国際ロータリー年次大会

大会期間:2016年5月28日(土)~6月1日(水)

南大門



コース名	旅行代金 一人部屋追加代金	旅行期間	訪問都市	旅行条件
A 国際ロータリー 年次大会参加と ソウル3日間	関西空港発着 (お一人様/2名1室/エコノミークラス利用) 148,000円 48,000円 ※燃油サーチャージ(目安: 3,580円/10月30日現在) 関西空港施設使用料3,040円 海外空港諸税(目安3,000円)	5月28日(土) ~ 5月30日(月)	日本→ソウル②→日本	●添乗員:同行し、お世話します ●食事:朝食2回・昼食0回・夕食1回(機内食は含みません) ●利用予定航空会社:アジアナ航空または大韓航空(エコノミークラス) ●利用予定ホテル:ソウル/ロッテシティホテルソウル明洞
B 国際ロータリー 年次大会参加と ソウル4日間	関西空港発着 (お一人様/2名1室/エコノミークラス利用) 168,000円 72,000円 ※燃油サーチャージ(目安: 3,580円/10月30日現在) 関西空港施設使用料3,040円 海外空港諸税(目安3,000円)	5月27日(金) ~ 5月30日(月)	日本→ソウル③→日本	●添乗員:同行し、お世話します ●食事:朝食3回・昼食1回・夕食1回(機内食は含みません) ●利用予定航空会社:アジアナ航空または大韓航空(エコノミークラス) ●利用予定ホテル:ソウル/ロッテシティホテルソウル明洞
C 国際ロータリー 年次大会参加 ソウル と釜山、百済(公州と 扶余)、水原5日間	関西空港発着 (お一人様/2名1室/エコノミークラス利用) 198,000円 74,000円 ※燃油サーチャージ(目安: 3,580円/10月30日現在) 関西空港施設使用料3,040円 海外空港諸税(目安3,000円)	5月26日(木) ~ 5月30日(月)	日本→釜山①→百済① →ソウル②→日本	●添乗員:同行し、お世話します ●食事:朝食4回・昼食2回・夕食3回(機内食は含みません) ●利用予定航空会社:アジアナ航空または大韓航空(エコノミークラス) ●利用予定ホテル:釜山/ロッテホテル釜山、百済/崔城観光ホテル、ソウル/ロッテシティホテルソウル明洞

●最少催行人員:A・B・C各コース10名様。 ※上記は大会登録費用は含まれておりません。

※○数字は各都市の宿泊数です。※クラブ単位等で親睦旅行を兼ねた特別コースの企画見積りも承っております。何なりとお申しつけください。

■詳しい旅行条件を説明したパンフレットをお渡しいたしますので事前にご確認の上、お申込ください。

●お問い合わせ・お申し込みは

旅行企画
・実施



日通旅行[日通旅行(株)]
大阪支店

☎0120-0303-48

ロータリーツアーデスク

担当:山岸・広田 手続担当:桐原
総合旅行業務取扱管理者:稲田 篤

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-6 日通北浜ビル2階
Eメール:ma-yamagishi@nittsu.co.jp

大阪支店営業第一課

FAX (06)6201-1991

観光庁長官登録旅行業第1937号

営業時間:月曜~金曜 9:00~18:00 土・日・祝 休み



(一社)日本旅行業協会正会員
承認番号:営本広第160号(2014年11月25日)



旅行業公正取引
協議会 会員

2016年 国際ロータリー年次大会
ROTARY INTERNATIONAL ANNUAL CONVENTION 2016

ソウル大会参加旅行のご案内
2016 Seoul

●大会開催地:韓国/ソウル ●大会期間:2016年5月28日(土)~6月1日(水)
●大会会場:KINTEX (キンテックス) エキシビジョンセンター



- ◆大会地ソウルでは、市内デラックスホテル宿泊を確約!
◆大会行事の全てにご出席いただけるコースから韓国のみならず台湾、ベトナムを訪ねるもの等、バラエティ豊かな9コースをご用意。

充実の**全9**コース

A 大会開会式出席の旅 4日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶5/31(火)** ●旅行代金 **242,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,580円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安3,390円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→東京(成田)

B 大会全プログラム出席の旅6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/2(木)** ●旅行代金 **299,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,330円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安3,390円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル⑤→東京(成田)

C 大会参加と自然遺産の島 済州島の旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **343,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,600円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安3,800円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→済州②→ソウル③→東京(成田)

D 大会参加と釜山・慶州周遊の旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **294,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,600円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安3,390円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→釜山①→慶州①→ソウル③→東京(成田)

E 大会参加と山岳と風雅の地、江原道を訪ねる旅 6日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/26(木)▶5/31(火)** ●旅行代金 **323,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,220円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,570円)、海外空港諸税(目安2,870円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(羽田)→平昌①→江陵①→ソウル③→東京(羽田)

F 大会参加と世界遺産巡り[安東~慶州~釜山] 7日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/3(金)** ●旅行代金 **370,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,580円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安3,390円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→大邱①→慶州①→釜山①→東京(羽田)

G 大会参加と全羅道・慶尚道の歴史と郷土料理探訪の旅 7日間

最少催行人数:10名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/28(土)▶6/3(金)** ●旅行代金 **348,000円**
●燃油サーチャージ(目安1,220円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安2,880円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ソウル③→光州①→晋州①→釜山①→東京(成田)

H 大会参加と台湾・台北満喫の旅 7日間

最少催行人数:15名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/25(水)▶5/31(火)** ●旅行代金 **407,000円**
●燃油サーチャージ(目安3,600円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,570円)、海外空港諸税(目安2,870円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(羽田)→台北③→ソウル③→東京(羽田)

I 大会参加とエキゾチック・ベトナム[ダナン・ホーチミン]の旅8日間

最少催行人数:15名様【添乗員同行】 (お1人様/エコノミークラス成田発着・2名1室利用)
●旅行期間 **5/23(月)▶5/30(月)** ●旅行代金 **433,000円**
●燃油サーチャージ(目安6,440円・2015年10月現在)、成田空港旅客施設使用料(2,090円)、海外空港諸税(目安7,000円・2015年10月現在)が別途必要になります。
東京(成田)→ダナン③→ホーチミン②→ソウル②→東京(成田)

旅行代金は、お二人部屋にお二人でご宿泊基準のお一人様旅行代金です。○内の数字は宿泊数を表します。詳しい募集案内をご請求ください。ご請求は右下のフリーダイヤル電話でお気軽に!



◎ クラブ単位等で親睦を兼ねた特別コースの企画見積りも承っております、何なりとお申しつけください ◎

■お申し込み・お問い合わせ、募集案内のご請求は……

ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会 会員
(社)日本旅行業協会正会員
観光庁長官登録旅行業第270号
東日観光株式会社
＜日本で唯一のRITS指定旅行代理店＞
総合旅行業務取扱管理者:大谷 俊之
〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5築地KYビル4階
電話: 03-5148-1730 FAX: 03-5148-1827

ロータリー室 曾我、大山、井上、上藤、松浦
Eメール: rot@tonichi.co.jp

0120-444-654

●上記の旅行の旅行条件については別途お渡しする旅行条件書、最終日程表及び国土交通大臣認可の旅行約款によります。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく左記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

国際ロータリー年次大会参加旅行は最も経験豊かな当社にご用命下さい。

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



「清水公園の白梅」(千葉県)
撮影 牧野 弘明 (2550 氏家)

ここは千葉県野田市の清水公園——。
咲き競う白梅が春の訪れをささやいている。
清水公園は「日本さくら名所一〇〇選」にも選ばれ、つづじも関東有数の名園として知られており、ほかにも牡丹や藤など約五百種の花々の花園でもある。

撮影した牧野弘明氏は、こう言う。

「カメラがデジタル化して扱いやすくなり、身近になったので始めた撮影で、いまでは毎年二万〜三万枚の花や風景を撮影して、四季の移

ろいの奥深さを感じている昨今です。紅梅をバツクに華やかな写真に仕上げることができ、春が近づいてきていることを実感しました」と。

撮影は、二〇一五年二月二十八日。

咲き競う白梅愛でし母を恋う

岡井 輝生

※

ここは、長野県木曽郡南木曽町にある中山道妻籠宿の南木曽町博物館。

この脇本陣奥谷は国の重要文化財指定となっており、江戸時代の本陣がそのまま再現されている。

「係の人に火の調節からモデルの手配までご協力を頂きました。この日は、国内外の観光客も少なく、囲炉裏からの煙や格子から差し込む



「冬のくらし」(長野県)
撮影 鈴木 豊 (2760 岡崎城南)

光線などしみじみとノスタルジィを味わいつつ撮影できました」

と、撮影した鈴木豊氏は言う。

撮影は、二〇一五年二月一日。

(ジャーナリスト)

表紙こぼれ話

『ロータリーの友』誌は、横組みと縦組みに分かれていることが特徴となっていますが、創刊時は横組みだけだったことをご存じでしょうか。

『友』誌の創刊に当たり、一九五二年、準備会が開かれました。その会合の議論の中で、横書きにするか縦書きにするかで意見が分かれた。各クラブの意向を知るため、全会員によ

る一般投票を行ったところ、二対一の割合で横書きが採用されることになりました。こうして『友』誌は、一九五三年一月に創刊、横組みでスタートしました。その後、俳壇・歌壇など、

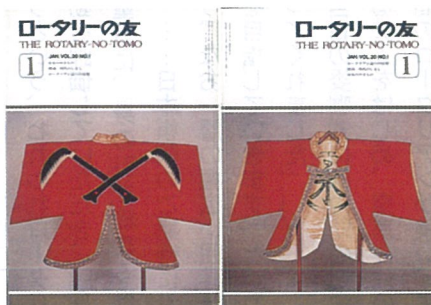
一部の記事を縦組みで掲載するようになりま

す。一九七二年一月号からは、従来の形式を一

変し、横組みと縦組みに分けた現在の形式に変

更し、今に至ります。それに伴って、当然、横

組み、縦組み、両面に表紙がつけられることになりました。



1972年1月号

ROTARY AT WORK

ポップコーンの袋には、当クラブが今年度、社会奉仕として大阪市平野区で実施した、災害時に使えるソーラーLED電光掲示板の寄贈や、各小学校への平野区いろはかるたの寄贈、および、かるた大会の協賛などを行ったことを紹介した広報チラシを貼りつけ、ロータリーの認知度向上を図りました。

クラブでは既に二〇年以上、平野区民まつりに連続して参加しています。この間、紆余曲折もありました。



会員たち手作りのポップコーンを販売

インの製造・販売を行いました。

朝一〇時半から午後三時過ぎまで、子どもたちやお母さんたちが途切れることなく並びました。一袋五〇円で約三〇〇個を販売、売上金はすべて奉仕活動の資金とするため、ニコニコ箱へ入れることにしました。

ポップコーンの袋には、当クラブ

が、当初は社会奉仕委員会、最近では広報委員会が中心となって、毎回いろいろな企画で、区民との貴重な触れ合いの場を楽しんでいます。

(三野久光・記)

ロータリアン初の 囲碁大使が誕生！

ロータリー囲碁同好会

二月一日、東京・市ヶ谷の日本棋院本院で囲碁大使委嘱式が挙行され、東京ロータリークラブ（RC）所属の太田清文氏が、ロータリアンで日本初の囲碁大使に任命されました。小坂憲次参議院議員、谷岡一郎大阪商業大学学長、作家の新井素子氏、医師の齋藤真嗣氏、女優の戸島花氏に続く、六人目の囲碁大使となります。



囲碁大使となった太田清文氏（写真右）

内外よろず案内

ソウル国際囲碁大会にご参加を

GPRF 国際本部長 石井 良昌

ロータリー囲碁同好会（GPRF）主催「第一七回ロータリー国際囲碁大会」を、ソウル国際大会期間中の五月三〇日、同大会と同じくKINTEXセンターで開催します。毎年、韓国と台湾との持ち回りで開催している大会で、今回はアメリカからの初参加があります。三クラス、計時制、こみ六目半で、午前に予選、午後に決勝を行います。表彰式の後には夕食会を予定。参加はメーカーアップになり

ます。ご家族の参加も歓迎です。締め切りは三月三〇日。大会参加料は一万五〇〇〇円（夕食会、昼食、賞品などを含む）。希望者は、地区・クラブ・氏名・段級位・連絡先のファクス番号を明記し、所属クラブを通じて、同会日本支部（FAX〇三―三四五二―一六五二）までお申し込みください。お問い合わせもファクスで。個人・団体旅行（定員あり）の手配、宿泊などについてもご相談ください。

太田氏はロータリー囲碁同好会が二〇〇〇年二月に国際ロータリー（R）公認の親睦グループとして認定され、同年五月、神戸で認証状伝達式と第一回世界囲碁大会が開催された当初から、日本支部事務局長を一五年間務めています。毎年秋の日本棋院での全国囲碁大会、また、国際囲碁大会の開催に、率先して尽力してきました。

囲碁大使は囲碁ファンの拡大を進めていくために、日本だけでなく世界に囲碁を普及することが期待されています。太田氏はその任にふさわしい人です。太田氏は「碁盤を通して

て国際交流を図り、親睦の輪を広げようという、われわれロータリーの活動を評価していただき、囲碁大使の重責に、身の引き締まる思いです。……日本棋院のご期待に沿えるよう、なお一層の幅広い囲碁普及活動を目指していきます」と、力強く語ってくれました。

当日の委嘱式には内助の功労者である夫人をはじめ、東京在住の囲碁仲間のロータリアンが集い、榮譽をたたえました。なお、夫人は故・竹山涼一元R理事（札幌南RC）の令嬢です。

（東京立川こぶしRC 新藤信之・記）

況を目の当たりにし、世界平和を願って行う国際奉仕活動として、多くの人々に現状を伝え、手を差し伸べる活動が続けていく必要性を感じました。

(京谷知明・記)

北米の学生らが 日本文化を体験

横浜本牧ロータリークラブ

第二五九〇地区 神奈川県

一〇月五日に横浜の名園・三溪園で、国際奉仕のイベントとして、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）の学生と教員を招いて、浮世絵の摺りの実演と体験、茶道体験、三溪園の散策という三つの催しを行った。

IUCはスタンフォード大学日本研究センターを前身とし、アメリカならびにカナダの一〇の大学の提携、連合により一九六三年に設立。以来、独創的な教育方法と教材開発で日本語教育の発展に寄与するとともに、各国から入学者を受け入れ、日本研究、日本専門家の養成に多大な効果を上げ、日本と世界の懸け橋となっている。

当日は午前一〇時に三溪園に集合し、一〇時半から（公財）アダチ伝



浮世絵の摺りを体験する留学生たち

統本版画技術保存財団の摺師・仲田昇氏による浮世絵摺りの実演を見学。今回摺られた浮世絵は葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」。その後、同財団理事・中山周氏による浮世絵の解説で知識を深めた。

午後からは三班に分かれ、ローテーションを組んで、浮世絵摺りの体験、三溪園の内苑の見学、茶道体験を行った。

摺りの体験は仲田氏と助手の方の指導の下、「神奈川沖浪裏」を摺った。藍色一色の一回刷りではあったが、初めての経験とあって、摺り終わって版からはがす時には各自、緊張が走り、出来栄に歓声が上がった。三溪園内苑の見学では、普段なかなか見られない市指定有形文化財の白雲邸も含め、ガイドと一緒に散策しながら回った。

茶道体験は、箏と尺八の音色を聞きながら、お茶をいただくだけでなく、点て方も体験した。学生たちばかりでなく、日本人にとっても大変貴重な体験だった。

地元商工祭でバザー

小川ロータリークラブ

第二五七〇地区 埼玉県

当クラブは、十一月三日の文化の日に埼玉伝統工芸会館において開催された「第三七回小川町商工祭」において、ロータリーデーとしてのぼり旗も立て、会員総力のもと、八回目となるバザー店を出店しました。

当日は快晴と天気にも恵まれ、事前の準備も功を奏し多様な品ぞろえをもって開店の準備。販売開始の午前一〇時を待つこととなりましたが、すぐにリピーター客なのか、多くの人が集まり始めました。

そのころ、まったく予想していませんでしたが、当地区の高柳育行ガバナール夫妻が店を訪れ、温もりのある激励の言葉をかけてくださいました。会員一同、大変うれしく思い、記念撮影して、しばしの感激に浸るところとなりました。

当然、その後の販売活動には力が



大好評だったバザー店

入り、サービスとして併設したダーツゲームが好評だったことも加わり、販売終了の午後三時を待たずして、すべての品物が完売するという結果となりました。

ガバナール夫妻の訪問もあって、会員一同大満足でした。クラブの歴史に新たな一ページを加えることができた、商工祭への出店となりました。

地域の祭りで ポップコーン販売

大阪平野ロータリークラブ

第二六〇地区 大阪府

秋晴れとなった一〇月三十一日、第四〇回「平野区民まつり」が戸池グラウンド・コミュニティプラザ平野で開催され、当クラブは前年度に引き続き、模擬店を開設してポップコ

ROTARY AT WORK

い「鳴釜神事」を体験した。

最後は、藤井一也国際奉仕委員長のあいさつで、日本の秋の一日を満喫した思い出に残る交流会を解散。また、翌日の地元紙には留学生のコメントとともに写真入りで交流会の様子が紹介された。

(浮田實・記)

グローバルフェスタ JAPANに参加して

第二五八〇地区

東京都・沖縄県

グローバルフェスタJAPANは一九九〇年に始まり、今回で二五回目を迎えた国際協力イベントです。前回までは日比谷公園で行われていましたが、今回は一〇月三、四日の二日間、お台場のセンタープロムナードで行われました。「Share the Happiness!」とお台場から広げよう！ 幸せいっぱい国際協力の輪を、を開催テーマに、外務省、国際協力機構（JICA）、国際協力NGOセンター（JANIC）の共催、内閣府はじめ各省庁ほかの後援で開催されました。

二〇一五年が「ミレニアム開発目標（MDGs）達成年」と「青年海外協力隊事業五〇周年」でもあるこ

とから、開催趣旨は、若い世代からシニア層まで幅広い方々に国際協力をより身近に感じてもらおうとともに、政府開発援助（ODA）を含む国際協力の現状や必要性、政府とNGOの協力などについての理解と認識を深めてもらうことを通じ、日本の国際協力への参加を促進するといふものでした。

当地区は、ロータリーの活動を知ってもらうことを目的に、今回初めて参加しました。ポリオ撲滅活動、米山記念奨学金制度、ロータリー青少年交換プログラムについて紹介しました。

イベントに参加したことで、さまざまな団体が人権、環境、医療、教育、識字率向上などに関する活動をしていることを目の当たりにしました。特に、大学生がこうした活動に



初めてのイベント参加でロータリーをPR

高い関心を持ち、積極的に活動していることに驚きました。また、大学生がこれらのテーマに関する分野を履修するために海外留学をしたいという希望を持ち、当地区の出展ブースを訪ねてくれたことは望外の喜びでした。

消防車贈呈式

堺フェニックスロータリークラブ

第二六四〇地区 大阪府

堺フェニックスロータリークラブ（RC）は二〇一四年に、タイのルンピニーRCとアムナートチャロインRCの三クラブの協同事業として、日本の「水槽付き消防ポンプ自動車」を寄贈するプロジェクトを計画しました。

タイ東北部では消防車の不足や劣化により、火災発生時に満足な対応ができない状況が続いていることから、少しでも多くの生命・財産を守るためにと企画したものです。

そして二〇一五年一〇月二三日、アムナートチャロイン県で、水槽付き消防ポンプ自動車の贈呈式が挙行されたほか、県知事主催の式典と、消防車が配備される市役所での式典も行われ、多くの方々から歓迎され



寄贈した水槽付き消防ポンプ自動車

ました。

当日、参加会員はアムナートチャロインRC、ならびにフランスからの青少年交換学生とバナーを交換し、ルンピニーRCからは感謝状をいただきました。

水槽付き消防ポンプ自動車は、水不足が深刻なこの地域では、消防活動だけでなく、農作物への散水作業にも活用されるそうです。

プロジェクトは無事に終了しましたが、この地方はまだ多くの問題を抱えています。交通事故も多いということですが、搬送に使われるのはバンの荷台にゴザを敷いた程度の車両で、そこには簡単な応急セットしかありません。

その上、病院までの搬送に一時間もかかり、助かる命も助けられないことがあるそうです。このような状

ほかに、マイナンバー制度、成年後見制度、振り込め詐欺、福祉車両や福祉レンタカー、生前の生命保険活用、サービス付き高齢者住宅、バリアフリー、ボイストレーニング、ヨガのすすめ、健康ウォーク、高齢者のお酒の飲み方、諸外国の高齢者など、さまざまなものが集まりました。自社の製品や事業を「高齢者のために」という視点で見直す機会となり、また、次の奉仕のニーズが見えてくるものもありました。

また、開催地である香芝市の職員は認知症についての寸劇を披露し、後援だけではなく参加協力も得られました。

(桐瀬和子・記)

奉仕のつどいを開催しました

東京赤坂ロータリークラブ

第二七五〇地区 東京都

クラブでは「二〇一五 奉仕のつどい」を一〇月三日に東京都立芝商業高等学校の校庭と体育館で開催。当日は高校生と障がい者、当クラブや他クラブの会員とゲストの総勢三〇五人という多数が参加しました。開催に当たり、東京都教育委員会と港区から後援を得て、武井雅昭



車いすを押す体験で、障がい者たちと交流

港区長も参加してくださいました。

このプログラムには、青少年が障がい者と交流することで、障がい者への優しい心を育むこと、障がい者に対する意識を高めること、そしてバリアフリーの重要性を感じること、一つ目の目的にしています。

そのため、高校生には、障がい者を乗せた車いすを押す体験をしてもらいました。これは大きな交流になったと思います。さらに、障がい者と高校生が歌とダンスのパフォーマンスを披露し、元気を分かち合いました。

二つ目の目的は二〇二〇年の東京パラリンピック開催を盛り上げること。(二社) 日本パラリンピアンズ協会副会長の根本慎志氏に「夢は叶う」と題した講演をお願いしました。その後、車いすバスケットボールを

高校生に体験してもらいましたが、障がい者の皆さんの声援で大変盛り上がりしました。ここでは障がいのある人も元気に活動できることが証明され、まさに今回の主題「we are one」(われわれは一つ)を確認し合いました。

二つの目標は達成できたと思っています。クラブはこれからも、地域社会、国際社会へのプレゼントを目指して行動していきます。

(橋本年男・記)

外国人留学生と和の食・文化に触れた日

岡山東ロータリークラブ

第二六九〇地区 岡山県

郷土に古くから息づいている食・文化・昔遊びの体験を通じて岡山県について知り、母国に帰ってその魅力を伝えてもらいたいと、十一月三日、県内の外国人留学生を招いて交流会を開催した。

七三人の留学生と会員二五人が参加し、午前九時からの荒川謙三会長のあいさつ、大橋正禎青少年奉仕委員長のスケジュール説明の後、午後には訪問する吉備津神社のビデオを鑑賞し、予備知識を得てから体験開始となった。



吉備津神社で「鳴釜神事」を体験

まずは「吉備津三味線餅つき保存会」の太鼓と三味線の演奏に合わせて餅つき。その後、岡山名物の「まつり寿司」の由来を聞き、参加者全員で錦糸卵をつくり、ママカリ(ニシン科の魚の地方名)、イクラ、マグロ、タコなどの盛り付けを体験して交流を深めた。

昼食に、つきあがった餅とまつり寿司を和やかな会話とともに食し、食後は竹馬、けん玉、竹とんぼ、こま回し、風船などの日本の昔遊びを紹介し、留学生たちは興味津々だった。

午後は三台のバスに分乗して吉備津神社へ移動。国宝の本殿と拝殿を見学し、宮司から岡山の歴史にまつわる「温羅(鬼のこと)伝説」と神社の由来を聞き、さらに神社に古くから伝わる釜の音で吉凶を占う珍し

会場となった香川県立総合水泳プールではアスリートたちの白熱した競技が実施され、家族や友人から終始、温かい声援が送られていました。私たちも微力ながら、選手の案内、誘導などを担当しました。

サポート中、選手の皆さんと会話を交わす中で「熱意」「前へ踏み出す勇氣」をとても強く感じることができました。今後、より一層知的障がい者への理解が深まり、彼・彼女たちが社会で活躍できる道が開けることを心から願います。

リンピックス日本・香川による「第四回中国四国ブロック水泳競技会」が「わ」が開催され、当クラブから水重克文会長を含む有志、当クラブ提唱の高松工芸高等学校インターアクトクラブの会員が、大会のお手伝いをしました。



水泳大会のサポートを行う会員たち

今後もクラブとして、継続して同事業の支援をしていきたいと考えています。

発達障がいテーマに 特別支援教育講演会

鹿児島ロータリークラブ
第二七三〇地区 鹿児島県

当クラブでは十一月一日、「発達障害のある子どもたちの理解と支援 高等学校における支援の現状と可能性」をテーマに、今回で二年目となる「特別支援教育講演会」を開催しました。鹿児島県・市の教育委員会、各マスメディアの後援を得て、当クラブと鹿児島大学教育学部が共催しました。



120人以上が参加した特別支援教育講演会

午前中は大分大学准教授の衛藤裕司氏が「高等学校における特別支援

教育の課題と展望」と題して講演。多くの子どもたちが後期中等教育を受ける時代であることを考えると、高等学校の関係者はそれぞれの学校に発達障がいのある生徒たちが在籍していることを踏まえ、適切な学習環境をどう提供していくか、支援の現状と可能性を考える必要があると訴えました。

午後からは「高等学校での取り組みの工夫と次のビジョン」と題して、鹿児島大学教授の肥後祥治氏、福山高等学校教諭の近藤美香氏、鹿屋農業高等学校教諭の岩下明子氏によるミニシンポジウムを行いました。

参加者は、前回と同様一〇〇人を超える一二七人で、アンケートによると、大人へ移行する高校生の就職、家族のサポートなどや、養護教諭の関わり方など多数の要望がありました。今後も発達障がいのある高校生に関わることを含め、特別支援講演会を開催していく予定です。

職業・専門性を生かし 「シニア安全教室」開催

日本ロータリーEクラブ二六五〇
第二六五〇地区

今年度、クラブの奉仕プロジェクト委員会は「職業・専門性を活かす



市職員の寸劇も披露されたシニア安全教室

た奉仕に取り組もう！」を方針に掲げています。一〇月二四日、奈良県香芝市総合福祉センターにおいて、地区補助金を活用し、「シニア安全教室」を開催。地域の高齢者二〇〇人を対象に、クラブの医療グループが中心となって、会員三人が、高齢者にとって早期発見・最新治療・予防対策が急務となっている三つの疾患「高齢者肺炎」「加齢黄斑変性」「認知症」についての講話を行いました。

その中で、「シニア安全チェック」(アンケート形式の基本チェック)を考案、実施し、冊子「シニア安全ポイント」を作成して配布しました。この冊子は会員による職業・専門分野からの提言、健康増進および高齢者に役立つ情報を集めたものです。内容はロータリアンの多様な職種を反映して、医療、薬剤、介護の

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介、600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

地域の夢と将来の夢

糸魚川中央ロータリークラブ

第二五六〇地区 新潟県

一月一日、新潟市で開催された
当地区の地区大会で、私たちのクラ
ブが昨年度実施した『夢の記憶』
モニメント製作事業』に対し、国
際ロータリー会長代理を通じて「意
義ある業績賞」をいただきました。
同事業は地区補助金を活用し、昨
年春に実現した北陸新幹線の開業を
記念して実施したものです。沿線に
ある糸魚川に住む私たちにとって、
この開業は地域の夢でした。

夢が実現した今、将来の夢を持つ
子どもたちから「ぼくの夢・わたし
の夢」と題した作文と、その夢を集
約した「夢メッセージ」を募集しま



子どもたちの多くの夢が刻まれたタイル

した。

私たちのクラブは以前から作文コ
ンクールという形式で事業を実施し
ていましたが、記念事業として募集
したその「夢メッセージ」を、子ど
もたちの直筆になるべく近い形で、
レンガ調タイルにレーザーで刻印し
てモニメント化。子どもたちの「夢
の記憶」を未来へ残すという内容に
しました。

二〇一四年二月一〇日に完成、
同一四日に除幕式を行いました。市
内に一八校ある小学校の五年生全員
(三七六人) が参加した個性あふれ
るメッセージには、多くの元気があ
ふれていました。

JR糸魚川駅の近く、「C12SL
パーク」内に設置されていますので、
糸魚川へお立ち寄りの際は、ぜひ一
度ご覧いただければと思います。

共に汗した老人・身障 合同スポーツ大会

真岡ロータリークラブ

第二五五〇地区 栃木県

一月二日、澄みわたる秋空の
もと、真岡市内の高齢者と身障者
を対象としたスポーツ大会「老人・
身障合同スポーツ大会」が開かれ、
千二百余人が参加しました。真岡市
老人クラブ連合会と同市身体障害者
福祉会が主催し、当クラブが共催、
市内の郵便局が協賛しています。ロ
ーター財団の地区補助金を活用
し、会員が全員参加する社会奉仕委
員会のメイン事業です。

当日は賞品の提供はもとより、会
場設営、競技用具の搬入・搬出、競
技者の誘導、審判、賞品の授与まで
行い、会員自身も競技に参加します。
そして何と言っても、大好評の豚汁
一〇〇食分の贈り。会員夫人も大
活躍してくれました。今年度お世話
している米山奨学生二人も休む暇な
く、大車輪の活躍でした。豚汁は、
幹事以下有志数人が前日から下ごし
らえをする、「ロータリー」のダシ
の効いた自信の逸品です。昼食時
には今回も長蛇の列ができました。
競技種目は、目隠し走、紅白玉入



高齢者や身障者と楽しんだスポーツ大会

知的障がい者の 水泳大会を支援

高松ロータリークラブ

第二六七〇地区 香川県

れ競争など一二種目に及びます。高
齢者も身障者の皆さんも元気いっ
ぱいで、声援が飛び交い、皆さん満面の
笑みでした。われわれも共に汗を流
し、楽しみながら交流を深め、生き
る喜びを共有しました。この大会は、
ロータリアンの崇高な使命である社
会奉仕の実践であり、ロータリーの
理念を広く市民に理解していただく
活動でもあります。額に汗した一日。
参加者の笑顔が、私たちに充実感と
生きる力を与えてくれました。

一〇月二五日、知的障がい者のス
ポーツ活動支援団体・スペシャルオ

ROTARY AT WORK



京舞にうつとり

〈函館RC〉

京都府物産協会の一行が例会に出席し「京舞」を披露した。毎年、函館市内の百貨店・棒二森屋が主催する物産展「大京都まつり」に同協会が出展し来函する際に、同店店長の岩岡正剛会員が招いて実現しているもの。なかなかお目にかかれない艶(あで)やかな舞に、会員一同、うつとり見入っていた。

(9月10日 第2510地区 北海道)

ROTARY AT WORK



日本文化に親しむ会

〈京都紫野RC〉

社会奉仕委員会、職業奉仕委員会の協同事業で、上賀茂神社の式年遷宮を奉祝する献茶式に、障がい者とその家族を招待。やや肌寒いものの好天に恵まれた当日、招待予定の40人を上回る74人もの参加者を得た。献茶式への参加、拝服式での濃茶、点心席での食事と、楽しく日本文化に親しみ、参加者は口々に感謝の意を表していた。

(10月31日 第2650地区 京都府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

精神障がい者に理解を

〈佐世保北RC〉

NPO法人チーム・フォー・バイ・フォーが行う「ウォーキング&ゲームラリー大会」に、地区補助金でスタッフジャンパーと椅子を贈った。精神障がい者が、健常者とスポーツなどでの交流を通して体力の増進を図るとともに、精神障がい者への理解を深める活動の一環として開催されている大会で、第18回の今回はスタッフも含め約400人が参加。贈呈式後は会員もチームで参加したり、ボランティアスタッフを務めた。抽選会でも会員の多くが景品を提供、継続支援を考えている。

(10月31日 第2740地区 長崎県)



ROTARY AT WORK

障がい者の自立を支援

〈浦和ダイヤモンドRC〉

毎年、地区補助金を使用し、障がい者自立支援を中心に奉仕活動を実施している。今回は2014年に引き続き、(社)福うらわ学園に掃除機5台を寄贈。1台は業務用で作業訓練用、4台は施設内清掃用として利用されること。一般企業への就労支援を目標に掲げる同園の入所者の就労率は83・9%、就労者の定着率は90・8%(平成21〜25年度)と大きな成果を上げている。

(10月21日 第2770地区 埼玉県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



**地域のバザーにいわきからの
応援**
〈京都西山RC〉

創立30周年を迎えた障害福祉センター「あらぐさ」のバザーに協力。東日本大震災を機に友好クラブを結んだ、第2530地区（福島県）のいわき校RCが応援に駆けつけた。当日は福島の名産品も販売され、バザーの収益金とともに施設に寄贈した。また一般の参加者にロータリーを認知してもらおうと、ポリオ撲滅の募金箱を設置し、パンフレットを配布した。

（10月25日 第2650地区 京都府）

ROTARY AT WORK



**特別支援学級の子どもたちと
交流**
〈松浦RC〉

松浦市内特別支援学級体験旅行を実施。今回で35回目の継続事業で、児童21人、生徒8人、教職員20人、支援者4人、会員9人の計62人が、船やバスを乗り継ぎ「鷹島モンゴル村」へ。自己紹介、記念写真の後、子どもたちは小動物と触れ合い、交流会で会員たちと一緒にゲームをして親睦を深めた。会員は、子どもたちが自分の意見をきちんと表現できるのに感心。大半が子育てを終えた会員で、子どもとの触れ合いを一緒に楽しんでいた。

（10月19日 第2740地区 長崎県）

ROTARY AT WORK



ROTARY AT WORK

子どもに美の鑑賞力を
〈東京中央新RC〉

毎年、中央区立泰明小学校児童の銀座画廊巡りを実施。3年生全員を4〜5人のグループに分け、銀座に古くからある画廊を順次巡り、作品の説明や画廊の方針などを解説してもらっている。子どもたちの美の鑑賞力を養うプロジェクトで、銀座で育つ児童に、銀座の画廊が日本の美的世界の殿堂の一つだと知ってもらうことも期待している。会員が付き添い、先生や保護者、ロータリーアクター、東京中央RCの協力も得ている。

（11月6日 第2750地区 東京都）



ROTARY AT WORK

**オホーツク網走マラソンを
支援**
〈網走RC〉

地域社会貢献にと「第1回オホーツク網走マラソン」に、会員24人がボランティアで参加。約2600人が参加したフルマラソンの29km地点の公園内で、誘導兼応援、またエイドステーションで長天（網走のかまぼこ）とコーラを提供したが、思いのほかランナーから好評でビックリ。ボランティア参加のほか、会員5人がフルマラソンに出場し、全員完走した。

（9月27日 第2500地区 北海道）

ROTARY AT WORK



**町福祉協議会に
リヤカー寄贈** 〈鶴田RC〉
地区補助金を活用し、鶴田町福祉協議会に「地域福祉活動に利用してください」と、アルミ素材の折り畳み式リヤカーを2台寄贈。災害時だけでなくさまざまな場面で活用できる、と喜ばれた。リヤカーは小中学校の行事、地区や町内会への貸し出しもされることになった。
(10月1日 第2830地区 青森県)



**児童養護施設の子どもと
野外交流会** 〈和歌山アゼリアRC〉
青少年育成事業として、児童養護施設・旭学園の小学生と野外交流会を実施。外で遊んでバーベキューを食べ、一日を過ごすこの会は、今回で3回目。回を重ねる毎に仲良くなることで、子どもたちは会員の顔も覚えていく。彼らの成長を肌で感じた3年目だった。次回も喜んでもらえることを楽しみに、継続していきたいとクラブでは考えている。
(10月24日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

パトロール車を寄贈 〈荻田RC〉
クラブ創立40周年事業として、犯罪の抑止力になればと、防犯パトロール車を寄贈。贈呈式には行橋警察署長、幼稚園児、荻田町長ほか役場職員、ロータリアン35人、そして園児の保護者など多数参加のもと、盛大に行われた。式典後、パトカーを先頭に、町内を回った。車の左後ろにロータリーの歯車マークが付いている。新聞各社も取材に訪れ、早々に地方版に掲載された。
(11月2日 第2700地区 福岡県)



ROTARY AT WORK

職場例会に参加して 〈瀬戸北RC〉
瀬戸市を代表する老舗企業・ナリタグループのナリタテクノ(株)の工場を見学する職場例会を実施。成田一成会員が経営する同社はガスバーナー、焼成炉などの設計・開発・製造を一貫して扱い、海外にも販売して、母体の(株)成田製陶所は2016年で創業100周年とのこと。業務用ガスバーナーの実演では、参加者一同その威力と熱さに驚かされた。参加した米山奨学生も熱心に見学し「ロータリーならではの貴重な機会」と喜んでいった。
(10月6日 第2760地区 愛知県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

収穫したジャガイモで ロータリーと地域の絆

蓮田ロータリークラブ
第2770地区 埼玉県

今年度、井原貴ガバナーは、運営方針の一つとして「地域のボーイスカウトとロータリークラブの関係を整理し、共に世界平和を求める団体として相互交流を進める」と述べていました。

その方針を受け、蓮田ロータリークラブは、蓮田市内のボーイスカウトの代表者と新たな相互交流の手法について話し合い、その結果、一緒にジャガイモを育て、収穫したジャガイモを市内の福祉施設に贈呈することで、意見が一致しました。

クラブでは早速、畑を手配し、2015年9月に種芋の植え付けを、ボーイスカウトと協同で行いました。その後、芽かき、草取りを行いながら、ボーイスカウトの子どもたちはジャガイモが育つ過程を学びました。

11月22日、ロータリアンとボーイスカウト関係者（保護者を含む）の約100人でジャガイモ掘りを行い、収穫の喜びを参加者全員で味わいました。採れたてのジャガイモでカレーライスを作り、青空の下でおいしくいただきました。また、市内の老人福祉施設などへ贈呈することができました。

11月に行われた地区大会のテーマは「ロータリーと地域の絆」でした。当クラブは、積極的に奉仕の第5部門である青少年奉仕にスポットを当てたプロジェクトを続け、次代を担う地域の青少年の健やかな心身を育てる活動に協力することで、地域との絆がより強まると信じ、行動しています。

（田中政司・記）

竹林に消えて音なし秋の風

千葉・富津中央

三枝かずを

湖に映える紅葉や空真青

千葉・野田

佐野 浩平

露天湯の紅葉すんと暮れにけり

東京荒川

井上 一郎

冬仕度妻に従ふ老院長

山梨・甲府西

太田 道夫

山間に一人紙漉く燭かな

岐阜・高山西

小森 丈一

自転車の口笛のゆく小春空

岐阜長良川

井戸 豊彦

柳川の水面にゆれる秋の雲

奈良大宮

飯田 昭

路地裏に仕立て直し屋花八手

大阪北

三宅 侃

宇宙船いまどの辺り月今宵

兵庫・甲子園

田中 由子

秋刀魚焼く煙の行方氣にしつつ

兵庫・神戸西

小松原景久

赤子抱く小春日和を抱くやうに

徳島・脇町

片山 良樹

病窓に願ふ間もなく流れ星

愛媛・宇和島

森本 真二

参道の風に揺れをり薄紅葉

佐賀・伊万里

田中丸縫子

一片の紅葉の行方見てあたり

埼玉・日高

犬竹 碗白

雲海の二つの峰を包みけり

埼玉・日高

松本 恭三

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

とつくにの友の催すコンサート
フルートの音格天井に踊る

東京新

欣樹

大師像に一心祈る若き僧

愛知・新城

鳥居 栄一

眼鏡ずれても微動だにせず

解体の済みて更地になりし地に

秋の陽差して小雀遊ぶ

福島・須賀川

柿沼 良訓

こおろぎの鳴いて静かな夕餉なり

二つの皿にカボスしぼりて

茨城・古河東

小山 幸子

あそこにもここにもなれりカラスウリ

秋の山辺に赤きいろどり

神奈川・川崎西

吉田 恵一

この頃は乾杯発声中締め

言葉の指名多くなりたり

茨城・友部

矢吹 和夫

陸奥の岩間に出でたる一本の

深紅が映える七竈なり

群馬・館林

新井 進

丹波路の道の駅なる店頭

枝豆しめじ南瓜並びおり

京都西南

池田 敏子

長雨のあがりてひかる羊雲

そのすきまより青空ひかる

東京荒川

井上 久子

今生はホリデーという高僧を

追いかけようかニューヨークまで

鹿児島・志布志

西岡 雅博

高齢の記録眺めて望み持つ

俺は生きるぞ茶寿来る迄は

埼玉・行田さくら

小澤 誠邦

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

こだわりを捨ててもヤマセ吹いてくる

青森北東

遠間 善弘

じわじわと秋に集って弾んでる

大阪西

鴨谷瑠美子

気の毒になんで私の影法師

鳥取・倉吉中央

牧野 芳光

ビー玉をフローリングに置いてみる

香川・高松

昇

黒が悪白が善とは限らない

富山・射水

江守 正

合唱の男子の声の高いこと

千葉・富津中央

千葉 一利

縦横とロータリ안의目は器用

神奈川・横浜旭

吉原 則光

趣味は釣り魚食べない肉食系

京都・宇治鳳凰

辻 幸男

ゼロの数一つ間違え買った悔い

埼玉・行田さくら

小澤 誠邦

季語遺産大量に産むこの氣象

鹿児島・志布志

西岡 雅博

敬老会妻に追われてよっころしよ

福島・会津坂下

鈴木 義一

同窓会誰が先生当てゲーム

新潟

小林 悟

定年後馴染みの店も席取られ

長野・辰野

河手 欣哉

なまず井うなぎ押し出し勝ち名乗り

埼玉・入間南

出川 敏雄

いつまでも心に刻む師の教え

福岡イブニング

甲斐総治郎

お徳用買い溜めをして期限きれ

大阪・豊中

関谷 洋子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑汀子



一人住む母も新米炊く頃か

大阪・堺フェニックス 米田真理子

一人で住んでいる母である。多分、お元氣な
のであろう。別に住んでいても、何かと心にか
けて母への心遣いを忘れないことが想像でき
る。新米が手に入るようになった頃には、手
に入れて母にも届けることを忘れない。今頃、新
米を炊いているだろうと想像している、作者の
優しさがこの一句から想像されて、好ましい名
句になった。

秋桜少し明るき山の端

福井南 松山 古来

秋になってコスモスの花が咲くころである。
赤、ピンク、白など色とりどりの花が明るく美
しい。広い大地を飾ったり、道の両側に咲いて
遠くから目に入ってくる花。高く茎を伸ばして
群れ咲くので、風が抜ける時にあたりを華やか
に彩ってくれる。柔らかな色が遠くからも見え
山の端を明るく見せているのであろう。やさし
く醸し出した雰囲気を描けた秀句である。

水よりも石の冷たき神無月

山形西 戸田 正宏

夜学終え家路を急ぐ人の群れ

埼玉・熊谷龍原 森田 光彰

木漏れ日の紅葉且つ散る山路かな

埼玉・川口中央 細井善次郎



佐佐木幸綱



はらつても又同じ場所に巣をかける
蜘蛛よこちらは人の道だよ

島根・出雲南 小村 尚子

「蜘蛛(くも)よこちらは人の道だよ」と、
直接話法で呼びかけている点が、この作のポ
イントでしょう。上から目線ではなく、小動
物と同じ目の高さで呼びかけたり共感の思い
を吐露したりするのは、短歌や俳句が得意と
するところでした。

よく知られている例では、良寛、一茶など
がすぐ思い浮かびます。「雀の子そのけそ
このけ御馬が通る」「大蛸ゆらりゆらりと通
りけり」……といった句を思い浮かべました。

覚えぬて亡き妻を待つ小鳥達

千葉・市川 照井 親資

亡き奥様が、毎朝、小鳥たち用の餌を庭に置
いたり、撒(ま)いたりしておられたのでしょ
う。小鳥たちがそれをおぼえていて、いつもや
ってくる。それが、在りし日の奥様を思い出さ
せるのです。「用意の餌をば」に、作者が鳥を大
事にしていての思いが読めます。

わが家でも庭に餌台と水飲み場を作っている
ので小鳥がやってきます。冬が近づいてくると
特に多くなります。水が凍り、食べるものが少
なくなるからでしょう。

あまりにも苦しき事は書けざりし
今年の日記残り少なし

千葉・富里 寒部 政雄



てじま晩秋



ふるさとで父とおんなじ顔になる

大阪東淀川やまぢ 小坂 克彦

川柳には母の登場が多いですが、この句は父
上。何としても温かさ、懐かしさが漂う良き作
品です。同時に投句された「空だつて明日は変
わるし僕だつて」も高水準でした。

詫び会見信じ任せた無責任

北海道・斜里 辻 舒宏

近ごろ、企業のコンプライアンスが不徹底で
お詫びの会見が目立ちます。「誰々に任せてい
ました」「信じていた」の弁明は経営責任者の
怠慢、無責任の因果と言えましよう。

生きる喜び薄い味噌汁温い飯

熊本西南 古閑 修

薄めのみそ汁ですか。血圧が高めなのではし
ょうか。友人の医師の口癖に「ある程度の病氣と
付き合っている人の方が長生きする」がありま
す。今日も元気で行きましよう。

やあとと言ういつも元氣な合言葉

群馬・伊勢崎 秋山 春海

何でもない一言ですが、大切な事柄です。若
いころ「今日も元氣だ タバコがうまい!」と
のCMがありました。今やそれは無理。氣楽
な友人たちとの交際も楽しいですね。

皮膚科では光老化という概念があります。同じ年齢でも、若く見える人と老けて見える人がいるのはどうしてでしょう。多くの人が遺伝によるものだと考えているのですが、遺伝によるものは二割に過ぎず、八割は環境要因によるものです。実際、一卵性双生児でも、毎日の運動、食事、環境、ストレスで外見的には大きな差が出ます。そして興味深いことに、双子のうち、若々しく見える人のほうが、長生きするのです。

また、欠かせないのが紫外線のケア。日差しが気になるときには日焼け止めを塗る、日傘や帽子をかぶるなどの紫外線対策をお願いします。ただし、太陽に当たらないのもよくありません。ビタミンDが不足し、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患やうつ病を招きやすくなるため要注意です。それでもできてしまつたしみやしわ、たるみなどはセルフケアではなかなか改善にくいもの。これらの「見た目」の老化現象は今、レーザーや光治療などでかなり改善されるようになりました。受けてみることをお勧めします。

(第二六八〇地区・兵庫県・甲子園RCにて・同RC会員)

食品衛生指導員とは

日立食品衛生協会
副会長兼指導員部会長 篠原 裕治

人々に食を提供する業界にとって、最大のリスクは食中毒ですが、わが国には、食品衛生協会による食品衛生指導員という制度があります。食品衛生協会とは、一九五六（昭和三一）年九月に、日本食品衛生共済協同組合として、中小企業等協同組合法に基づき、社団法人日本食品協会を母体とする日本食品衛生協同組合が、当時の農林大臣の許可を得て設立されたのに始まります。

国民に飲食を提供する食品業界において、食品衛生の確保および向上は重要な社会的責務です。このことから、食品衛生協会は、食品衛生指導員を活動の中心と位置付けています。

食品衛生指導員制度は、食品業界において、国民に安全で衛生的な食品を提供できるよう実践活動を行うことで、国民の保健衛生の向上と増進に寄与することを目的としています。全国の都道府県に支部、支所を持ち、社会貢献度の高い指導員活動を行うため、豊富な経営経験と衛生に関連する知識と技術、その他いろ

いろの事例を持ち、かつ同業者からの人望があり、信頼の厚い人を指導員として委託しています。

資格は、日本食品衛生協会が行う食品衛生指導員養成教育を修了した者、または日本食品衛生協会会長が承認した各支部の食品衛生指導員養成教育の課程を修了した者に与えられます。この中から行政機関と協議し、適格者として認められる者が各支部長から食品衛生指導員に委託されます。各都道府県、指定都市の要請がある場合は、食品衛生指導員の委託を受けることができます。

食品衛生指導員の業務には、①巡回指導、②食品衛生思想および技術の普及、③健康危機管理に関する知識の普及、④保健所への協力、⑤食品衛生責任者との連携、⑥消費者との連携、⑦営業許可または営業届出申請手続きの指導、⑧融資に関する情報提供や指導、⑨健康管理の指導、⑩食品衛生協会活動の推進（食品衛生協会の行う諸事業の遂行、「食品衛生の日」の推進）、などがあります。このような活動を行い、食品による事故の減少と衛生管理の指導徹底に努めています。

(第二八二〇地区・茨城県・茨城北RCにて・同RC会員)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

真田一族と武田信玄公

日本戦国史研究家
浜松ヒューマンセミナー講師 加藤 鎮毅

戦国時代、武田信玄が攻め落とせなかった地方土豪の堅城を、小兵をもつて一日で陥落させたのが、名将・真田幸村（信繁）の祖父・真田幸隆です。ここに真田戦法の起源を垣間見ることができます。

幸隆は信濃国小県郡の豪族、海野氏の一族として生まれます。海野棟綱の子で、海野惣領職を継いで「真田」を称したと言われています。海野氏も真田氏も村上義清によって零落の憂き目を見ており、武田信玄の支援によって幸隆は小県郡内に領地を受領し、失地回復の拠点としました。その知謀を信玄に認められ、真田

三代の基盤を構築しました。武田二十四将に真田家から三人入るなど、真田家の実力と成果から、信玄からの信頼が厚かったことがうかがわれます。

一五八三（天正一一）年、上田城の築城が真田幸村の父・昌幸によって始まりました。ここで真田氏は、山間部の真田郷から、信濃国のほぼ中央に本拠を占めることとなります。このころ、徳川家康は沼田領を北条氏に渡すよう真田昌幸に命じましたが、昌幸は拒絶。激怒した家康は、真田討伐を決意し、真田ゆかりの城を攻略しようとはしますが、多くの損害と死傷者を出し、約八〇〇〇の軍勢は撤退を余儀なくされます。

一六〇〇（慶長五）年、関ヶ原の合戦で、徳川秀忠は、家康と合流すべく進軍していたところ、昌幸、幸村の巧妙な戦略に翻弄されて、足止めを食らい、天下分け目の大合戦に間に合わないという大失態を引き起こします。大坂冬の陣で、幸村は大坂城に真田丸と呼ばれる土作りの出城を構築し、獅子奮迅の大活躍をして家康の心胆を寒からしめました。

名将・武田信玄の警咳に接し、蕙陶を受け成長したのが、真田一族でしょう。

（第二六二〇地区・静岡県・浜松RCにて）

皮膚と

アンチエイジング

ねもと皮膚科 院長 根本 美穂

最近よくメディアで取り上げられているのが「見た目」という概念です。

漢方では、肌や舌、体格を診る望診が非常に重要で、西洋医学でも、診断機器の結果だけに頼らずに、医師が体の相を目で見て病気を探る「身体診断学」が現在、世界のスタンダードになっています。

例えば、耳たぶのしわと冠動脈疾患との関係についての報告があります。耳たぶにしわがある人は、ない人に比べて、心疾患にかかりやすいと言われています。動脈硬化による心疾患の前兆かもしれないとも言われています。また、レオナルド・ダヴィンチの名画「モナ・リザ」に描かれている女性には、左の目頭に黄色いしこりがあります。これが眼瞼黄色腫で、モナ・リザのモデルになった女性は脂質代謝異常症（高脂血症）ではなかったかという説を唱える人もいます。

見た目を若く保ち、生活習慣病のリスクを減らすことは、運動、食事、生活習慣などと密接に関係しています。

う。あまりに露骨なので、「みんな」とぼかして表現するのも可憐な。女子高生がおじさん（あるいはおじさんが女子高生）に声を掛けて誘うのも「援助交際」と呼ぶそうである。実態を露骨に表さずに「エンコウ」と言い換えるのが日本人の美意識ならば、「concerned」を「みんな」と言い換えるのも仕方ないということか。

有名なチェロ奏者のムスティスラフ・ロストロポーヴィチ（一九二七～二〇〇七）は「音楽においては美しい音も汚い音もない。大切なのは伝えたいメッセージを最も的確に伝えられる音だ。そのメッセージにふさわしい音がよい音だ」と言ったそうだ。言葉も同じだろう。「みんなに公平か」という心地よい言い回しよりも、原文の「Is it FAIR to all concerned?」というハーバード・テイラーの熱い思いと息遣いの感じられるメッセージを的確に伝える日本語訳が求められている気がする。私は「四つのテスト」の歌を、歌う気になれない。（第二五六〇地区 新潟県 時計販売）

お別れのメッセージ

青少年交換学生 ラリッサ・リマ・シルバ

私のもう一つの新しいたびが終わろうとしています。私はこれまでけいけんした全てのことにとてもおどろき、かんどうしてきまし

た。私はこの気持ちをいつも思い出すことができるし、これからも忘れないと思います。私たち、交かん学生はいごちのよいかんきようからそとに出て、何も知らない国に来ました。出会ったばかりの人が、とつぜん私たちの新しいかぞくになりました。新しい友だちを作ったり、親友ができたりと、それはまるでゼロから生活をはじめたようです。

私たちのことを「ゆうきがあるね」と言う人もいますが、私は母国のブラジルをはなれ、日本でのすばらしいぼうけんをすることにまよいはありませんでした。なぜなら、りゆう学生は自分の人生を楽しみたいと思っているからです。そして、今、私はそうしているのです。ブラジルのロータリークラブからは、「りゆう学生は新しい文化を覚える。そして、自分の国の文化を教える」と教わりました。しかし、私はそれいじように日本にいる間にとて



ホストファーザーの山家雪雄会員と

かちのあるものだから、私はよりすばらしい人間になろうといつもとりくんでいます。そして日本人たちはそのかちについて私に教えてくれました。

ロータリーがなければそれはふかのうでした。だから私は「ロータリーの交かん学生である」と常にほこりをもって言えます。

日本の文化をかんがえるときはいつも、びんかん、けい、い、しんせつ、そしてときにはふしぎなこととして思い出します。そしてそれらは日本どくじのものです。それが日本をすばらしい、ふしぎな国にしていると思います。

私のように多くの人が日本について学ぶべきかを持てほしいと思います。そうすることがさいこうのけいけんであり、自分のじんせいをひろげます。日本しきのせいかつをしたので、私は人々に日本についてつたえることができます。いろいろなこていかんねんを崩し、私はみんながこの国を大好きになるようにしたいです。

そして、また、ふたたび日本にもどり、みなさんにおあいしたいです。ロータリークラブ、ときわぎ学えん高校、友だち、先生、ホストファミリー、そして、お世話をしてくれた全ての人にかんしゃします。私たち交かん学生はいつもこのように言っています。「Exchange is not a year in life, is life in a year」私はこのすばらしいであいていけんをけつして忘れません。みなさん、ありがとうございました。（第二五二〇地区 宮城県 仙台南RC）

バナー自慢

寒川ロータリークラブ

第二七八〇地区(神奈川県)



こよなく澄み切った青い空に映える松の緑。若鮎躍る相模川のせせらぎに、町の花、スイセンの可憐な花びら。寒川神社の大鳥居に、霊峰富士の雄姿を見晴るかす水明の里。水と緑に恵まれ、歴史と伝統に育まれた文化の薫る町、寒川をデザインしました。

の『馳走』には、『駆け回る』という意味があります。この食事ができるまでに一生懸命働いてくださったいろいろな人への感謝の気持ちを表す、『おかげさま』という気持ちが、この『ごちそうさま』というあいさつです。もちろん食べ物には、私たちのあいさつは聞こえないと思います。また、私たちのために働いてくださった多くの人も、教室に来ることはめったにないでしょう。でも、みんなで声を合わせて、しっかりとあいさつすることで、クラス全員で感謝の気持ちを分かち合うことができます。そして、その思いは食べ物となった生き物はもちろん、働いてくださった多くの人たちにもきつと届いていると思います。

ます」

以前、全校朝会で『いのちをいただく』（内田美智子著）という本を読み聞かせたことがある。食肉センターで働く坂本義喜さんが「牛の命を解く」と言っている解体作業を通じて出会った少女とのやりとりをつづった絵本である。私たちは奪われた命の意味も考えず、毎日肉を食べている。自分で直接手を汚すこともなく、坂本さんらの悲しみも苦しみも知らず、肉を食べている。私は、命を「いただきます」と言わずに、食べることは許されないと訴えた。目に涙を浮かべて聞く生徒もいた。その後の給食では食べ残しの量が激減した。

二〇〇五（平成一七）年に食育基本法が制定され、学校教育でも食育に力を入れている。食の安全性、孤食（独りでの食事）や偏食、食自体とそれに起因・付随する問題が指摘され、食を通した「命」の教育が問われている。一方、給食費を払っているから、「いただきますを言わなくていい」と、子どもや学校に言う保護者もいると聞いたことがある。

食事は「命」を交換する儀式である。「いただきます」は日本人の食に対する倫理観で「命への敬意」でもある。戦後七〇年、目覚ましい発展を遂げた日本、一方で飽食の問題も抱えている。「食」は「人を良くする」と書く。物質的な豊かさの中で「食べ物は体をつくり、食べ方は心をつくる」ということを、各家庭でも今一度考えてほしいと思う。

（第二五二〇地区 岩手県 教育行政）

「古池や……」 の蛙は何匹？

新発田 高橋 信行

通訳、作家として活躍した米原万里さん（一九五〇～二〇〇六）の本を読んでいたら、「古池や蛙飛びこむ水の音」という俳句を小泉八雲（一八五〇～一九〇四）が欧米に紹介した時、蛙は複数だった、ということが書いてあった。

日本語には複数形の名詞はほとんどないので、単数複数がはっきりしている英語に訳す時、複数形にしたのだろう。しかし古池にカエルが一〇匹も飛び込んだら、と思うと、欧米の論理と日本人の感性には相当な距離感を覚える。

こんなことを考えているうちに、「四つのテスト」のことが思い出されてきた。今、私たちは「The Four-Way Test」を「四つのテスト」と訳している。「四つ」のテストならば、Testは複数形だろうし、日本語の「四つのテスト」を英語に訳し直したら、原文とは似ても似つかぬものになるだろう。このことはこれまでも先輩たちが『友』で指摘している通りである。

「Is it FAIR to all concerned?」も「みんなに公平か」と訳している。「全ての利害関係者」という表現は直接的で具体的過ぎて、日本人の美意識に合わないのかな、とも思

リアン エベレスト山頂に立つ」として紹介され、広く地区内外に元氣の出る、明るい話題を提供してくれた五八歳の弁護士です。

蛇足ながら、マッターホルンはスイスとイタリアの国境にそびえる標高四四七八メートルの美しい姿でも有名な山です。地元では古くから「悪魔が宿る山」として恐れられていたため、初登頂は他の名峰に比べて大変遅れたと言われています。

一八六五年、イギリスの登山家、エドワード・ウィンパーが七度目の挑戦でようやく初登頂に成功。ところが、その下山途中に彼と同行した仲間四人が遭難死するという悲劇が起きました。このことは、わが国の高校の英語の教科書でも紹介されたほどです。

ところで、本田会員は今回のマッターホルンの他に、すでにエベレスト、南米の最高峰アコンカグア、コーカサス山脈の最高峰エルブルスなどを制覇しています。目下マッキンリー（アメリカ・アラスカ）に挑戦しているようですが、類のない厳しい天候に阻まれて幾度か断念を余儀なくされている模様です。

なお、昨年八月、アメリカ政府は、長らく呼称していたマッキンリー山を改め、「デナリ」（偉大なもの）を正式な呼称とすることを告示しました。

さて、今回のマッターホルン登頂では、クラブ会員の要望に応じて、去る九月三日の例会で、大勢のゲストを迎えて報告会が行われました。豊富な現地写真と携行した装備品などを披露しながら和やかに行われ、会員一同、

元氣と勇氣をもらいました。

（第二五〇〇地区 福島県 企画デザイン）

コラボレーション ライブ奮闘記

博多 藤木専太郎

当年八五歳の思いつきから出た、新世代奉仕と地域創生の一環として、福岡在住の有能な若きアーティストのコラボレーションライブを試みた。

最初はクラシックのバイオリンとシンガーソングライターという異なるジャンルのコラボレーションに疑問を抱く声もあったが、二人の優秀な才能の持ち主により見事にクリアされ、大盛況で終了することができた。

バイオリンの松坂奏輔君は当クラブ会員の息子で、幼少時からヨーロッパ各地の有名な音楽家に師事。本格的なソリストとして研鑽を重ね、福岡を拠点に国内外を問わず活躍する実力派。シンガーソングライターと同じく福岡在住の富永裕輔君は、早稲田大学のアカペラサークルで活動し、ソロシンガーとして活躍。北九州市文化大使、北九州市人権教育教材（小中学校用）に彼が作詞作曲した「明日への翼」が採用されている。

この孫世代の二人が見事なハーモニーを奏で満場の聴衆を魅了した光景を目の当たりにした時、若い彼らから湧き出る力と夢をもら

い、感動で胸詰まるものがあつた。

開催に至るまでには、慣れないことがいろいろあり、大変でもあつた。チケットをお願いに回る妻は、先々で「興行主みたいね」と冷やかされもした。しかしその間に多くの人々の温かい心に触れることができ、また旧交も復活したようだ。

八五歳。まだ捨てたものじゃないな、と多少の自信にもつながった。高齢の人、現役で活躍中の人、そして将来を担う子どもたち、これらが一本の線につながり太い棒となつて未来へとたくましく進んでいく。この試みが生きがいとなり、生きる力を得た。これを次世代に対し奉仕を誓うロータリーの実践とした。

（第二七〇〇地区 福岡県 ゴルフサービス）

心と体をつくる食育

北上西 木村 利光

勤めている中学校の昼の放送で、こんな放送があつた。「食事の前の『いただきます』というあいさつには、食べ物への感謝の気持ちが込められています。皆さんが食べている食べ物は、元をたどれば、すべて生きていたものです。その命をいただく感謝の気持ちを表すのが『いただきます』というあいさつです。食事の後のあいさつの『ごちそうさま』



日本についての卓話を熱心に聞くドイツのロータリアン

現在ドイツ語を使うのは簡単なメールでのやりとりの時くらい。ドイツ語で文章を練り、卓話をするというのは、今の私にとってはかなりの挑戦であった。演題は、「日本の女性について」との希望で、ぜひ着物を着てきてほしいとのことだった。

八月一七日、同州のバッド・キャンベルクイッドシュタインRCの夫婦同伴の夜例会の特別ゲストとして、夫と娘とともに出席した。他にも演題に関心のあるロータリアン以外のゲストや、日本へ一年間留学するというご子息も招かれていた。

卓話ではまず、文化庁による日本遺産に認定された、私たちの住む熊本県人吉市の魅力の紹介と、私が経営するホテルの紹介をしてドイツからの観光客誘致を図った。本題とし

て、日本政府における「すべての女性が輝く社会づくり」と名付けられた女性活用政策についての説明と、その展望ならびに、少子化に至っている社会的背景などを話した。

その後の質疑応答は活発に行われた。他のアジア諸国と比較して日本での女性の地位はどの程度か、女性経営者の割合はどのくらいか、また、教育の充実度の高い日本だが、女性管理職の数値がドイツよりかなり低いというデータは本場に現代の数値か、という驚きの声も聞かれた。ドイツの女性政策も日本の現状と比べれば恵まれているようだが、まだまだ道半ばで女性たちは満足していない、などという女性からの意見もあった。

ドイツでは拍手の代わりに拳で机をたたき称賛の意を表すが、ドンドンという大きな音をいただき、少しでも日本に対する理解への橋渡しができたことを光栄に思った。

二〇一九年の国際大会はドイツ・ハンブルクで開催されることが暫定的に決まった。再び訪れ、さらに友好関係を深めていきたいと思う。

(第二七二〇地区 熊本県 ホテル)

マッターホルン 登頂報告例会

郡山南 武田 安永

私たちのクラブには、遠足倶楽部という登



やったー！ マッターホルン登頂成功！！

山愛好会があります。この遠足倶楽部は毎年四月から十一月まで、冬季を除き年間八回の登山例会を行っています。主に県内と近県の山々を楽しんでおりますが、近ごろは例に違わず会員の高齢化が進み、若い会員の勧誘が課題となっています。

こうした中で三年前から魅力付けの一つとして、家族も参加できる、一泊二日の楽しい観光コースも加えながら活動中です。これらも若い会員の企画力と心のこもった献身的なサポートによるところが大きく、大いに感謝しています。

昨年の夏、猛暑を吹き飛ばすような爽やかなニュースがクラブに飛び込んできました。遠足倶楽部の会長、本田哲夫会員が、名峰マッターホルンの登頂に成功したというのです。ちなみに本田会員は、以前にも本誌で「ロータ

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

誕生！ リトル東京 ロータリークラブ

リトル東京 中曽根牧子

二〇一五年九月一三日、在ロサンゼルス日本国総領事館で、リトル東京ロータリークラブの創立記念パーティーが盛大に執り行われ、当クラブの名譽会長に就任された堀之内秀久総領事、ザビーン夫人、ガバーナーなど約八〇人が集まり、創立を祝っていただきました。一三〇年の歴史をもつリトル東京は、日本移民の心のふるさとです。

二〇人の創立会員の中には、元ロータリアンが二人、ロータリー財団学友が三人、五〇年前に東京武蔵野ロータリークラブが主催した英語弁論大会で優勝した人が一人います。私たちのクラブはリトル東京で現在進行中の地域活性化事業を支援すること、日系人社会と新しく渡米してきた新一世社会の溝を



埋め絆を深めること、そして、所属する第五二八〇地区で日米関係・文化交流の専門家となることを創立の理念として掲げました。その理念に賛同し、すでに会員が三人増えました。今後も、積極的に会員増強活動を継続する考えです。また、この一年間は、会員同士の親睦に努めながら、クラブの「戦略計画」をまとめ、中長期的な目標を作る予定です。新しいクラブとして、既存の団体と歩調を合わせながら前進したいと考えていますが、同時に、独自の奉仕事業も展開していきたいと願っています。その第一号はクラブ創立前の四月から始めたフランス・橋本プラザの美化活動です。毎月最終日曜日に、クラブでつくったお揃いのTシャツを着て掃除。五月

からはごみ箱代わりになつていたフランチにローズマリーを植えました。この活動は注目を集め、地元の無料紙『日刊サン』で毎月の活動が連載されています。

八月にはリトル東京の最大イベント「二世週祭り (Nisei Week)」にク

ラブとして下駄タップダンスに出演し、六魂祭の紹介のために来訪した東北六県の代表者の通訳ボランティアをしました。九月には「敬老の日」イベントとして、低所得者層引退者ホーム、リトル東京タワーズの入居者に、隣接する東本願寺のルンビニ幼稚園の園児たちとの交流の場を提供しました。今後も各種奉仕活動事業や日米交流イベントを精力的に行っていく予定です。

毎週火曜日の一時四十分から午後一時まで、リトル東京の歴史的建造物に指定されている「Far Bar」で例会をしています。ロサンゼルスへお越しの際は、ぜひ例会へご出席ください。
(第五二八〇地区 アメリカ 財団学友)

ドイツにて着物で卓話

人吉中央 村田 優子

四年ぶりに夏のドイツを訪れた。前回渡独した二〇一一年には、ヘッセン州のギーゼンロータリークラブ(RC)でメークアップをし、東日本大震災の際のドイツによる救援活動に対するお礼を述べてきた。今回は、二〇年来の付き合いがあるドイツ人の友人が、私の影響もあつてか二年前に地元のロータリーに入会したので、その仲介で卓話をしてほしいとの依頼があつた。

かつてドイツに住んだ経験のある私だが、

わがまち..... ROTARY そしてロータリー



市役所にも「トライくん」



市ワールドカップ推進室の久保敬美
さんにラグーシャツを着てもらった



中西英二氏さん

「ビー場みらい魅力活性化委員会」という長い名前の組織の代表になった商工会議所・嶋田亘会頭（東大阪西RC）も覚悟を決めている。「ラグビーのこと、『友』で宣伝しといてください」。承知しました。

「ラグビーのまち」には「トライくん」というキャラクターがある（いる？）。青い縞のシャツを着た二・五等身のラグーボーイだ。公式キャラクターとして市のパンフレットに登場したり、着ぐるみでイベントに参加したりする。

作者は東大阪西RCの故米島末次会員。一〇年近く前に亡くなり、ラグビー人気が盛り上がる中での「トライくん」の活躍を見届けられないうのは残念だろう。

東大阪は「カレーパンのまち」でもある。約三〇の店が独自のアイデアパンを売っている。なぜカレーパンか？ かつて市内にハウス食品のカレー工場があったことに加えて、カレーパンの形がラグビーボールに似ているからだそう。市の若手職員のアイデアだが、かなり強引にラグビーに結び付けたところが根性だ。

「カレーパン会」なるものがある。東大阪西RCの中西英二会員が会長を務める。鉄工会社を営んでいてカレーパンは専門外。ほかに「ラグビーグッズ創生クラブ」の代表であり、東大阪市民会議の中心メンバーとして「自転車マナーの声かけ運動」にも取り組む。

「ここに長く住んでお世話になった。多少ヒマになってきたので地域のお手伝いを」

東大阪西RCは去年四月、創立三〇周年を迎えた。記念事業はネパールへの支援が中心だ。

これまで基金を設けて医療支援を続けてきたが、その全額を寄付することにしたのである。姉妹クラブ「カトマンズ・ミッドタウンRC」の奉仕事業にも資金援助した。その二週間後、ネパールを大地震が襲った。

ネパールとの縁は、歯科医の龍田宇内会員が医療支援活動に熱心だったことによる。カトマンズの病院や医科大学の設立に関わり、へき地診療も行っていた龍田さんは、三〇周年を前にした去年二月、急に亡くなった。東大阪西RCとネパールにとって激動の春になったと、活動を支えた藤原史嗣会員は思い返している。

一二月、クラブの家族会に参加させてもらった。現在の会員は創立時とほぼ同じの二九人。最盛期の半分に減ってしまったが、この夜は五五人が参加した。

現役の最長老、創立会員の井出幸彦さんが会の口火を切る。夫婦合わせて一八一歳、結婚六七年と前置きして、「みなさんも私たち同様、夫婦そろって長生きしてください」

恒例のビンゴゲームには松尾会長からのハズレ賞品も出て盛り上がり、クリスマスソングの後でマイクを向けられた小学校二年の直輝くん（柳山稔・前年度会長の長男）は、「アナ雪」の主題歌を堂々と歌って一年を締めくくった。

宮本貢（みやもと・みつぐ）

元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。

水村孝（みづむら・たかし）

元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

「アナ雪」を熱唱する直輝くん



わがまち..... ROTARY そしてロータリー



全国大学選手権・天理大対早稲田大。背景は生駒山

ナットなどをつくったのが、現在の工業製品につながっています」

市役所の最上階、二二階の展望フロアに上がってみた。三六〇度を見渡す絶景ポイントだ。

東は奈良との県境の生駒山が意外に近い。その山麓では最盛期の昭和初めごろ、一〇〇台を超える水車が働いていたという。

西は大阪の市街地。日本最高層のビル「あべのハルカス」がニョキッと立つ。晴れた日には淡路島も見えるそうだ。

五郎丸選手も活躍した 青春の花園ラグビー場

冒頭、とても失礼なことを書いてしまった。「何がありましたかね、東大阪」と。

「花園」があるではないですか、花園ラグビー場が。日本代表の五郎丸歩選手も佐賀工高時代、三年続けてその土を踏んだ高校ラグビーの聖地だ。東大阪にあるとは知らなかった。

昨年、市が近鉄から譲り受けた。二〇一九年のワールドカップの会場の一つに決まったのがきっかけだ。名称も「東大阪市花園ラグビー場」と、野暮だがわかりやすく変更した。

二〇年以上前に「ラグビーのまち」を宣言している。ワールドカップに向けて、ラグビーで活性化をという自治体が増えたが、ここは元祖の気合いを見せたいところだ。

昨年、市役所に「ワールドカップ推進室」を設置した。スタッフ八人のうち五人が元ラグーマンという強力な布陣である。オリジナルのラグーシャツをつくり、五月から一〇月いっぱい

のクールビズ期間中は多くの市職員もこのシャツを着て仕事をした。

推進室・奥井幸史さんの案内で「花園」に行ってみた。一九二九（昭和四）年にオープンしたわが国最古のラグビー専用スタジアムである。途中で改修されたものの、いささか古びた印象はぬぐえない。でも生駒山が目の前。天然芝のグラウンドはまことに気分がいい。

奥井さんも天理高校時代、ここでプレーしたことがある。「冬の花園」と呼ばれる全国高校ラグビー。一勝したが東京の本郷高校に負けた。「大会のときにぜひ来てください」。ガランとしたスタジアムを見渡しながらかう。「風景がまったく変わります。選手とファンの熱気が一体となって、それはもう……」

懸念はある。

ワールドカップに向けて、スタンドの改修と、ナイター設備や大型スクリーンなどを設置しなければならぬ。その後は維持費が市財政の負担になりかねない。

「そうなんです。終わってからは大変です」
へ花園ラグ

学生ラグビーの聖地・花園ラグビー場



花園RS（ラグビースクール）の生徒たち。「東淀川RSフレンドシップマッチ in 舞洲」での勇姿。市内には他に東大阪、布施RSがある。





復元された「生駒山麓・辻子谷の水車」

日本語? 「ラシ」「ビジョー」?
聞いてみれば何のことはない。眞螺も螺子もネジのこと。横山邦夫会員が常務の「金剛眞螺」、商工会議所の会頭でもある嶋田亘会員の「フセラシ」のように社名になっている。「フセラシ」はもともと「布施(地名) 螺子」だった。尾錠はバックル。宮永憲一会員は金属加工の自社を「大阪美錠工業」とシャレた。四社の中では高島政康会員の「高島工業」がわかりやすい社名だが、主な仕事の「表面処理」って何? メッキ、みたいなものかなあ。無知を抱えたままで会場を巡ったのだが、社長さんなのか従業員のかわか、どのブースも辛抱強く説明してくれた。口調は熱く、製品は素人目にも美しい。それを支える伝統かつ最新の



テクノメッセの会場風景 (上)「高島工業」の出展 (中左)「フセラシ」(中右) 近畿大学はロボットを出展 (下左)「金剛眞螺」(下右)

戦後日本の復興、発展を下支えした「モノづくり」の風景である。
シャッターが下り、「貸工場」の札が貼られた横で、数人の工員さんが休憩していた。「おお、労働者諸君。今日も一日ご苦労さま」。そう言いながら寅さんが顔を出しそうな雰囲気だ。こうした町工場は、しかし東大阪でも減っているという。不況で廃業したり、事業拡大で新天地に移転したり、事情はいろいろ。
「東大阪の地場産業は、生駒山の水を動力にして始まったんです」と、「金剛眞螺」の横山さんが教えてくれた。山の水で水車を回し、それを動力にして薬種やシンセンをつくった。シンセン?
「伸線。鉄線のことです。そこから釘やボルト、

技術を思うと背筋が伸びる気がする。
良い機会なので工場を見学させてもらった。松尾会長の「松尾捺染」はプリント加工の会社。九〇年前の創業時の版木が保存してあった。現代の精緻なプリント技術の出発点である。
「大阪美錠工業」はバックルやランドセルの付属品、クルマのエンプレムなど、さまざまな金属小物をつくっている。針金を加工する装置のけなげなかわいらしさときたら、アタマをなでやりたくなる(どこがアタマ?)。
氏野さんに高井田地区に案内してもらった。小さな町工場が数軒ずつ入った、平屋の工場長屋。一軒が五〇m前後か。鉄くずやオイルの匂いが漂う。

「松尾捺染」でのプリント染め作業



「大阪美錠工業」は細かい金属加工が中心



「大阪美錠工業」の宮永憲一さん



大阪府 東大阪市



ものづくりの伝統と ラグビーに燃える町

文・宮本 貢 写真・水村 孝

生駒山麓の水車から始まった
東大阪のものづくり

大阪から奈良へ行くときに、東大阪市は何度も通過している。降りたことはない。近鉄特急は河内平野にあるいくつもの駅をすっ飛ばして奈良に向かってしまうのだ。

だからだろうか、すいません、この街のイメージは薄い。何がありましたかね、東大阪。

住人だった司馬遼太郎さんの記念館がある。「モノづくりの町」ということで、町工場が並ぶ風景をテレビで見たことがある。JAXAに協力した小型衛星「まいど1号」の打ち上げも話題になった。

そんな貧弱な知識だけで去年の一〇月、「テクノメッセ東大阪2015」というイベントを訪れた。商工会議所の主催で企業や団体が

一〇〇ほどのブースに製品を並べ、「モノづくりの町」をアピールしようと待ち構えている。会場で、東大阪西ロータリークラブ(RC)の松尾治会長、氏野隆司幹事らと落ち合った。今回の取材は氏野さんが窓口である。

白状しますが、ぼくはモノづくりの世界に疎い。当欄の取材でいろいろな会社のかたに話を聞いてきたはずなのに、さっぱり身についていない。それだけこのジャンルが幅広く、奥深いのか、こちらがアホなのか……両方ですね。

「テクノメッセ東大阪」には東大阪西RCの会員が関わる四社も出展していた。ブースを覗いて製品を眺め、説明を聞いたが、まずね、用語がよくわからない。「ビョーラ」って

左から、東大阪西RCの松尾会長、高島会員、氏野幹事(テクノメッセ会場で)。

東大阪市役所の展望階から大阪市街地を見る。手前は東大阪JCT(中)町工場は「ものづくり」の原点(右)



が僕の一番の転機だったと思います。

こうして、バンクーバー五輪まで六大会連続で出場できたのですが、それまで一度も自分で満足のいくジャンプをしたことがなかったのです。バンクーバー五輪では、ラージヒル個人戦・二本目の一三五層、団体戦・二本目の一四〇層、一本ずつ納得のいくジャンプができました。しかし、ジャンプは二本そろえないとメダルが取れません。「四年後、二本そろえて絶対にメダルを取る!」。そう思った時に、急に自分の中で歯車がカチッと合ったのです。未完成だった自分のジャンプ「カミカゼスタイル」を四年間掛けてつくり上げていきました。

そして迎える一四年のソチ五輪。ここではオリンピック前のワールドカップがキーポイントだと思っていました。ワールドカップで常時表彰台に上がり、優勝に絡む試合をしないとメンタルが強くない。こういう経験を持ってオリンピックに臨もうと思っていました。

一三年の一月二日、僕の父親の誕生日に、四一歳と八か月でワールドカップ最年長優勝記録を更新。これもすごく良い経験でした。オリンピックへの良いステップとして、オリンピックでも良い緊張感の中で戦える。そういった経験を持って、ソチ五輪に挑んだのです。

個人戦のノーマルヒルは八位入賞でしたが、勝負は僕の得意なラージヒルで。それも一本目が勝負だと考え、練習を飛ばずにぶっつけ本番で一本目を飛びました。練習を飛ばずに一本目を飛ぶということは不安もあるのですが、そこだけに集中して大ジャンプをする。見事

一三九・五層の大ジャンプ、一本目二位につけました。一位はポーランドのカミル・ストッホ選手、同じく一三九・五層。彼はテレマーク姿勢がうまいのです。これで二・七ポイント負けていました。でもまだ狙える位置。

二本目。スタート台に座ると口から心臓が出そうなくらい緊張しました。でも、「このチャンス逃さず、絶対に生かす」。そういう強い気持ちを持ってスタート。そして一三三・五層飛びました。いいところまでいったのですが、残念ながら銀メダル。でも九二年に初出場したオリンピックから二年かけて、初めて個人戦でオリンピックのメダルを取ることができました。悔しき六〇七割、うれしき三〇四割でした。悔しい方が強かったので涙は出ませんでした。その時にまた「金メダルに向けて頑張るぞ!」という気持ちになりました。

二月七日、団体戦がやってきます。団体戦も長野五輪以来一六年間、メダルがなかったのです。メンバーは、一番手・二〇歳の清水礼留飛選手、二番手が竹内択選手、三番手が同じ下川町出身の伊東大貴選手、そして四番手が僕。この四人全員、万全な状態ではなかったのです。

しかし、みんな最高のジャンプで一本目K点越え。二本目も最高のジャンプをして僕にないでくれました。そして、メダルの懸かった最終ジャンパーが僕でした。スタート台に座った時、いろいろなことが頭をよぎりましたが、みんなが頑張ってくれた気持ちに無駄にしたいはいけません。プレッシャーは相当ありました。失敗するわけにいかないと、強い気

持ちで二本目を飛びました。一三四層の大ジャンプ。そして一六年ぶりに日本チームでオリンピックのメダルを取ることができました。

万全じゃないみんなの気持ちも知っていたので、オリンピックが終わった時は本当に涙が出ました。「オリンピックで感動できるんだな」。今までは悔し涙ばかりでしたが、うれし涙、感動の涙を初めて流すことができました。ただ、やっぱり自分の目標としては、「金メダル」が一番の目標なので、燃え尽きることなく、今でもしっかりとレーニングをしています。一つは「オリンピック七回連続出場」、もう一つは「ワールドカップ最年長優勝記録」、そして「最年長オリンピックメダリスト」。そういうことで、世間では「レジェンド」と呼ばれています。僕は金メダルを取ってこそ「レジェンド」だと思っています。

二〇二六年は札幌がオリンピック招致をしています。もし本当に札幌五輪が実現すると、僕は五三歳です。五三歳でできますかね? もし可能であれば「本物のレジェンド」になれるのではと思っています。

自分の夢は諦めず「努力で夢をかなえる」という今日の題にもありますが、座右の銘でもあり、これを胸に今後も頑張っていきたいなと思っています。今回、たくさんの方々に集まっていたき本当にうれしく思っています。この出会いを大切にして頑張っていき、また僕の頑張りや皆さんの力になればと思っていますので、これを機に葛西紀明を応援してください。

(ホスト 札幌西北RC)

を抱いたまま、ジャンプ選手として過ごしていくのか、そう思っていたのですが、ちょうど一〇年後の二〇〇五年、急に恐怖心がなくなつたのです。その時は、フライングという世界一大きなジャンプ台を強風の中で飛んだのです。二〇〇〇くらい飛びました。そうすると自分の中の恐怖心がパンと消えて「あ、恐怖心つてなくなるんだ」と思いました。一〇年かけて恐怖心を克服しました。九四年、九五年と転倒があり、そこから復活して九八年の長野五輪。長野に懸ける気持ちは相当強かったです。

妹は一〇万人に一人と言われているドナーも結局見つからず、副作用ですぐ肺炎になつたりして入院を繰り返していますが、臍帯血移植をして、今でも元気に生きております。元気に生きていて、僕をすごく応援してくれています。

母親は、九七年の五月一〇日、火事に遭い全身七〇割の火傷を負いました。一命は取り留めましたが、上半身はドロドロに溶け、気管も肺も火傷してしまつて、闘病生活をしていました。その闘病生活が一か月たったころ、肺からばい菌が入つて肝臓に回り、肝臓から脳に回つて亡くなりました。

母親のため、妹のため、自国で開催するオリンピックで、僕はどうしても金メダルが取りたかつたのです。しかし、ノーマルヒルは七位、ラージヒルと団体は選考から漏れ、飛ぶことができませんでした。長野五輪、僕のジャンプ人生で一番悔しい思いをしました。この長野の悔しさがあつたからこそ、ここまでジャンプを続けられたのだと思います。

「負け」がないと「勝ちたい」と思わない

「負けること」を僕は一番大事にしていって、負けがないと勝ちたいと思わないのです。今までワールドカップを四七〇戦以上戦つてきて、一七勝しました。ほぼ、負けですね。この負けることが、勝ちたいという意欲、頑張るという意欲につながると思ふのです。

長野五輪の後、職場の経営が悪くなり、スキー部も廃部になりました。次に移籍した(株)マikalというチームも三年で経営破綻して、スキー部はなくなりました。九八年から二〇〇〇年ころは不景気で、いろいろな企業がスポーツ部をつぶすようなことが起きていました。

最終的には(株)土屋ホームに名乗りを挙げてください、二〇〇一年の一月にスキー部が発足しました。こんな不景気の中でスキー部をつくってくれ、本当に感謝しています。「成績を出して恩返しするしかない」という気持ちを

持つて臨んだ〇二年のソルトレークシティ五輪ですが、この時は最悪な成績で終わりました。職場の土屋ホームで、経営方針や成功への十訓などからたくさん学ぶことができたのです

が、その一つが、「逆境こそ、天が与えた最大のチャンスである」。この言葉を胸に、絶対に逆境を乗り越えて頑張っていく、という気持ちを忘れずにやってきました。

〇六年のトリノ五輪、一〇年のバンクーバー五輪と、日本チームはメダルを取れませんでした。いろいろな理由があつたと思うのですが、長野五輪後のルール改正、いわゆる「日本潰し」もありました。

〇三年の世界選手権にフィンランドのコーチを招き、日本のスタイルをやめてフィンランドのスタイルをアドバースしてもらいました。このおかげで、メダルを三つ取ることができました。見方を変えると物事が変わっていくことがわかり、「頑固な自分を出さず、柔軟な頭でゼロからフィンランドのスタイルを学べば、また世界と戦える」と思えたのが〇三年です。ここ

■(株)土屋ホームスキー部監督兼選手

葛西 紀明



S A J 28 承認 第 00239 号

一九七二年 北海道下川町生まれ。八八年 東海大四高在学中に日本代表として国際大会出場。九二年 アルペリルオリンピックに一九歳で初出場。以来、リレハンメル、長野、ソルトレークシティ、トリノ、バンクーバー、ソチ、と史上最多、計七回の冬季オリンピックに出場。二〇〇一年 下川町町民栄誉賞受賞。一四年ソチオリンピックで個人ラージヒル銀、団体銅の二つのメダル獲得。ワールドカップ最年長優勝/冬季五輪七大会連続最多出場/冬季五輪スキージャンプ最年長メダリストの三つがギネス世界記録認定。「レジェンド(生ける伝説)」と国内外から称される選手となる。現在、(株)土屋ホームスキー部の監督兼選手、同社住宅部部長。

が子を、お母さんは楽しみに待っています。試合では無理しないで、元気な姿だけを見せてください」

この手紙のおかげで迷いも焦りも消え、スランプから脱出することになります。僕は、家族、特に母親に支えられたと思っていて、今でもこの手紙は大事にしていますし、試合前には読むようにしています。

難病の妹に 金メダルを煎じて飲ませたい

高校を卒業し、憧れだった秋元正博さん（レークプラシッド五輪入賞）がいらした（株）地崎工業という建築土木会社に入社。そこで厳しいトレーニングを積み、その冬の九二年、初めてのオリンピックがやってくるのです。

フランスで行われたアルペールビル五輪。九一年の夏ごろから飛行スタイルはV字が主流になってきて、原田雅彦さん（長野五輪・団体金）や須田健仁さん（アルペールビル五輪・団体四位）など先輩たちは、いち早くV字に取り組んでいました。僕は頑固だったので、「クラシカルスタイルでオリンピックに出場してメダルを取りたい」という気持ちで、クラシカルスタイルで飛んでいました。

ところがオリンピックのちょうど一か月前、全日本スキー連盟部長のコーチが「葛西、そろそろV字に変えろ」と言ってきたのです。「一か月しかないのに無理です。僕はクラシカルスタイルでメダルを取りたいです」と頑固に言っ

たのですが、「お前がV字に変えないなら、オリンピックに連れていかないよ」と。しょうがなく次の日からV字に取り組みました。でも、これがなかなか開かないのですね。

僕が三三年間スキーをやってきて、一番怖かったのがこのV字に変える時です。少しずつは開くのですが、根性がなくて開かないのです。「もうダメだ。クラシカルスタイルに戻さなくては」と思っていた時、「根性で開くしかない。けがしてもいいや」という気持ちで大倉山に行きました。「開け！」と言ってバンッと開いた瞬間、パラシュートのようにバツ上がったのです。クラシカルスタイルで一一〇センチのところに、V字では一三〇センチくらい飛んだのです。「何だ、この感覚は！」。V字はこんなに違うのか、と初めてわかりました。

初めてのオリンピック、めちゃくちゃ緊張しました。飛距離が伸びなくて散々な成績でした。

二年後、またオリンピックです。四年に一度のオリンピックが、夏と冬を交互に開催するための調整で二年後にきたので、僕は二年分得をしています。九四年ノルウェーで行われたリレハンメル五輪。このオリンピックに向かっていく気持ちは、相当強かったです。九三年の九月に、高校一年生の妹の久美子が、難病の「再生不良性貧血」という白血病に似た病気であることがわかりました。骨髓移植をしなければ治らない病気です。そんな妹のために、金メダルを取って煎じて飲ませてやりたい、そういう気持ちで挑んだリレハンメル五輪だったのです。

個人戦ノーマルヒルが五位、ラージヒルが

一三位。残す団体戦に金メダルを懸けて挑みましたが、銀メダルに終わりました。九九年金メダルを手に入れたにもかかわらずの、銀メダルでした。しかし、こういったことも自分の運命だと受け止めて「金メダル取ってやる！四年後の長野五輪で絶対取る！」。そう言い聞かせて、新たに気持ちを入れ替えたのです。

その年の一月、リレハンメル五輪があった地で練習をしていました。ノーマルヒルを飛んだ時、ぐると一回転して空中分解。左の肩からドンと落ちて、脳しんと左の鎖骨を骨折するという転倒をしたのです。次の日、札幌に帰って左鎖骨にアルミのピンを入れる手術をしました。「固定して一か月で骨がつくよ」。そう言われたので、年が明けた九五年一月、宮の森ジャンプ競技場の試合に出場しました。その時は全然怖くなかったですね。

翌日、大倉山で練習があったのでその一本目、スタート台に座って「よし！飛んでやろう」。良い向かい風が吹いていました。飛んだ瞬間にまた、ぐるんと空中分解。同じ左の鎖骨から落ちて、また同じところが折れたのです。

一か月後、「骨がついたから出てもいいよ」と言われ、三月の宮様大会の練習に行きました。スタート台に座り、信号が青になり、コーチが合図を出しました。スタートしようと思ったら、できないのです。怖くて。そのシーズンは一本も飛ばずに終わってしまいました。

「二〇〇〇本飛んでやる！」。ジャンプをたくさん飛んで、恐怖心を取り除こうとしました。しかし、恐怖心は消えなかったです。「恐怖心



全写真提供：(株) 土屋ホーム S A J 28 承認 第 00238 号

いう見出し。なんと、試合の優勝者よりも飛距離を飛んじやっていたのですね。そのころから世界を目指したい気持ちになり、注目を浴びるようになりました。その後すぐ、世界ジュニア選手権に行ったのですが、散々な成績でした。世界の壁は厚い。もっと強くなりたいと世界で通用しない。もっとたくさん練習しようと、下川中学校を卒業して札幌の東海大学付属第四高等学校に入学しました。懸命に練習して、高校一年生の時に初めて世界選手権（八九年フィンランド・ラハティ開催）に出場したのですが、ジュニア以上に強く、レベルの違う世界がありました。当時、フィンランドのマッチ・ニッカネンという選手がラージヒルで一〇ノミを飛び優勝したところ、僕は七二ノミと散々な成績。

高校二年生の時もたくさん練習して、世界を目指しました。その努力の結果、ワールドカップで七位に三回入賞できました。「やっぱり頑張れば自分の努力はかなう」「世界に通用するようになってきた」と自信を持つてきました。

高校三年生になると、先輩面してしまうところも、調子に乗ってしまうところもあったりして、練習がおろそかになりはじめてスランプに陥りました。このスランプが、なかなか抜け出せないのです。見かねた母親が一通の手紙を送ってくれました。

「いま、紀明にとつて初めて経験する辛い時期だと思います。それも人生なのです。この辛い時に人の気持ちをわかってやる、今まで以上に優しく強くなってくれることをお母さんは願っています。どん底からはい上がってくるわ

努力で夢をかなえる

「負けること」を僕は一番大事にされていて、負けがないと勝ちたいと思わないのです。今までワールドカップを470戦以上戦ってきて、17勝しました。ほぼ、負けですね。この負けることが、勝ちたいという意欲、頑張るという意欲につながれると思うのです。

(株) 土屋ホームスキー部監督兼選手

葛西 紀明

Noriaki Kasai

世界を目指し 練習を重ねる

僕は一九七二年六月六日、北海道上川郡下川町で生まれました。下川町には有名なものがたくさんありますが、一番有名なのは「ジャンプ選手」で、人口三六〇〇人の下川町から、オリンピック選手が六人も出ています。

僕は小さいころ体が弱くて、親にマラソンを勧められました。小学校の一年生から三年生まで、夏はマラソン、冬はクロスカントリーとスキーを続けていたのですが、三年生の時、友達に誘われて行ったスキー場で、ジャンプと出合いました。下川町のスキー場の横にジャンプ台があります。五ノ級、二〇ノ級、三〇ノ級、五〇ノ級と四台ありました。一番小さな五ノ級から始めたのですが、友達よりも飛距離が出るようになり、「これは楽しいな!」と。

こうして少しずつジャンプにはまっていくわけですが、親に話したら「ダメだ。危ない。お金が掛かる」と大反対されました。スキージャンプの用具を全てそろえると、三〇万円くらいかかります。僕の家は、小さいころ非常に貧乏でした。それで親が大反対したのです。

それでも僕はジャンプがやりたくて、親の目を盗んで飛びに行っていました。すると、見か

ねた少年団のコーチが僕の家に来て「葛西は素質があるので」と両親を説得してくれました。両親が「うちにはお金が無いので用具は買えないですよ」と言ったら、「大丈夫です。先輩方のお下がりです。こうして僕はお下がりでやっていけるので」。こうして僕は小学校、中学校と、二つ上の先輩・岡部孝信さん(長野五輪・団体金ほか)のお下がりをもらって、ジャンプをしていました。

僕は小学校、中学校とハングリーな気持ちで頑張る、ほとんど負け無しでした。すごい先輩のお手本を見ながらどんどん上達し、中学三年生になった時にすごいことが起きたのです。

中学三年生の三月、宮様大会での出来事です。当時は中学生が出られないルールでしたが「テストジャンパーとして飛んでみる」と言われ、初めて札幌の大倉山ジャンプ競技場を飛びました。今は(スロープの)溝が人工的に付いていますが、昔は何度も滑って付けていました。その溝を付けるのにも、一番手、二番手が非常に肝心で、「絶対に曲げるなよ!」と先輩からのプレッシャーを与えられながら、テストジャンプをしていました。ただもう怖くて、怖くて。「今日はけがしないでホテルに帰る」、それだけを目指し、何度も溝を付けながら飛びました。

普通はテストジャンパーのゲート設定は試合よりも上なので、飛距離が出やすいのですが、その時は選手と同じゲートから飛び、けがもなくホテルに帰ることができました。

次の日、コーチが慌てて僕の部屋に飛んできて、「葛西、新聞にお前が出ているぞ!」。何かと見ましたら、「影の優勝者・葛西紀明」と

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です
2月23日はロータリー創立記念日です

THE ROTARY-NO-TOMO

努力で夢をかなえる

■(株)土屋ホームスキー部監督兼選手 葛西 紀明

4 73

シリーズ わがまち……そしてロータリー……
ものづくりの伝統とラグビーに燃える町
大阪府 東大阪市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

9 68

友愛の広場

13 64

誕生！ リトル東京ロータリークラブ
リトル東京 中曽根牧子

ドイツにて着物で卓話
人吉中央 村田 優子

マッターホルン登頂報告例会
郡山南 武田 安永

コラボレーションライブ奮闘記
博多 藤本 孝太郎

心と体をつくる食育
北上西 木村 利光

「古池や……」の蛙は何匹？
新発田 高橋 信行

お別れのメッセージ
ラリッサ・リマ・シルバ

●バナー自慢

卓話の泉

18 59

真田一族と武田信玄公
加藤 鎮毅

皮膚とアンチエイジング
甲子園 根本 美穂

食品衛生指導員とは
茨城北 篠原 裕治

ロータリー 俳壇 ◆稲畑 汀子 選 20 57

ロータリー 歌壇 ◆佐佐木幸綱 選 20 57

ロータリー 柳壇 ◆てじま晩秋 選 20 57

ロータリー・アット・ワーク

22 55

収獲したジャガイモで
ロータリーと地域の絆

蓮田ロータリークラブ

〈写真〉和歌山アゼリア／鶴田／苅田／瀬戸北／
松浦／東京中央新／京都西山／網走／京都紫野／
函館／佐世保北／浦和ダイヤモンド



地域の夢と将来の夢

糸魚川中央

共に汗した老人・身障合同スポーツ大会

真岡

知的障がい者の水泳大会を支援

高松

発達障がい者をテーマに特別支援教育講演会

鹿児島

職業・専門性を生かし「シニア安全教室」開催

日本ロータリーEクラブ二六五〇

奉仕のつどいを開催しました

東京赤坂

外国人留学生と和の食・文化に触れた日

岡山東

グローバルフェスタJAPANに参加して

第二五八〇地区
堺フェニックス

消防車贈呈式

横浜本牧

北米の学生らが日本文化を体験

小川

地元商工祭でバザー

大阪平野

地域の祭りでポップコーン販売

ロータリー囲碁同好会

●内外よろず案内

表紙のメッセージ

32 45

表紙 横組み「清水公園の白梅」 牧野 弘明(二五五〇 氏家)

縦組み「冬のくらし」 鈴木 豊(二七六〇 岡崎城南)

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

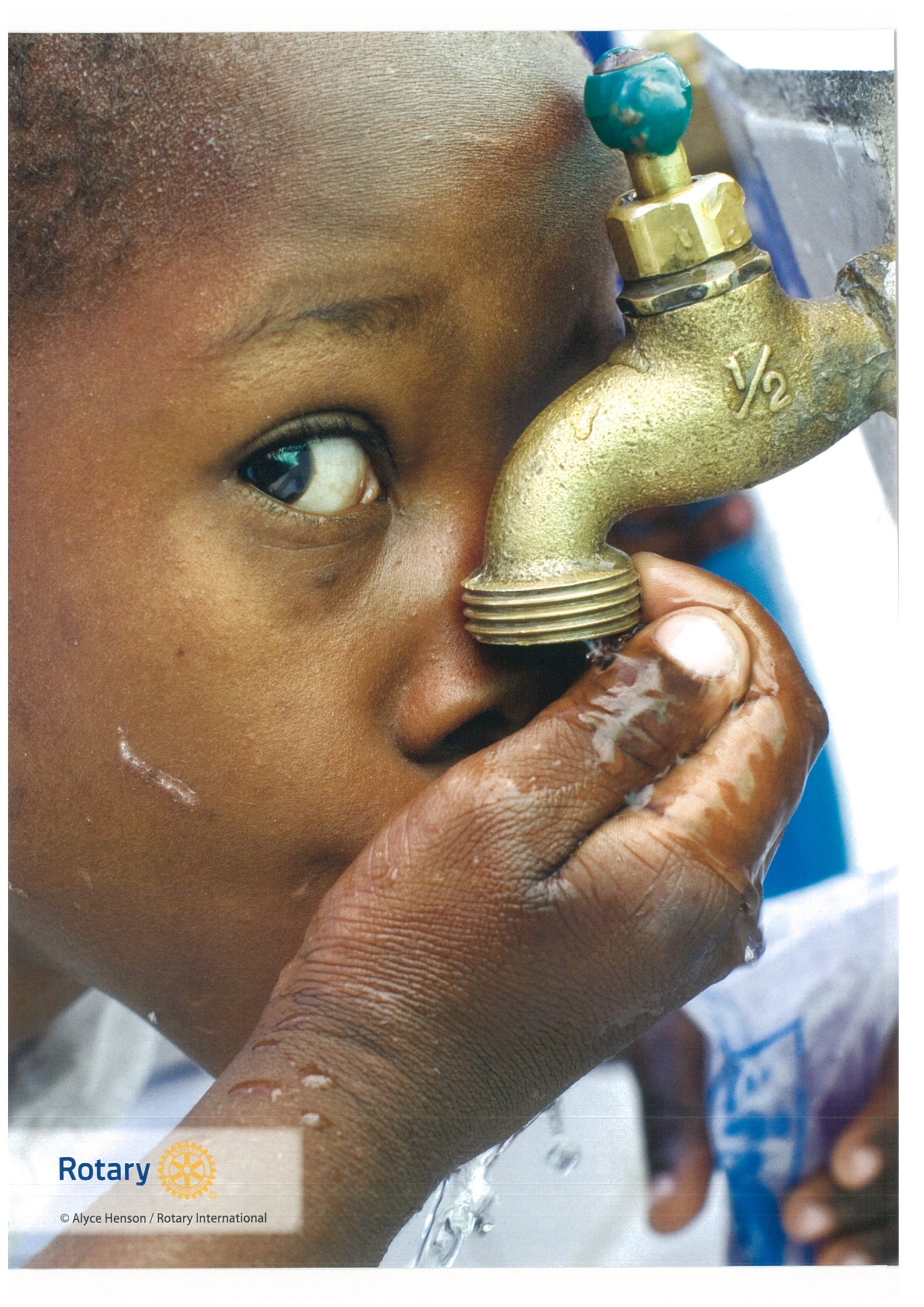
一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp



ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO FEBRUARY 2016 VOL.64 NO.2

ロータリーの友2月号 第64巻 第2号
平成28年2月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻758号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

2
2016



SPEECH ———

努力で夢をかなえる

葛西 紀明

わがまち……そしてロータリー
大阪府東大阪市

Rotary 